

令和元年度 第1回宇都宮市生涯学習センター運営審議会

日 時：令和元年7月4日（木）

午前9時30分～

場 所：中央生涯学習センター205・206学習室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

4 生涯学習センター運営審議会について・・・・・・・・資料2

5 正副委員長選出・・・・・・・・・・・・・・・・資料3

6 議 事

（1）各種協議会への委員の推薦等について 資料4

（2）地域教育の推進等について 資料5

（3）平成30年度生涯学習センター事業運営の評価について 資料6

（4）平成31年度生涯学習センター事業運営の考え方について 資料7

（5）成年年齢引下げに伴う成人式のあり方について 資料8

7 そ の 他

8 閉 会

宇都宮市生涯学習センター運営審議会委員名簿

資料 1

(任期：令和元年6月1日～令和3年5月31日)

区分	No.	氏名	役職名等	備考
社会教育 の関係者 (センター 一代表者)	1	まちやま 待山 たえ子	絵画サークル「アトリズム」事務局 (中央生涯学習センター)	
	2	くまくら 熊倉 シゲ子	泉が丘地区連合自治会文化部長 (東生涯学習センター)	
	3	こまつ 小松 せいこう 整洗	富士見小学校・宮の原中学校魅力ある学校づくり地 域協議会委員 (西生涯学習センター)	
	4	いしじま 石嶋 ともこ 朋子	星が丘中学校PTA副会長 (北生涯学習センター)	
	5	よしざわ 吉澤 せつ子 節子	平石地区婦人防火クラブ顧問 (平石生涯学習センター)	
	6	すずた 鈴田 たかゆき 孝行	清原地区自治公民館連絡協議会事務局長 (清原生涯学習センター)	
	7	さかもと 坂本 やすお 保夫	瑞穂野地区まちづくり協議会会長 (瑞穂野生涯学習センター)	
	8	いけだ 池田 ふみお 文男	城山地区コミュニティ協議会会長 (城山生涯学習センター)	
	9	ほんだ 半田 ちか子 千佳子	国本中学校魅力ある学校づくり地域協議会コーデ イナー (国本生涯学習センター)	
	10	さいとう 斎藤 なおい 直偉	富屋地区連合自治会会長 (富屋生涯学習センター)	
	11	あくつ 阿久津 せつ子 節子	篠井小学校魅力ある学校づくり地域協議会コーデ イナー (篠井生涯学習センター)	
	12	そがわ 十河 としゆき 敏之	姿川地区まちづくり協議会会長 (姿川生涯学習センター)	
	13	いなば 稲葉 ゆたか 豊	雀宮地区まちづくり推進協議会会長 (雀宮生涯学習センター)	
	14	たにうち 谷内 なお子 直子	古里中学校魅力ある学校づくり地域協議会会長 (河内生涯学習センター)	
学校教育 の関係者	15	わたなべ 渡邊 まこと 誠	宇都宮市立城山西小学校長 (小学校長会)	
	16	ますやま 増山 たかゆき 孝之	宇都宮市立若松原中学校長 (中学校長会)	
学識経験 を有する 者	17	にしだ 西田 なおき 直樹	作新学院大学女子短期大学部教授	
	18	まるやま 丸山 じゅんいち 純一	文星芸術大学美術学部教授	
教育長が 適当と認 めた者	19	しおのや 塩野谷 ふじ子	公募	
	20	なかやま 中山 けい子 敬子	公募	

宇都宮市生涯学習センター運営審議会について

1 審議会の役割について

当審議会は、社会教育法第29条に基づく公民館運営審議会として、生涯学習センター事業の企画実施等について調査審議していただく機関です。

生涯学習センターの運営等に対していただいたさまざまな助言・提言を貴重な市民の声、または新たな知見として生涯学習センターの事業運営に役立てております。

2 審議会について

(1) 委員構成

委員定数20名

【内訳】	① 社会教育関係委員	14名
	② 学校教育関係委員	2名
	③ 学識経験委員	2名
	④ 公募委員	2名

(2) 任期

2年（令和元年6月1日～令和3年5月31日まで）

3 今年度の主な審議内容について

- ・平成30年度事業運営の評価について
- ・令和元年度生涯学習センター事業運営の考え方について
- ・令和元年度生涯学習センター事業計画について
- ・成年年齢引下げに伴う成人式のあり方について
- ・その他（生涯学習センターの企画・運営に関して適宜、意見聴取）

4 今年度の会議開催スケジュールと議事について

・第1回 令和元年7月4日（今回）

・第2回 令和元年10月中旬（予定）

- (1) 令和2年度生涯学習センター事業運営の考え方について
- (2) 令和2年宇都宮市成人式について
- (3) 令和元年度生涯学習センター文化祭について

・第3回 令和2年2月中旬（予定）

- (1) 令和2年度生涯学習センター事業計画について
- (2) 令和2年宇都宮市成人式の実施状況について
- (3) その他、年度内に実施した事業の報告等

正副委員長の選出について

宇都宮市生涯学習センター条例施行規則第 8 条の規定に基づき、委員長及び副委員長を選出するもの

委員長 _____

副委員長 _____

【宇都宮市生涯学習センター条例施行規則】（抜粋）

（宇都宮市生涯学習センター運営審議会の委員長及び副委員長）

第 8 条 宇都宮市生涯学習センター運営審議会（以下「審議会」という。）に、委員長及び副委員長を置き、委員がこれを互選する。

- 2 委員長及び副委員長の任期は、2 年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠の委員長及び副委員長の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員長は、審議会の所掌事務を総理し、会議の議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

（平24教委規則 7・旧第 9 条繰上・一部改正）

関係協議会への委員の推薦等について

○ 栃木県公民館連絡協議会の役員等

- ・ 栃木県内の公立公民館で組織する会であり、公民館活動の振興発展に寄与することを目的としている。
- ・ 協議会には、総会（役員、評議員が参加）、役員会（会長、副会長、理事が参加）があり、今回、評議員について1名選出依頼がきている。
- ・ また、この協議会には、館長部会、主事部会、公民館運営審議会委員部会を置くこととなっており、今回、公民館運営審議会委員部会の委員として2名の選出依頼がきている。
- ・ 栃木県公民館連絡協議会では役員の任期を1年と定めているが、生涯学習センター運営審議会からの選出に際しては当該審議会の任期と合わせて2年間継続で依頼している。

〔選出する委員〕

◇ 評議員

委員

◇ 公運審委員部会

委員

委員

第3次宇都宮市地域教育推進計画（うつのみや地域教育プラン）

○ これまでの計画の特徴

- ・ 「第1次宇都宮市生涯学習推進計画」（平成2年度～平成12年度）
⇒ 生涯学習の基盤整備（施設整備，学習機会拡充，情報提供）
- ・ 「第2次宇都宮市生涯学習推進計画」（平成13年度～平成22年度）
⇒ 生涯学習の環境整備（学ぶ環境，生かす環境，つなぐネットワーク）
- ・ 「宇都宮市地域教育推進計画（第3次宇都宮市生涯学習推進計画）」
（平成20年度～平成24年度）
⇒ 「個人」のための学習支援から「社会」をつくる人づくりへ
（人間力の向上，家庭・地域の教育力の向上，主体的な学習活動の支援）
- ・ 「第2次宇都宮市地域教育推進計画」（平成25年度～平成29年度）
⇒ 「学習」と「活動」の循環を意識した「つなぐ」仕組みの構築
（人づくり，絆づくり，地域づくり）

【第3次宇都宮市地域教育推進計画（うつのみや地域教育プラン）の概要】

計画の期間	10年間（平成30（2018）年度～令和9（2027）年度） ※令和4（2022）年度に施策事業等の中間見直しを行う。
基本理念	学びを通して，社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに，地域ぐるみの教育活動により，一人ひとりが活躍できる社会を実現する。
基本目標Ⅰ	一人ひとりが自己の実現や生活の向上，地域社会の発展に向けて主体的に学習活動に取り組んでいます。 『基本指標①』学習活動をしている市民の割合 38.4%（2016（H28））⇒43.2%（2022（R4））⇒50.0%（2027（R9））
基本目標Ⅱ	地域・学校・家庭が相互に連携・協力し，地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組んでいます。 『基本指標②』地域における学習支援や体験活動等の教育活動に参加した児童・生徒数 123,358人（2016（H28））⇒165,000人（2022（R4））⇒170,000人（2027（R9））
基本目標Ⅲ	多様な主体や人がつながりを深め，様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。 『基本指標③』学んだことを生かして活動をしている市民の割合 31.7%（2016（H28））⇒38.0%（2022（R4））⇒45.0%（2027（R9））

○ 計画の体系

基本理念

『**学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により、一人ひとりが活躍できる社会を実現する。**』

基本目標Ⅰ

一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習活動に取り組んでいます。

施策1 主体的な学習活動への支援

施策2 社会性を高める学習の推進

施策3 今日的課題に対応した取組の推進

基本目標Ⅱ

地域・学校・家庭が相互に連携・協力し、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組んでいます。

施策4 家庭教育支援の充実

施策5 地域と学校の連携・協働による教育活動の充実

施策6 子どもも大人もともに学び育つ教育活動の充実

基本目標Ⅲ

多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

施策7 多様な主体による学習機会の提供

施策8 学習活動を支える人材の育成

施策9 郷土愛や地域理解を促進する取組の推進

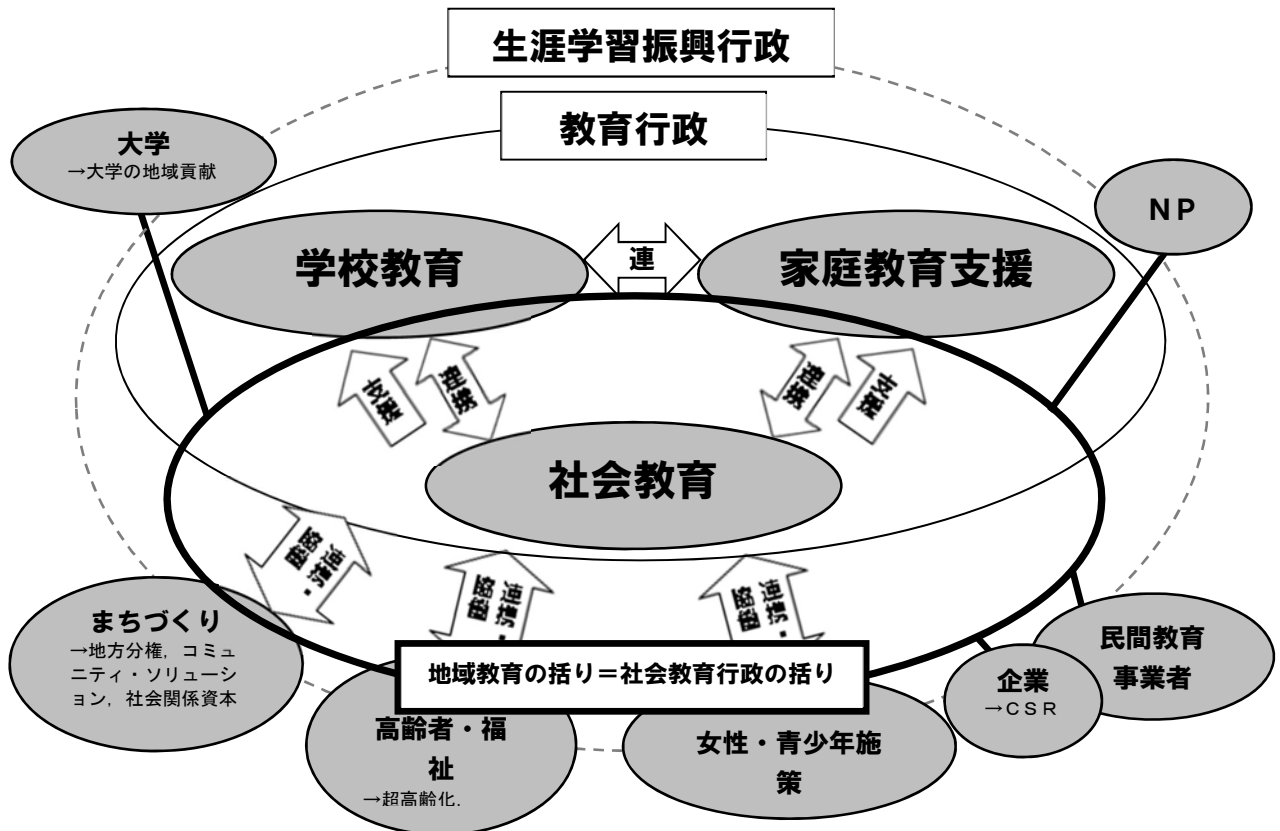
○ 地域教育の推進について

(1) 地域教育の推進

人口減少、少子・超高齢化の進行、地域コミュニティの変容、情報通信技術（ICT）の劇的な進化、グローバル化の一層の進展、貧困と格差の拡大、人々の価値観の多様化など多岐にわたっている。このような変化の中において、一人ひとりが生涯にわたって活躍し、豊かで安心して暮らせる社会を実現するためには、地域の課題解決を目指し、多様な人々と協働しながら、新たな価値を創造することができる人材を育成し、社会の活力を維持・向上させていくことが重要であるとしている。

国では、平成28年5月、中央教育審議会における答申（個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様性と質保証の在り方について）の中では、生涯学習を通じた全員参加による課題解決社会の実現には、「学びと活動の循環」の形成が重要であるとしている。

市でも、従来の「社会教育行政」の領域を越えた範囲を、「地域教育」として取り組んできたところであり、引き続きこうした流れを踏まえ、平成30年3月に策定された「第3次宇都宮市地域教育推進計画」に基づき、「学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により一人ひとりが活躍する社会を実現する。」を基本理念に、様々な課題に対応した学習機会の拡大を図る「今日的課題に対応した取組」や、持続可能な放課後児童の健全育成への取組、家庭を取り巻く環境の変化に対応した「きめ細かな家庭教育支援」、次代の地域の担い手である子どもと大人が交流し、地域の教育力を高める「地域ぐるみの教育活動の充実」に取り組んでいく。



【図】地域教育と新しい社会教育行政の関係

ア 地域教育推進体制の整備

(ア) 体制整備の目的

- ・ 社会環境が変化し今日的課題が多様化する中，地域課題の解決を目指し，多様な人々と協働しながら，新たな価値を創造する人材を育成し，社会の活力を維持・向上させる。
- ・ 地域社会を支える人づくりに取り組む「地域教育」(地域で学ぶ，地域で育てる，地域をつくる，地域ぐるみの教育)を着実に推進していく。

(イ) 体制整備の内容（H22.4～）

- ・ 18生涯学習センターの講座予算を50款で一括計上するなど，生涯学習課の本課機能の集約・強化を図り，全ての生涯学習センター（18館）を統括・支援する。
- ・ 中央，東，西，南，北の生涯学習センターを市民活動センター併設館とし，まちづくり支援担当職員（生涯学習センター職員兼務）を配置することで，人づくりとまちづくりの一体的推進を図る。
- ・ 生涯学習課内に地域に貢献できる人材の育成を目的とした地域人材育成グループを新たに設置し，指導者育成，関係職員研修，全市的・先導的事業の実施，プログラム開発，調査研究等を行う「地域教育推進センター機能」を付加する。
- ・ 全ての生涯学習センター（18館）においては，本課の方針等もふまえ，地域の実情に応じた事業展開や人づくり事業を実施する。

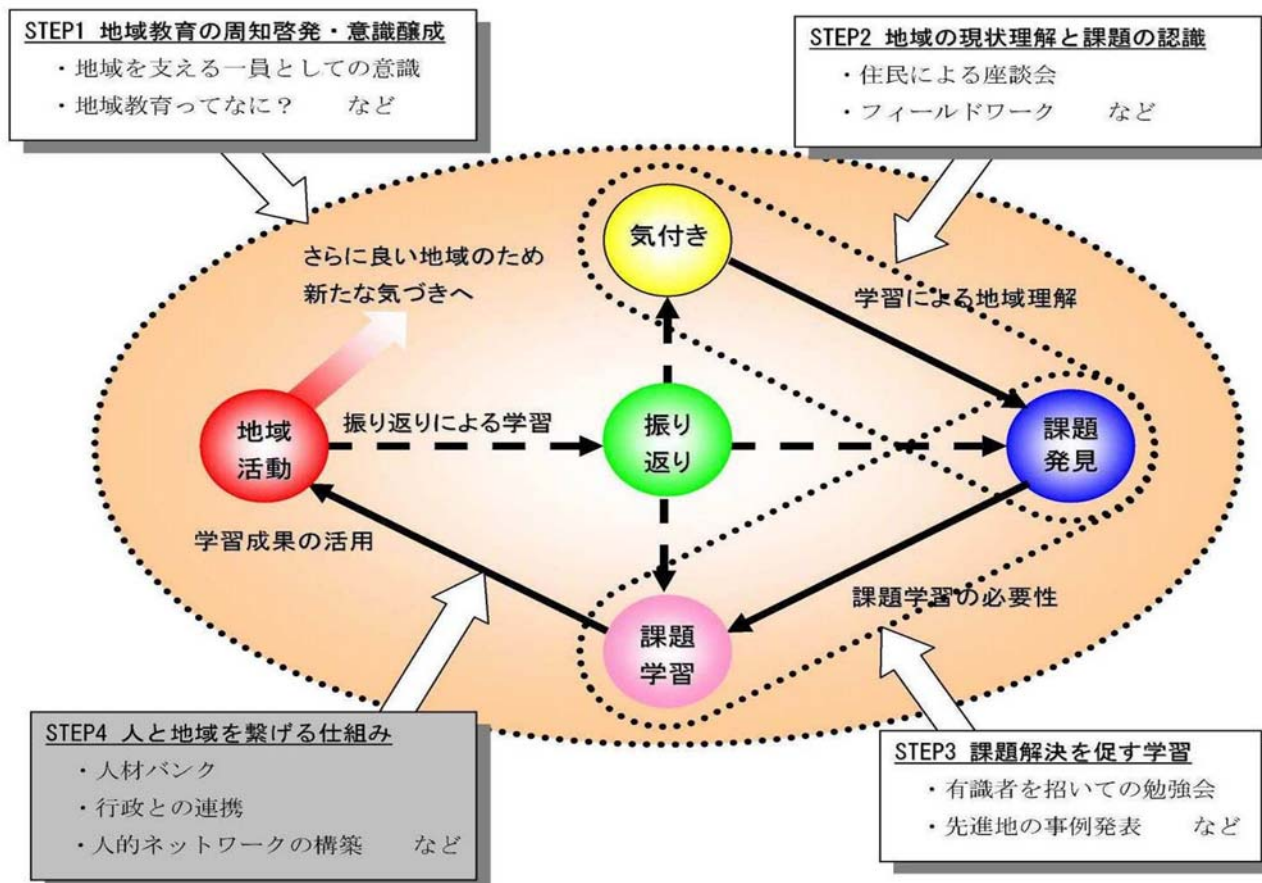
イ 地域かがやきプロジェクト（CKP）

- ・ 地域教育や地域の困りごとなどについて、地域住民が改めて考え、取り組みのきっかけになるような機会を創出するため、活動と学習の循環の考え方を構築し、各生涯学習センターを拠点として「地域かがやきプロジェクト」を展開している。

平成28年度…16事業，平成29年度…19事業，平成30年度…13事業

※下図参照…活動と学習の循環（CKPサイクル）

【図】 活動と学習の循環（CKPサイクル）



ウ 人材かがやきセンター

(ア) 機能概要

- ・ 市民やボランティアなど多くの方が、学び、集い、情報交換や仲間づくりができる人づくりの拠点とし、「人材かがやきセンター」の『愛称』で、全市的な事業を実施している。

※ 事務室（中央生涯学習センター4階）、研修室（同5階）

- ・ 関係者向けの研修や地域に貢献できる人材の育成事業に加え、市民一人ひとりの関心や活動レベルに応じた講座、今日的課題に対応した先駆的な講座を開催するほか、学習活動を促進する学習相談、情報提供などを行うことにより、地域教育の効果的な推進を図る。

(イ) 主な事業

機 能	事 業 内 容
地域教育を推進・支援する人材の育成・研修機能	研修事業 （関係者向けの専門的研修等） ・地域教育指導員及び生涯学習指導員研修
	人材育成事業 （地域に貢献できる人材の育成等） ・講座企画・運営ボランティアスタッフ養成講座 ・家庭教育支援活動者研修 ・子どもの体験活動支援者研修
全市的・先駆的な学習機会提供・交流機会創出機能	学習機会提供事業 （広域的事業、モデル事業、交流機会創出等） ・主催講座 ・市民大学 ・家庭教育支援講座 ※新たな学習プログラム等の研究・開発等
	交流機会創出事業 （活動紹介・情報交換、団体間交流等） ・地域教育メッセ
学習活動を促進する学習相談・情報提供機能	情報提供事業 （情報提供システムの運用、周知広報等） ・生涯学習情報提供システムの運用
	学習相談事業 （学習相談窓口開設等） ・学習相談窓口開設

(ウ) 人材かがやきセンター事業（主催講座・研修）の体系区分

区 分	内 容
地域教育区分	①社会教育（※②・③・④を除く主に成人教育及び青少年教育） ②家庭教育支援，③学校教育支援・連携，④関係職員教育
年 齢 層	①幼少期（～14歳），②青年期（15歳～20代），③壮年期（30～40代），④成熟期（50～60代），⑤円熟期（70代～）
活動レベル	①グリーティング（興味がある），②スターティング（始めたばかり），③ステップアップ（活動中），④リーダー養成（指導者をめざす），⑤エキスパート支援（指導者）

(エ) 事業実績等（主催講座）

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
講 座 数	10講座	11講座	11講座	12講座	13講座	12講座	13講座
受講者数	288名	386名	623名	628名	588名	775名	417名

1 生涯学習センターの役割

市の「総合計画」及び「地域教育推進計画」の方針に基づき、生涯学習を通じた人づくりを推進し社会に貢献する人材を育成するため、市民ニーズや社会的課題を的確に把握し、各種講座を企画運営し多様な学習の機会と場を提供する。さらに、学んだ人たちが習得した成果を家庭や地域において活用できるように支援することによって、人づくりや地域づくりを推進する役割を担っている。

全ての生涯学習センターにおいて、「人材かがやきセンター」、「市民大学」との各種事業が担う領域の特徴を踏まえ、個人の要望に応える事業と社会の要請に応える事業のバランスに配慮しながら多様な事業を推進するとともに、市民の生涯学習ニーズに応じた学習相談及び支援を行う。

また、自立した個人を養成するための事業や、地域の課題解決に向けた事業などに積極的に取り組み、住民の身近な地域における学習の拠点として「地域教育」の推進に向けた事業を実施する。

なお、講座等事業の実施にあたっては、開催日時や学習手法の検討、託児の充実など、引き続き受講環境を整備することにより、多くの市民が参加できるよう努めるとともに、地域の各種団体や企業などとの連携に配慮する。

※別紙資料…各種生涯学習講座が担う領域のイメージについて

(1) 生涯学習センター

中央・東・西・南・北（市民活動センター併設）

平石・清原・横川・瑞穂野・城山・国本・富屋・豊郷・篠井・姿川・雀宮・上河内・河内（地区市民センター併設）

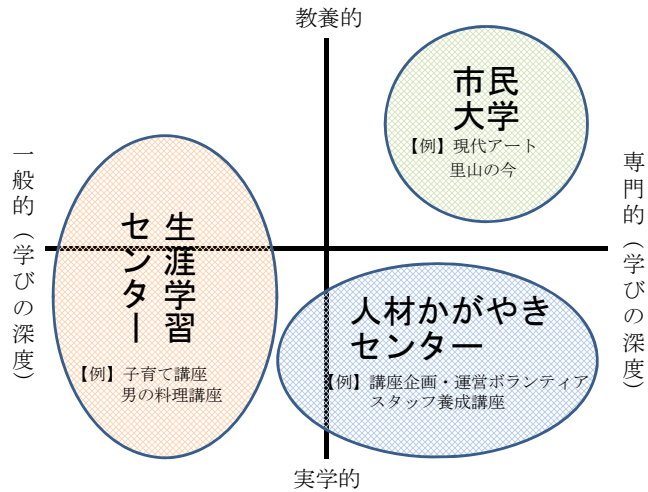
地域の市民を対象に、運営方針に基づいた事業や、地域の実情に応じた事業、現代的課題の解決に資する事業などを実施するとともに、生涯学習に関する相談や情報の提供など、生涯学習活動の支援などを行う。

また、市民活動センター併設館では、地域コミュニティセンターにおける活動の支援も行う。

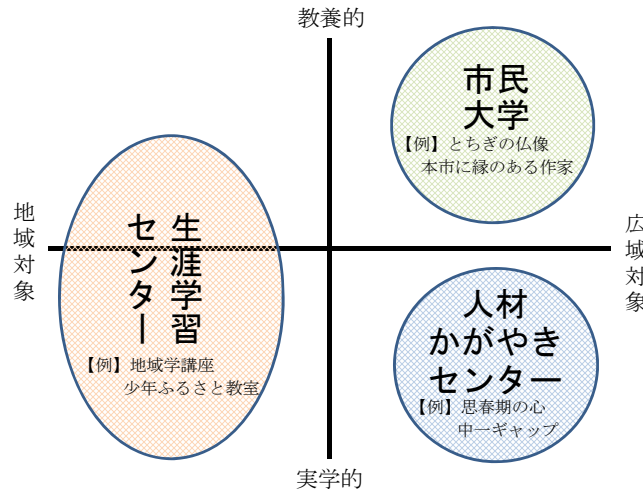
なお、上河内・河内はともに平成29年4月1日より地区市民センターに併設となった。

各種生涯学習講座が重点的に担う領域のイメージについて

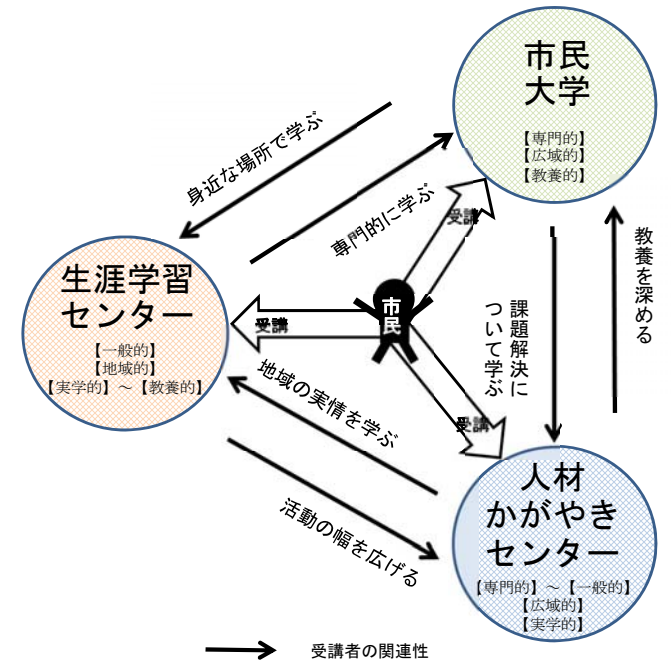
① 講座の内容（学びの深度）による区分



② 講座の目的（対象）による区分



③ 各種講座の関連性について



【生涯学習センター】

- ・ 「実学的」な講座を主として、「教養的」な講座まで、幅広い領域を担う。
- ・ 「一般的」なレベルの領域を担う。

【人材かがやきセンター】

- ・ 主に「実学的」な講座の領域を担う。
- ・ 「一般的」な講座から「専門的」な講座まで、幅広いレベルの領域を担う。

【市民大学】

- ・ 主に「教養的」な講座の領域を担う。
- ・ 「専門的」なレベルの領域を担う。

【生涯学習センター】

- ・ 市民生活の場である「地域」的なテーマの講座を展開する。

【人材かがやきセンター】

- ・ 本市の地域教育推進拠点であり、「広域」的なテーマの講座を展開する。

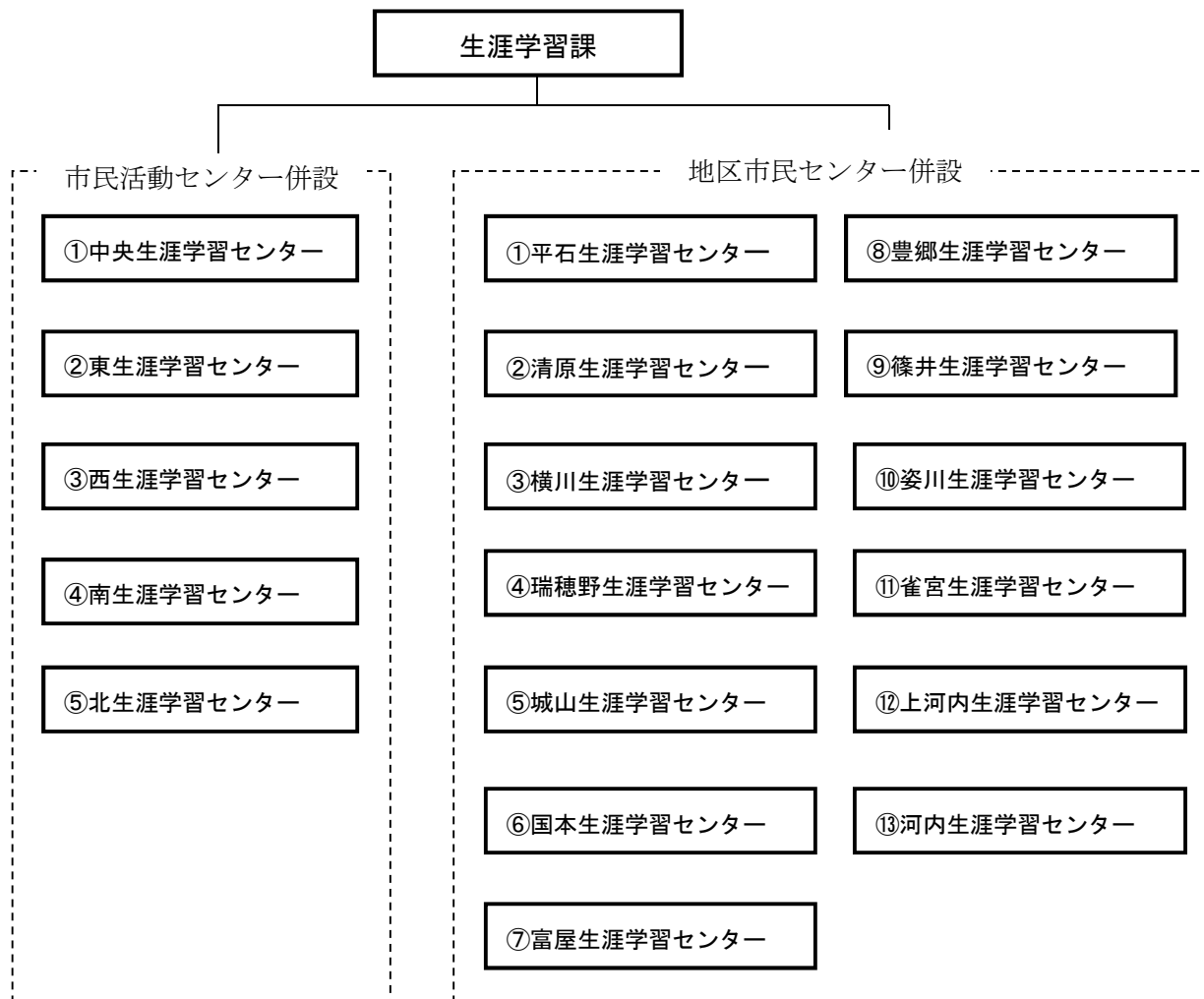
【市民大学】

- ・ 全市民を対象としており、「広域」的なテーマの講座を展開する。

2 生涯学習センターの体制

(1) 組織体制

生涯学習センターの組織体制は、下記のとおりであり、平成22年度から中央生涯学習センターが担っていた中央館としての機能を生涯学習課の本課機能として集約・強化を図り、生涯学習課が全ての生涯学習センターを統括・支援することとしている。生涯学習センターは、市民活動センター併設の生涯学習センター5か所、地区市民センター併設の生涯学習センター13か所の合計18か所により構成されている。



(2) 開館時間

貸 館	使用時間区分		休館日
	午前の部	9:00 ~ 12:00	12月29日~1月3日
午後の部	12:30 ~ 17:00		
夜間の部	17:30 ~ 21:30		
図 書 室	月~金	土・日	休館日
	8:30~19:00 *カードの新規登録は、 平日8:30~17:00のみ	9:30~19:00	12月29日~1月3日

3 生涯学習センターの分担事務

(1) 生涯学習センターの事務分掌

※ 宇都宮市教育委員会の組織及び運営に関する規則

第18条 生涯学習センターは、次の各号に掲げる事務を分掌する。

- (1) 宇都宮市生涯学習センター条例(平成13年条例第47号)第4条に規定する生涯学習センターの事業に関すること。
- (2) 生涯学習センターの文書、予算、その他庶務に関すること。
- (3) 生涯学習センターの業務の進行管理に関すること。
- (4) 生涯学習の相談及び支援に関すること。

※ 宇都宮市生涯学習センター条例

第4条 センターの事業は、次のとおりとする。

- (1) 生涯学習の振興に資する事業の企画及び立案
- (2) 法第22条各号に掲げる事業
- (3) 生涯学習の振興に資する図書、資料、情報等の収集及び提供
- (4) その他市民への生涯学習の機会の提供について必要な事業

※ 社会教育法

第22条 公民館は、第20条の目的達成のために、おおむね、左の事業を行う。但し、この法律及び他の法令によって禁じられたものは、この限りでない。

- 1 定期講座を開設すること。
- 2 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。
- 3 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- 4 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- 5 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- 6 その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

5 生涯学習センターの沿革

昭和 24.10.17	城山公民館が設置される。(昭和29・11・1市立となる)
昭和 24.12.1	富屋公民館が設置される。(昭和29・11・1市立となる)
昭和 25.1.26	平石公民館が設置される。(昭和29・8・1市立となる)
昭和 25.3.20	豊郷公民館が設置される。(昭和29・11・1市立となる)
昭和 25.7.20	国本公民館が設置される。(昭和29・11・1市立となる)
昭和 26.1.26	篠井公民館が設置される。(昭和29・11・1市立となる)
昭和 26.4.1	瑞穂野公民館が設置される。(昭和29・10・1市立となる)

- 昭和 26. 8. 1 清原公民館が設置される。(昭和 29・ 8・ 1 市立となる)
- 昭和 26.12. 1 姿川公民館が設置される。(昭和 30・ 4・ 1 市立となる)
- 昭和 28.12. 1 雀宮公民館が設置される。(昭和 30・ 4・ 1 市立となる)
- 昭和 29. 8. 1 中央・東・築瀬・西原・戸祭・今泉・陽南・桜公民館が設置される。
- 昭和 29. 9.25 横川公民館が設置される。
- 昭和 30.10. 1 西・昭和・細谷・錦・峰公民館が設置される。
- 昭和 33. 2. 1 宇都宮市公民館連絡協議会が結成される。
- 昭和 44. 4. 1 中部公民館が設置される。(市立旭病院の建物を利用)
中央・東・西・築瀬・西原・昭和・桜・錦・富士見・峰・泉が丘・戸祭・細谷・陽南公民館を分館とする。
- 昭和 46. 4. 1 南公民館が新設される。
石井分館・宮の原分館を開設
- 昭和 47.11.15 巡回文庫を開設， 9 公民館 12 分館を配本所とする。
- 昭和 48. 4. 1 御幸分館を開設
- 昭和 49. 4. 1 宝木分館を開設
- 昭和 51. 4. 1 城東分館・陽東分館を開設
- 昭和 53. 4. 1 東公民館が新設される。(今泉公民館廃止)
御幸が原分館を開設
- 昭和 55. 7. 2 明保分館を開設
- 昭和 56. 4. 1 市立図書館の開館に伴い， 移動図書館が移管された。
- 昭和 57. 4. 1 北公民館が新設される。(細谷分館廃止)
- 昭和 58. 4. 1 陽光分館を開設
- 昭和 59. 4. 1 西公民館が新設される。(桜分館廃止)
雀宮公民館分館を開設
- 昭和 61.10.24 中部公民館が， 10 月 6 日新市庁舎開庁に伴い， 中央 1 丁目
1 番 1 3 号， 旧市役所別館南館に仮移転した。
- 昭和 62. 4. 1 旧市役所別館北館に移転， 名称も『宇都宮市立中央公民館』
とし， 名実ともに市内にある公民館の核としての役割を担い
開館した。
- 平成 元.10.16 地区市民センターとの施設複合化開始 (雀宮公民館)
- 平成 3. 4. 1 地区市民センターとの施設複合化 (篠井公民館)
- 平成 3. 4. 1 地区市民センターとの施設複合化 (清原公民館)
- 平成 4. 4.13 地区市民センターとの施設複合化 (瑞穂野公民館)
- 平成 6. 4. 1 地区市民センターとの施設複合化 (城山公民館)
- 平成 7. 4. 1 各分館長が専従職員 (非常勤嘱託員) となる。
- 平成 7.10.14 西原分館の会議室 (空き教室利用) の開所式

- 平成 8. 4. 1 地区市民センターとの施設複合化（豊郷公民館）
- 平成 9. 4. 1 地区市民センターとの施設複合化（富屋公民館）
- 平成 9.10.20 南公民館改築される。
- 平成 10. 5.11 宝木分館の会議室（空き教室利用）の拡大
- 平成 10. 6. 1 東分館の会議室（空き教室利用）の拡大
- 平成 12.10. 1 地区市民センターとの施設複合化（国本公民館）
- 平成 13. 1 南公民館エレベーター設置
- 平成 14. 3.30 錦分館改築される。
- 平成 14. 4. 1 公民館条例の廃止，生涯学習センター条例制定の議決に伴い，中央・東・西・南・北公民館及び11地区公民館と共に『生涯学習センター』と名称変更。中央公民館は『中央生涯学習センター』として宇都宮市の生涯学習の中枢として開設された。また，分館は『地域コミュニティセンター』となった。
- 平成 14. 6.24 地区市民センターとの施設複合化（平石生涯学習センター）
- 平成 15. 8 中央東西南北生涯学習センター施設内全面禁煙
- 平成 15.12.22 地区市民センターとの施設複合化（姿川生涯学習センター）
- 平成 18. 3.20 地区市民センターとの施設複合化（横川生涯学習センター）
- 平成 19. 3.31 上河内町，河内町との合併に伴い，以下の施設を所管。
- ・上河内生涯学習センター（本館，ひばり館）*旧上河内町中央公民館，同ひばり館
 - ・河内生涯学習センター（本館，田原館）*旧河内町中央公民館，同田原分館
- 平成 22. 4. 1 以下の施設を自治振興部に所管替
- ・中央生涯学習センター
 - ・東生涯学習センター
 - ・西生涯学習センター
 - ・南生涯学習センター
 - ・北生涯学習センター
- 平成 26. 9.30 ・上河内生涯学習センターひばり館を閉館
- 平成 28. 3.22 ・地域自治センターと施設複合化（河内生涯学習センター）
- 平成 28. 9.26 ・地域自治センターと施設複合化（上河内生涯学習センター）
- 平成 29. 4. 1 ・地区市民センターとの施設複合化（上河内・河内生涯学習センター）

平成30年度生涯学習センター事業運営の評価について

◎趣旨

生涯学習センター事業の企画・運営の方向性を示す「平成30年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、平成30年度に実施した生涯学習センター事業について評価を行うもの

※「平成30年度生涯学習センター事業運営の考え方」参照

1 重点項目の評価について ※別紙参照

(1) 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

指標1 生涯学習センターの利用者数

指標2 生涯学習センターにおける講座の開催数

(2) 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進

指標3 子育て世代を対象とした参加交流型講座の参加者数

指標4 学校、地域、企業等と連携した講座の参加者数（子育て世代・青少年対象）

(3) 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

指標5 (再)生涯学習センターの利用者数

指標6 生涯学習センターにおける学習相談件数（来館、電話）

2 全体総括

平成30年度に各生涯学習センターで実施した生涯学習講座については、講座数137講座（平成29年度138講座）、実施回数560回（平成29年度588回）となり、実施回数は減少しているものの前年度とほぼ同数の講座数を維持し、継続的に学習機会を提供した。また、講座内容については、趣味・教養的な講座の充実を図るとともに、地域の課題解決や社会的課題に対応した講座を継続的に実施しており、幅広い内容の学習機会が提供されている。

講座参加者については、地域の現状や市民ニーズにあわせ、より魅力的・効果的な学習プログラムとなるよう見直し等を行ったことにより、講座の実施回数が減少したことから、延べ参加者数が減少したものの、受講決定者数は8,488人（平成29年度7,183人）と増加しており、より多くの市民に対し学習機会を提供することができた。また、成人を対象とした講座の参加者については、60代以上が全体の約8割であり、受講者の年代層の偏りが見受けられる。

今後は、第3次宇都宮市地域教育推進計画に基づき、地域特性や幅広い年代のニーズを捉え、社会の変化に応じながら多様な講座を実施していくとともに、学んだ人材を活動へと結びつける取組や、地域団体・企業等と連携して様々な課題解決の視点を取り入れた講座の実施に、より積極的に取り組んでいくことが求められる。また、幅広い年代に対して学習意欲を喚起し、市民の学習活動の更なる活性化を図るため、施設利用者をはじめとしたより多くの市民に向けて、各種メディアを活用した生涯学習センター事業等のPRを行うなど、情報発信力の強化を図ることが重要である。

【重点項目の評価】

(1) 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 (⇒基本目標Ⅰ)

- ・各種メディアの効果的な活用など生涯学習センターの利用者増に向けた「学習情報発信の強化」 ・「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座や身近な「生活課題の解決に資する講座」開催
- ・激しく変化する社会環境の中で複雑化する「社会的課題に対応した講座」の開催

【実績・評価】

指標1 生涯学習センターの利用者数

基準値 (H28) 740,862人 ⇒ 目標値 (R4) 772,528人

指標1	H28 (基準値)		H29		H30	
	人数		人数		人数	
単年度目標値	-		-		751,270人	
実績値	740,862人		804,486人		819,935人	
単年度の達成度	-		-		109.1%	
内訳	生涯学習センター講座参加者数	20,167人	20,169人		19,176人	
	生涯学習センター施設利用者数	720,695人	784,317人		800,759人	

→【参考1】

- 学習プログラムの見直しや再構築を図り講座の実施回数が増えたことにより、講座の延べ参加者数は減少したが、施設利用者数が増加したため、センター全体の利用者数が増加し、目標値を上回った。
- 講座数は目標値に達していないが、幅広い世代に向けた多様な学習機会を提供し、受講者の満足度が9割を大きく超えるなど、市民が学ぶ楽しさを感じ、身近な生活課題の解決や社会的課題への気づき、個人の人間力を高めるための学習活動につながるきっかけとなっている。

※満足度＝「満足」「やや満足」と回答した受講者の割合

指標2 生涯学習センターにおける講座の開催数

基準値 (H28) 141講座 ⇒ 目標値 (R4) 150講座

指標2	H28 (基準値)		H29		H30			
	講座数	実施回数	講座数	実施回数	講座数	実施回数	満足度	
単年度目標値	-		-		144講座			
実績値	141講座	600回	138講座	588回	137講座	560回	98.1%	
単年度の達成度	-		-		95.1%			
内訳	成人対象事業	69講座	292回	70講座	294回	69講座	275回	97.5%
	子育て世代対象事業	41講座	196回	39講座	208回	37講座	198回	99.0%
	青少年対象事業	31講座	85回	29講座	86回	31講座	87回	99.2%

→【参考1】

(2) 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 (⇒基本目標Ⅱ)

- ・子育て世代の「保護者の気づき」や「親子双方の育ち」を支援する講座の開催 ・子育て世代の親の「仲間づくり」や「ネットワークづくり」を促す参加交流型講座の開催
- ・魅力ある学校づくり地域協議会の活動の支援や、地域・企業等と連携した子育て世代や青少年を対象とした講座の開催

【実績・評価】

指標3 子育て世代を対象とした参加交流型講座の参加者数

基準値 (H28) 7,660人 ⇒ 目標値 (R4) 7,900人

指標3	H28 (基準値)		H29		H30			
	講座数	参加者数	講座数	参加者数	講座数	参加者数	満足度	
単年度目標値	-		-		7,740人			
実績値	41講座	7,660人 うち子ども3,796人	39講座	7,373人 うち子ども3,666人	37講座	6,578人 うち子ども3,205人	99.0%	
単年度の達成度	-		-		85.1%			
参考	交流・仲間づくりを目的 (例:親子ふれあい広場など)	39講座	7,609人 うち子ども3,503人	37講座	7,342人 うち子ども3,648人	34講座	6,353人 うち子ども3,133人	99.0%

→【参考1】

指標4 学校、地域、企業等と連携した講座の参加者数 (子育て世代・青少年対象)

基準値 (H28) 3,410人 ⇒ 目標値 (R4) 3,500人

指標4	H28 (基準値)		H29		H30			
	講座数	参加者数	講座数	参加者数	講座数	参加者数	満足度	
単年度目標値	-		-		3,440人			
実績値	25講座	3,410人	28講座	3,604人	30講座	2,728人	99.3%	
単年度の達成度	-		-		79.3%			
内訳	子育て世代対象事業 (例:親子のびのび講座など)	12講座	2,735人	12講座	2,036人	12講座	1,443人	99.5%
	青少年対象事業 (例:チャレンジ遊び場など)	13講座	675人	16講座	1,568人	18講座	1,285人	99.2%

→【参考1】

- 「子育て世代を対象とした参加交流型講座の参加者数」については、学習プログラムの見直し等により延べ参加者数が減少し目標値に達しなかったが、交流・仲間づくりを目的とした内容を数多く取り入れ、参加者の満足度も9割を大きく超えるなど、家庭の教育力向上とともに、親同士が交流する仲間づくりの場が提供できている。
- 「学校、地域、企業等と連携した講座の参加者数」については、目標値には達していないものの、H29年度と比較すると連携した講座数は増加し、様々な知識や技術をもった多様な主体との連携に取り組んでおり、より多くの地域団体等への意識の醸成を図るとともに、参加者の満足度が9割を大きく超えるなど、市民に質の高い学習機会を提供できている。

(3) 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 (⇒基本目標Ⅲ)

- ・「地域学講座」など地域に対する理解や愛着を育む講座の開催
- ・「地域活動団体やボランティア団体等と連携」した学習者が各種団体とつながることができる講座の開催
- ・学習者や活動したい人を様々な「活動へ結びつける学習相談」の推進

【実績・評価】

指標5 (再)生涯学習センターの利用者数

基準値 (H28) 740,862人 ⇒ **目標値 (R4) 772,528人**

指標1	H28 (基準値)	H29	H30
	人数	人数	人数
単年度目標値	-	-	751,270人
実績値	740,862人	804,486人	819,935人
単年度の達成度	-	-	109.1%
内訳	生涯学習センター講座参加者数	20,167人	20,169人
	生涯学習センター施設利用者数	720,695人	784,317人

→【参考1】

指標6 生涯学習センターにおける学習相談件数 (来館、電話)

基準値 (H28) 390件 ⇒ **目標値 (R4) 390件**

指標6	H28 (基準値)	H29	H30
	実施数	実施数	実施数
単年度目標値	-	-	390件
実績値	390件	312件	336件
単年度の達成度	-	-	86.2%
参考	マナビスにおける情報登録件数 (講座・団体・講師情報など)	5,075件	5,081件
	マナビスのアクセス件数 (ページビュー数)	99,338件	105,807件

→【参考2】

- 講座の延べ参加者数については減少したが、施設利用者は増加しており、センターが地域の交流拠点となり、多くの地域住民に活用されていることがうかがえる。
- 「学習相談件数」は目標値に達していないものの、「マナビスにおける情報登録件数」「マナビスのアクセス件数」が増加傾向にあることから、インターネットによる情報提供が充実したために各生涯学習センター等における学習相談が減少傾向となっていることが推測され、学習者や活動したい人を様々な活動へ結びつける事業については着実な推進が図られている。
- 地域の学習拠点として、より幅広い学習情報の収集・提供に努め、相談者を様々な活動へ結びつける情報提供・学習相談を推進するとともに、施設利用者をはじめとしたより多くの市民の学習活動のきっかけとなるよう、各種メディアをより効果的に活用するなど、生涯学習センター事業やマナビスの認知度向上に向け更なる取組の強化を図っていく。

※生涯学習情報提供システム(マナビス)＝生涯学習関連情報である、講座情報、イベント情報、施設情報、団体情報、講師情報などを、インターネットにより提供している生涯学習情報提供システム。

【参考1】

平成30年度 生涯学習センター講座内容別一覧

区分	事業数		受講決定者数	延べ参加者数	講座内容の種別(複数該当あり)											
	講座数	実施回数			趣味・教養的 222			個人の自立を促す 111			社会の要請に対応 181				その他	
					文化・教養	趣味	交流・仲間づくり	生活課題	行政の取組	人づくり	社会的課題	地域理解	団体等との連携	人権		
成人対象事業	69講座	275回	3,677人	9,595人	50	30	30	27	8	21	25	30	45	13	5	
子育て世代対象事業	37講座	198回	3,427人	6,578人	17	6	34	24	1	8	7	2	12	2	6	
青少年対象事業	31講座	87回	1,384人	3,003人	20	10	25	9	0	13	6	14	18	7	3	
総計	137講座	560回	8,488人	19,176人	87	46	89	60	9	42	38	46	75	22	14	

【参考】平成29年度 生涯学習センター講座内容別一覧

区分	事業数		受講決定者数	延べ参加者数	講座内容の種別(複数該当あり)											
	講座数	実施回数			趣味・教養的 199			個人の自立を促す 120			社会の要請に対応 188				その他	
					文化・教養	趣味	交流・仲間づくり	生活課題	行政の取組	人づくり	社会的課題	地域理解	団体等との連携	人権		
成人対象事業	70講座	294回	3,676人	9,833人	45	27	26	38	4	29	27	33	40	14	5	
子育て世代対象事業	39講座	208回	2,490人	7,373人	11	5	37	25	0	7	3	2	14	4	6	
青少年対象事業	29講座	86回	1,017人	2,963人	17	4	27	7	0	10	7	13	28	3	6	
総計	138講座	588回	7,183人	20,169人	73	36	90	70	4	46	37	48	82	21	17	

平成30年度生涯学習センター別講座数等一覧

事業名	センター名	中央	東	西	南	北	平石	清原	横川	瑞穂野	城山	国本	富屋	豊郷	篠井	姿川	雀宮	上河内	河内	計
	項目																			
成人対象事業	講座数	7回	3	7	3	5	4	1	2	1	2	6	4	3	3	3	4	5	6	69
	実施回数	41	12	24	12	23	13	1	9	1	7	13	16	12	18	14	10	28	21	275
	延べ参加者数	1,715	887	632	445	763	387	20	449	35	238	300	284	560	455	366	436	991	632	9,595
子育て世代対象事業	講座数	2	3	2	3	3	3	1	1	2	2	1	2	3	2	1	2	1	3	37
	実施回数	11	19	11	6	12	39	8	8	6	12	6	8	11	9	8	8	6	10	198
	延べ参加者数	619	1,021	343	159	369	1,121	349	285	122	447	90	107	320	142	242	203	223	416	6,578
	(うち子ども)	299	512	181	56	181	584	180	148	61	217	45	26	127	84	121	99	109	175	(3,205)
青少年対象事業	講座数	1	1	1	5	2	1	3	1	2	1	2	2	1	1	2	3	1	1	31
	実施回数	4	3	5	7	2	1	6	5	6	2	4	11	6	6	7	6	2	4	87
	延べ参加者数	107回	63	74	141	54	13	185	119	526	56	73	400	337	406	210	129	64	60	3,003
総計	講座数	10	7	10	11	10	8	5	4	5	5	9	8	7	6	6	9	7	10	137
	実施回数	56	34	40	25	37	53	15	22	13	21	23	35	29	33	29	24	36	35	560
	延べ参加者数	2,441	1,971	1,049	745	1,186	1,521	554	853	683	741	463	791	1,217	1,003	818	768	1,278	1,108	19,176

【参考】平成29年度 生涯学習センター別講座数等一覧

事業名	センター名	中央	東	西	南	北	平石	清原	横川	瑞穂野	城山	国本	富屋	豊郷	篠井	姿川	雀宮	上河内	河内	計
	項目																			
成人対象事業	講座数	7	3	7	4	5	4	0	2	1	2	5	4	3	3	4	4	6	6	70
	実施回数	42	23	22	17	24	13	0	7	2	6	14	17	12	15	15	18	26	21	294
	延べ参加者数	1,658	972	613	614	766	443	0	319	21	143	280	313	568	315	456	702	939	711	9,833
子育て世代対象事業	講座数	3	3	2	4	3	3	1	2	2	2	1	2	3	2	1	2	1	2	39
	実施回数	12	18	11	6	12	48	7	8	5	11	7	8	11	10	10	8	6	10	208
	延べ参加者数	676	1,060	457	187	419	1,095	257	269	126	553	178	237	369	156	330	248	255	501	7,373
	(うち子ども)	338	538	182	79	215	577	129	112	63	290	95	122	163	65	167	124	134	223	(3,616)
青少年対象事業	講座数	1	1	2	4	2	1	3	1	2	1	2	2	1	1	1	2	1	1	29
	実施回数	5	3	6	6	2	2	7	2	6	2	4	11	6	6	5	7	2	4	86
	延べ参加者数	151	64	129	97	78	41	291	42	450	47	78	440	266	405	128	131	46	79	2,963
総計	講座数	11	7	11	12	10	8	4	5	5	5	8	8	7	6	6	8	8	9	138
	実施回数	59	44	39	29	38	63	14	17	13	19	25	36	29	31	30	33	34	35	588
	延べ参加者数	2,485	2,096	1,199	898	1,263	1,579	548	630	597	743	536	990	1,203	876	914	1,081	1,240	1,291	20,169

平成30年度 学習相談利用状況

◆平成30年度学習相談件数(平成30年4月～平成31年3月)

・来館による相談	201件	
・電話による相談	134件	
・ファックスによる相談	0件	
・Eメールによる相談	1件	
・その他による相談	0件	計336件…①
・簡易問い合わせ件数	624件…②	
総件数(①+②)	960件	

◆平成29年度学習相談件数(平成29年4月～平成30年3月)

・来館による相談	227件	
・電話による相談	84件	
・ファックスによる相談	0件	
・Eメールによる相談	1件	
・その他による相談	0件	計312件…①
・簡易問い合わせ件数	616件…②	
総件数(①+②)	928件	

■学習相談件数

相談方法	人材	中央	東	西	南	北	上河内	河内	平石	清原	横川	瑞穂野	豊郷	国本	城山	富屋	篠井	姿川	雀宮	学文	計	
面接(窓口)	4	26	18	6	29	38	1	0	13	0	8	16	14	0	0	0	0	5	4	19	201	
電話	13	24	7	15	12	18	0	0	0	0	2	6	1	0	0	0	0	0	0	0	36	134
FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Eメール	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	50	25	21	41	56	1	0	13	0	10	22	15	0	0	0	0	5	4	55	336	

相談種類	人材	中央	東	西	南	北	上河内	河内	平石	清原	横川	瑞穂野	豊郷	国本	城山	富屋	篠井	姿川	雀宮	学文	計	
施設	0	1	0	0	16	1	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	25
講座	8	1	2	0	0	5	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	28	47
団体	7	48	21	21	25	51	1	0	13	0	9	21	9	0	0	0	0	5	3	27	261	
講師	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
地域活動	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	6
合計	18	50	25	21	41	57	1	0	13	0	10	22	15	0	0	0	0	5	4	62	344	

相談者(性別)	人材	中央	東	西	南	北	上河内	河内	平石	清原	横川	瑞穂野	豊郷	国本	城山	富屋	篠井	姿川	雀宮	学文	計
男性	10	13	8	4	9	14	0	0	3	0	4	3	2	0	0	0	0	3	2	27	102
女性	8	37	17	17	32	43	1	0	10	0	6	19	13	0	0	0	0	2	2	28	235
合計	18	50	25	21	41	57	1	0	13	0	10	22	15	0	0	0	0	5	4	55	337

相談者(年代)	人材	中央	東	西	南	北	上河内	河内	平石	清原	横川	瑞穂野	豊郷	国本	城山	富屋	篠井	姿川	雀宮	学文	計
70代以上	3	14	4	8	12	18	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	1	0	9	75
60代	6	33	9	9	16	28	0	0	3	0	4	11	8	0	0	0	0	3	3	27	160
50代	4	1	4	3	2	8	0	0	1	0	0	6	4	0	0	0	0	0	0	7	40
30～40代	5	1	8	1	9	2	1	0	7	0	0	3	2	0	0	0	0	1	1	9	50
20代	0	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	11
10代以下	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	18	50	25	21	41	57	1	0	13	0	10	22	15	0	0	0	0	5	4	55	337

簡易問い合わせ	50	60	19	33	66	51	0	114	0	3	10	20	37	39	52	0	0	65	5	0	624
総件数	68	110	44	54	107	107	1	114	13	3	20	42	52	39	52	0	0	70	9	55	960

○ 平成 30 年度生涯学習センター事業運営の考え方

1 社会情勢の変化と基本的な考え方

近年、超高齢化やグローバル化の進行、ICTの劇的な進化など、社会環境がめまぐるしく変化する中、人々の価値観やニーズも一層多様化し、求められる能力も変化していくことが見込まれる。また、地域においては、人々の付き合いが疎遠になり、家庭・地域の教育力や地域コミュニティの低下がますます進行していくことが懸念される。

こうした中、本市においては、市民が生涯を通じた学習により様々な分野で主体的に活動し、それぞれの個性や能力を最大限に発揮しながら社会に貢献できる「人間力の高い人づくり」を推進しているところであり、今後さらに、学校と家庭・地域、企業との連携強化による「家庭や地域の教育力向上」や、地域資源の一層の活用等による「地域コミュニティの活性化」に取り組んでいく必要がある。

こうしたことから、社会性の向上や様々な課題への気づきを促すなど、人間力を高める多様な学習機会の提供や、学びを通して多様な主体と人々をつなぐなど、学んだ成果を活動へつなげていくとともに、地域全体で学び合い育ち合う、地域ぐるみの子どもを育む教育活動に取り組み、第3次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念の実現を図っていく。

2 第3次宇都宮市地域教育推進計画について

生涯学習センターの事業運営については、第3次宇都宮市地域教育推進計画の基本理念を踏まえ、各基本目標の達成にむけた着実な地域教育の推進に取り組んでいく。

【第3次宇都宮市地域教育推進計画】

《基本理念》

「学びを通して、時代の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により、一人ひとりが活躍する社会を実現する」

〈基本目標Ⅰ〉

「一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習活動に取り組んでいます」

多様な学習機会の提供などにより、学習を通して社会性の向上や、健康や人権、地域コミュニティなど様々な課題への気づきを促し、個人の人間力を高めるため一人ひとりが学習に取り組んでいる状態を目標とする。

〈基本目標Ⅱ〉

「地域・学校・家庭が相互に連携・協力し、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組んでいます」

地域の人々が子どもを育む教育活動等を通じて交流し、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組んでいる状態を目標とする。

〈基本目標Ⅲ〉

「多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています」

多様な主体と人々をつなぐなど、学習と活動の循環を促進する取組により社会参画のきっかけを作り、一人ひとりが学んだ成果を生かして様々な場面で活動している状態を目標とする。

3 生涯学習センターの役割

- ・ 地域特性や住民ニーズなどを踏まえるとともに、個人の要望と社会の要請のバランスに配慮し、大学、企業などと積極的に連携した多様な事業を推進
- ・ 講座等の開催日時の工夫や託児の充実など、参加を促進する環境を整備
- ・ 学習者が学んだ成果を活かし、意欲的に様々な活動へと取り組めるよう、地域活動団体と協働・共催での事業を実施

【参考】社会教育法第20条（公民館の目的）

公民館は、市町村その他一定区域の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

4 生涯学習センター事業運営における重点項目について

生涯学習センターにおいては、第3次宇都宮市地域教育推進計画の理念の実現に向けて、下記項目を重点として取り組んでいく。なお、各重点項目については、指標を基に評価していく。

（1）地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進（⇒基本目標Ⅰ）

- ・ 各種メディアの効果的な活用など生涯学習センターの利用者増に向けた「学習情報発信の強化」
- ・ 「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座や身近な「生活課題の解決に資する講座」の開催
- ・ 激しく変化する社会環境の中で複雑化する「社会的課題に対応した講座」の開催

【指標1】生涯学習センターの利用者数（講座参加者数及び貸館利用者数）

⇒平成28年度実績 740, 862人

【指標2】生涯学習センターにおける講座の開催数

⇒平成28年度実績 141講座

（2）家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進（⇒基本目標Ⅱ）

- ・ 子育て世代の「保護者の気づき」や「親子双方の育ち」を支援する講座の開催
- ・ 子育て世代の親の「仲間づくり」や「ネットワークづくり」を促す参加交流型講座の開催
- ・ 魅力ある学校づくり地域協議会の活動の支援や、地域・企業等と連携した子育て世代や青少年を対象とした講座の開催

【指標3】子育て世代を対象とした参加交流型講座の参加者数

⇒平成28年度実績 7,660人（大人3,864人、子ども3,796人）

【指標4】学校、地域、企業等と連携した講座の参加者数（子育て世代対象、青少年対象）

⇒平成28年度実績 3,410人

（3）地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実（⇒基本目標Ⅲ）

- ・ 「地域学講座」など地域に対する理解や愛着を育む講座の開催
- ・ 「地域活動団体やボランティア団体等と連携」した学習者が各種団体とつながることができる講座の開催
- ・ 学習者や活動したい人を様々な「活動へ結びつける学習相談」の推進

【指標5】(再)生涯学習センターの利用者数（講座参加者数及び貸館利用者数）

⇒平成28年度実績 740, 862人

【指標6】生涯学習センターにおける学習相談件数（来館、電話）

⇒平成28年度実績 390件

平成30年度 中央生涯学習センター事業実施報告

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)			
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他							
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																		
	金曜まなび塾	行政等が実施する活動や内容についての学習に加え、話題になっている事柄や、社会情勢の変化に対応した情報などを幅広い分野で提供することにより、生涯学習の推進を図る。	○	○		○		○								市内在住・在勤の一般成人	7/13～12/14 平日 全11回	580人 (-) ※60代 ※70代以上	
	修道館アカデミー(前期) (Vスタッフ企画運営講座)	市民目線から現代の社会情勢を的確に捉え、必要とされる生涯学習講座の企画立案から広報、実施までの講座運営を担う機会と場を提供し、生涯学習を推進する。														市内在住・在勤の一般成人	11/7～12/5 平日 全4回	88人 (-) ※60代 ※70代以上	・Vスタッフ
	修道館アカデミー(後期) (Vスタッフ企画運営講座)	市民目線から現代の社会情勢を的確に捉え、必要とされる生涯学習講座の企画立案から広報、実施までの講座運営を担う機会と場を提供し、生涯学習を推進する。	○	○	○	○	○									市内在住・在勤の一般成人	2/5～2/26 平日 全4回	143人 (-) ※60代 ※70代以上	・Vスタッフ
	◎いきいきシニアアップ講座	超高齢化社会に対応するため、健康寿命の延伸や心豊かに安全で安心に年齢を重ねていけるよう、学習機会を提供する。	○	○		○		○							市内在住の65歳以上の一般成人	1/23～2/27 平日 全5回	294人 (-) ※60代 ※70代以上		
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象事業																		
	◎子育て広場	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深めるとともに、仲間づくりや情報交換の場として親子同士の交流を育む。また、子育て相談の機会を提供する。														乳幼児(0～6歳)とその保護者	5/16～2/20 平日、一部日曜日 全10回	587人 (282人) ※30代	
	子ども映画鑑賞会	大きなスクリーンによる優れた映画作品の鑑賞をとおして、子どもたちの豊かな情操と高い映像理解能力を育むとともに、映画という偉大な文化芸術遺産の素晴らしさ、楽しさを知ってもらう。														市内在住の小学生	2/23 土曜日 全1回	32人 (17人) ※30代 ※50代	・宇都宮映写ボランティアの会
	青少年対象																		
	親子のワクワク体験教室	親が子どもと一緒に体験や活動することを通して、子どもの成長を感じ、理解を深めるとともに、他の親子との交流を図りながら、仲間づくりや情報交換の機会を提供する。														市内在住の小学生とその保護者	7/14～9/1 土曜日 全5回	107人 (55人)	

重点項目	事業区分		内容	講座内容の種別								対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)		
	事業名			社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり					交流仲間	他
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																
	地域応援講座		地域の実情に沿った講座を地域コミュニティセンターで開催することで、地域住民が地域活動に関心を持つきっかけづくりとする。	○	○	○	○		○			○	○	所管する8地域内の一般成人	5/17～2/21 平日 全15回	526人 (-) ※70代以上	・8地域コミュニティセンター
	錦地区ハザードマップ勉強会（錦地域まちづくり協議会全体会議）		姿川・田川流域洪水ハザードマップの改訂（H31.1）に伴い、錦地区における浸水想定区域の状況や避難所・一時避難場所の確認、避難に関する情報収集の方法などを学ぶ。	○		○		○						築瀬地区に在住または通勤している人	2/22 平日 全1回	62人 (-) ※不明	・錦地域まちづくり協議会
	西地域 歴史講座		地域内に魅力的な資源が多くあることから、地域資源を掘り起こすため、地域の歴史について学びながら、西地域の良さを知る。											錦地区内の一般成人	10/27 平日 全1回	22人 (-) ※60代 ※70代以上	

平成30年度 東生涯学習センター事業実施報告

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)		
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他						
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																	
	ふれあい塾 (Vスタッフ企画運営講座)	講座企画・運営ボランティアスタッフ「東泉会」が企画・運営する講座。 受講生同士の話し合いの場を設け”聞く、見る学習の場”から”聴く、考える、話し合う学習の場”を推進する。	○	○	○	○										一般成人	5/22～12/18 平日 全8回	451人 (-) ※60代 ※70代以上
	東雲塾	高齢者が明るく健康で充実した生活を送ることができるよう歴史や文化を学ぶほか、軽体操、レクリエーションなどを体験する。 身近な地域について学ぶことにより、地域に対する理解を深め郷土愛の醸成を図る。	○	○	○	○	○	○							一般成人	6/1～2/15 平日 全8回	366人 (-) ※70代以上	・Vスタッフ(東泉会)
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																	
	親子でDoing	親子の会話、工作や体験を通して親子のスキンシップを図りながら、ものづくりについて学ぶ。			○										小学3、4年生とその保護者	6/16～12/15 土曜日 全7回	323人 (162人) ※40代	
	すくすく子育て講座	乳幼児の時期に親子のスキンシップを図るとともに、子育ての学習やレクリエーションを通して、受講者同士の交流を深める。 また、子育て相談や子育てに関する知識を学ぶ機会を提供する。													就学前の乳幼児と保護者	5/10～1/17 平日 全12回	698人 (350人) ※30代	
	青少年対象																	
	◎子ども国際理解サマースクール	外国人留学生と身近に接する参加型の学習を通して、「国際理解・協力」の力を養う。宇都宮大学国際学部との連携事業。	○		○										小学4～6年生	8/8～8/10 平日 全2回	63人 (-)	・宇都宮大学
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																	
	★宇都宮の歴史をたどる	住民主体のまちづくりを推進していくため、地域学講座を開催し、地域理解を深め、地域の課題解決について考えるきっかけとする。また、まちづくり活動に資する人材を育成する。			○	○									市内在住・在勤の成人	11/8～2/6 平日 全4回	70人 (-) ※不明	・陽東地区まちづくり協議会

平成30年度 西生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)				
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他								
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																			
	シニア快活！元気講座 (Vスタッフ企画運営講座)	体を動かしたり、脳を活性化していくさまざまな参加体験型学習をとおして、体と心をリフレッシュしていくとともに、受講者同士の交流・仲間づくりをとおして、シニア世代がいつまでも元気で快活に過ごすことに繋げる。		○	○	○		○						○		50歳以上の方	6/19～12/18 平日 全6回	181人 (-) ※70代以上	・Vスタッフ(西木の芽会) ・宇都宮市生涯学習登録団体(西生涯学習センター登録団体2団体:梢会, 男声合唱団ヴォーカルA)	
	西楽アカデミー	健康づくりや現代の生活に必要な知識の向上に関する学習を行うとともに、運動を伴ったレクリエーションや創作活動、館外学習を通して受講者同士の交流を深める。		○	○	○		○						○		一般成人	6/7～12/20 平日、一部日曜日 全10回	236人 (-) ※60代 ※70代以上	・作新学院高等学校	
	宇都宮再発見！	宇都宮に関する歴史や文化を学ぶことにより、自分の住むまちへの愛着を深めるとともに、まちづくりを担うなど地域社会を支える人材を育成する。		○	○											一般成人	6/22～9/28 平日 全4回	65人 (-) ※60代 ※70代以上	・栃木県立博物館	
	ふれあい映画会	心に残る傑作映画を視聴することにより、豊かな感性を醸成していくとともに、これまで生涯学習センターを利用したことが無い様な市民など、より多くの地域住民に生涯学習への関心を抱いてもらう。											○		主に桜・富士見・明保地域内の方	8/29 平日 全1回	39人 (5)			
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																			
	すくすく子育て講座	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深め、仲間づくりや子育ての情報交換の場となるよう子育てを支援する。		○		○								○	○	○	1歳～3歳の乳幼児とその保護者	6/13～12/12 平日 全6回	231人 (125人)	・宇都宮市生涯学習登録団体(西生涯学習センター登録団体:ハーモニカ夢) 【地域子育て支援】 ・さくら女性の会 ・作新学院高等学校
	★◎親子トライ&ゴー	工作や館外学習など様々なアクティビティを通し親子の絆を深めながら、生活に役立つ知識や子どもの心を育む技術を学習・習得することにより家庭の総合的な教育力の向上を図る	○	○		○	○	○							○		小学校1年生～3年生とその保護者	6/16～10/20 土曜日 全5回	112人 (56人) ※30代	・宇都宮市生涯学習登録団体(西生涯学習センター登録団体:花・悠悠) ・作新学院高等学校
	青少年対象																			
	わくわくサマースクール	夏休みを利用して普段なかなかできない様々な体験学習をとおして好奇心や創造力・思考力を培う。また他校の仲間との交流を深め、地域性を生かした館外学習を行い社会性を育てる。											○		○		市内小学校4～6年生	7/24～8/2 長期休業期間 全5回	74人 (-)	・作新学院高等学校

重点項目	事業区分		内容	講座内容の種別								対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)		
	事業名			社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり					交流仲間	他
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																
	地域コミュニティの促進		地域のニーズに沿った課題の解決と地域住民のコミュニティの関りの強化。			○	○	○						富士見地区住人	2/23 土曜日 全1回	39人 (1人) ※70代以上	・富士見地域まちづくり推進協議会
	★NPO理解促進講座		明保地域まちづくり活動での課題解決手法の研究。			○								明保地区住人	3/6 平日 全1回	24人 (-) ※70代以上	・明保地区明るいまちづくり協議会
	桜地域学講座		自分たちが住むまちについてより一層理解を深め、地域への愛着心をより高めるとともに、まちづくりのさらなる推進を図る。また、大人が子どもや青少年への地域の魅力を伝達していくような機運を醸成し、次世代のまちづくりを担う人材を育てる。	○		○		○	○					桜地区住人	2/23 土曜日 全1回	48人 (-) ※不明	・桜地区青少年育成会 ・桜地域まちづくり協議会

平成30年度 南生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分 事業名	内容	講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)		
			社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他						
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																	
	男の料理講座	男性に、料理の学習機会を提供し、食生活に興味関心をもってもらうとともに、料理を作る楽しみを知り、参加者どうしの交流をはかる。	○			○				○	○				市内に在住か通勤している成人男性	5/8～7/3 平日 全3回	60人 (-) ※60代 ※70代以上	
	◎シニアセミナー南悠塾	シニア世代の受講者が、交流をはかりながら教養を深め、充実した毎日を過ごすことができるような学習を行う。	○	○	○	○				○					市内在住の60歳以上の成人	6/7～12/6 平日 全6回	312人 (-) ※70代以上	
	プロ直伝「おいしいドリップコーヒー入門」講座	一般家庭でも馴染みのある珈琲についての知識を深め、家庭でもおいしく淹れることの出来る方法を身に付ける。								○				市内に在住か通勤している成人	4/26～6/28 平日 全3回	68人 (-) ※60代		
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																	
	すくすく子育て応援講座(前期)	親子の触れ合いを深めて、同じ立場にいる親同士が育児の悩みや楽しさを分かち合いながら仲間づくりやお互いの交流を図る。	○	○		○								市内在住の首がすわった1歳前後の子どもとその保護者	5/18, 6/19 平日 全2回	58人 (29人) ※30代		
	すくすく子育て応援講座(後期)	親子で体を使ったリクレーションの機会を持ち、読み聞かせの手法や、本選びを学ぶことで、いきいきとした親子関係をはぐくみ、子育て世代の仲間づくりのきっかけとする。	○	○		○							○	市内在住の2～3歳児とその保護者	10/2, 11/13 平日 全2回	55人 (27人) ※30代 ※40代		
	ママのアンガーマネジメント入門講座(対象:未就学児ママ)	子育て中の母親が感じているイライラに上手に対応する方法を学び、よりよい親子関係の構築へのきっかけづくりを目指す						○						○	市内在住の未就学児の保護者	5/15, 5/22 平日 全2回	46人 (-) ※30代	
	青少年対象																	
	親子で科学体験講座	機械を使って、身近な物を観察し、専門家の話を聞くことで、理科離れが言われる子どもたちに、科学に関心を持ってもらう。また、夏休み応援講座の一環として、親子の交流を図る。		○		○					○				小学校3～6年生の児童とその保護者	8/7 長期休業中 全1回	34人 (19人)	
親子で学ぶ読書感想文の書き方講座	夏休みの読書感想文の書き方を親子で学ぶことにより、親子で一緒に読書の楽しさを学び、本に親しむ心を育む。		○		○					○				小学校3・4年生の児童とその保護者	7/31 長期休業中 全1回	30人 (15人)		
親子で楽しむ料理講座	簡単に出来る料理を、親子で協力しながら作ることで、親子の交流をはかり、食生活に興味関心をもってもらう。				○					○				小学校1～3年生の児童とその保護者	8/3 長期休業中 全2回	20人 (10人)		

重点項目	事業区分		講座内容の種別									対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)	
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間					他
	プログラミング入門講座 (小学校低学年向け)	2020年度より小学校で必修科目となるプログラミングの基礎を学び、創造力・問題解決能力・論理的思考力を身に付ける一助とする。		○							○		市内在住の小学生	8/9, 8/10 長期休業中 全2回	27人 (-)	
	プログラミング入門講座 (小学校高学年向け)	2020年度より小学校で必修科目となるプログラミングの基礎を学び、創造力・問題解決能力・論理的思考力を身に付ける一助とする。		○							○		市内在住の小学生	8/9, 8/10 長期休業中 全2回	30人 (-)	

平成30年度 北生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分 事業名	内容	講座内容の種別									対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)					
			社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間					他				
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																			
	北洲塾(Vスタッフ企画連)	社会の要請や新たな課題等を踏まえ、誰でも楽しめる、座学や体験を通して学んだものを地域社会や日常生活に生かせるようにする。	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	一般成人	5/30～11/28 平日 全9回	319人 (-) ※60代 70代以上	・Vスタッフ(全9回の内の2回)
	聴いて読む名作	文学作品を講師の朗読で鑑賞し、作品をより深く味わうとともに、心豊かな人生につながるよう新たな感じ方・捉え方を学ぶ。			○					○					○		一般成人	9/13～10/11 平日 全2回	139人 (-) ※60代 70代以上	
	和文化入門講座	国際化の流れの中で自国の文化を知り、和の心をもったコミュニケーション能力を養うとともに、楽しく日本文化の粋に触れる。			○					○					○		一般成人	5/10～6/7 平日 全5回	115人 (-) ※60代	・宇都宮市生涯学習登録団体(北生涯学習センター登録団体2団体)
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																			
	◎新・家族応援講座Ⅰ・Ⅱ	未就学児を持つ親への子育て支援を行う。幼児期に育てたいことや親としての心得等について、専門的知識を有する講師の指導を受けながら学ぶ。また、小学校入学前までに家庭で行っておきたい躾や小学校教育の概要について学び、早い時期からゆとりをもって家庭教育に取り組めるようにする。	○			○										○	未就学児を持つ保護者	6/2～10/27 土曜日 全5回	125人 (55人) ※30代 ※40代	
	親子でチャレンジ	親子が一緒に様々な体験活動(伝統工芸品作り、ランチ作り)を行い、互いを認め合い尊重し合いながら親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を図り、社会性の拡大を図る。また、「ランチ作り」では、世界の国々の食に視点を当て、食文化を通して国際理解に触れる機会とする。		○		○									○	○	5歳児～小学3年とその保護者	7/27, 8/4 土曜日 全2回	60人 (31人) ※40代 ※50代	・文星短期大学
	親子自然探検隊	地域の未来を担う世代(子育て世代とその子ども)が、地域の里山保全グループと交流しながら自然に親しむことを通して、生物多様性の大切さを知り、守ることを知る機会とする。		○	○									○	○	小学生以下の子どもとその保護者	4/22～1/19 土曜日 全5回	184人 (95人) ※30代 ※40代	・レッドパイン ・栃木県立博物館	

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)					
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他									
	青少年対象																				
	青少年リーダー養成講座	企業等の活動を学ぶことを通して職業観を養うとともに、協調性・たくましさ・思いやりのある心豊かな人間性や社会性を育み、次世代を担う地域のリーダーとしての資質を養う。													○	○	戸祭地区の青少年	8/21 夏季休業中 全1回	24人 (19人)	・戸祭地区青少年育成会	
	子ども映画鑑賞と昔あそび体験講座	映像からの学びとともに、普段体験できない昔遊びを体験することで子供たちの情操教育を図る。さらに、センターを地域の身近な施設として感じてもらうきっかけとする。				○										○	○	小学生以下の子どもとその保護者	7/27 夏季休業中 全1回	30人 (-) ※40代	・宇都宮市生涯学習登録団体(北生涯学習センター登録団体)
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																				
	◎地域を学ぶ1, 2	これまで地域内の歴史、地理、自然、産業とそれらを支える人々について学んできたことをベースに、30年度は近隣の地域との繋がりから新たな資源の発見を促す。														○	一般成人	5/22～10/23 平日 全4回	136人 (-) ※60代 ※70代以上		
	戸祭地区地域学講座	戸祭地区地域ビジョンの策定に向けた意識の醸成を図るため、地域学講座を開催し、フィールドワークやワークショップを通して地域理解の促進やビジョン策定等の地域まちづくり活動に資する人材を育成する。														○	○	戸祭地域に住む小学生以下の子どもとその保護者	6/30～3/16 土曜日 全3回	54人 (16人) ※小学生 ※30代	

平成30年度 平石生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別									対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)			
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間					他		
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																	
	大人の教養講座 (Vスタッフ企画運営講座)	平石地区の歴史や伝統文化を学び、郷土をより深く探求するとともに、受講生同士の交流をとおして、仲間づくりに繋げる。		○										地域内に居住する成人等	7/3, 7/10 平日 全2回	22人 (-) ※70代以上	・Vスタッフ	
	高齢者友遊教室	高齢者にふさわしい講話、趣味や教養を身につけるための学習、異世代間交流などの機会を創出する。	○	○		○		○	○	○				地区内の高齢者	5/24～2/21 平日、一部日曜日 全9回	307人 (-) ※70代以上		
	高齢者指導者研修	地域リーダーとしての資質の向上や後進の指導者育成を行う。		○							○	○		地区内の高齢者	6/18 平日 全1回	24人 (-) ※70代以上		
	女性指導者研修	地域リーダーとしての資質の向上やまちづくり活動の推進を図る。		○						○	○	○		地区内の女性	7/27 平日 全1回	34人 (-) ※60代 ※70代以上		
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																	
	親子ふれあい講座	連続した講座を開催することにより、母親相互の交流を図るとともに、親子が一緒に遊びや体操を行なうことで幼児期に必要な親子の関わり方を学ぶ。											○		地区内の2～3歳の幼児を持つ親とその子	7/4～7/18 平日 全3回	85人 (45人) ※30代	
	◎親子の広場「はぐはぐ」	子育て中の親とその子どもを対象に「つどいの場」を週1回開催、サポーターが話し相手になる。月1回子育て支援事業を実施する。	○	○		○		○		○	○			地区内の主に乳幼児(0～3歳)を持つ子育て中の親とその子	4/10～3/19 平日 全11回	899人 (471人) ※30代		
	家庭教育セミナー	成長著しい小学生の子を持つ親を対象として、子どもの「生きる力」を育むための知識や技術を身につける。		○		○		○			○		地区の親又は家庭教育に関心を持つ人及び児童、生徒	6/16～10/18 平日、土曜日 全3回	137人 (68人) ※40代	・平石中央小、平石北小 PTA研修部		
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	青少年対象																	
	少年ふるさと教室	様々な体験活動を通して、仲間との関わりを深め、生きる力を育むとともに、地域資源の発見や異世代との交流を通して、リーダーとしての資質向上を図る。		○									○		地域内小学生	8/22 長期休業中 全1回	13人 (-)	・宇都宮大学工学部

平成30年度 清原生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)				
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他								
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																			
	青少年指導者・育成者研修会	地域ぐるみで子どもを育てる意識を醸成し、指導者としての資質を向上させるとともに、地域を構成する各団体とのより一層の連携・協力を図り、地域づくりを推進する。	○		○										○	○	地域内青少年育成関係者	2/23 土曜日 全1回	20人 (-) ※不明	・清原地区青少年育成会協議会 ・清原地区子ども育成会連絡協議会
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																			
	◎ふれあい子育て広場	保護者の家庭教育力の向上を図るため、親子遊びの体操などを通じたスキンシップなど、幼児期の成長に役立つ赤ちゃんとの関わり方、母親自身の心と体の健康等について学び、子育てに必要な知識を習得し、子育ての不安を解消するとともに、交流する親同士の子育てネットワーク作りの推進を図り、保護者が自信を持って子育てができるようにする。															0歳～未就園児とその保護者	6/29～12/6 平日 全7回	349人 (180人) ※30代	
	青少年対象																			
	チャレンジ遊び塾	子どもを対象に日常生活では体験できない「遊び」を通じて、自然のすばらしさ、学ぶ楽しさを体験してもらうことで、豊かなチャレンジ精神を育む。			○	○											地域内小学生とその保護者	5/9～2/2 平日、一部土曜日、 一部長期休業中 全4回	125人 (112人)	・東京ガス(株)宇都宮支社 ・清原手打ちそばの会 ・栃木県農業大学校
地域体験キャンプ	青少年育成協議会、地域学校園協議会、センター共催による実行委員会を組織し、地区内の青少年育成に関わる指導の横断的な連携により事業を実施する。 参加者は、キャンプを体験することで、年齢・学区を越えた仲間との出会い、地域の大人との出会い、地域にある資源への気づきなどを通じて、我がまち「清原」を体感し、「郷土愛」、「仲間の大切さ」や「出来る自分」を認識することで、子どもたちのチャレンジ精神や郷土に対する誇りと愛着を育む。															地域内小学4～6年生	8/18～8/19 長期休業中 全1回	40人 (-)	・清原中学校 ・作新学院大学 ・清原地区青少年育成協議会 ・清原地域学校園協議会 ・消防団清原分団 ・地区内農業経営者 ・栃木YMCA	
企業体験教室	子どもを対象に清原工業団地の企業と連携した工場見学会等を実施し、「日本のものづくり」の偉大さを感じてもらうとともに、日本を代表する企業が地域にあることの「誇り」を持つことで地域の将来を担う子どもの地域愛を育て、地域づくりの推進につなげる。			○	○											地域内小学生	7/31 長期休業中 全1回	20人 (-)	・キャンノン株式会社宇都宮工場	

平成30年度 横川生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)	
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他					
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																
	ことぶき塾	人生の後半を豊かに生きるためには、人生の前半では排除しがちであった「自己」と向き合い、再認識することで、本当の自分を見つめなおすことが必要だと言われている。エンディングノート作成などをとおして、あらためて今までの自分自身を振り返り、今後は自己の認識を深めながら、より豊かで健康な時間を過ごすことができるよう学習する。	○	○		○		○									
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																
	親子のびのび講座	乳幼児期の大切な時期に、体操やレクリエーションなどを通じた親子のスキンシップや、必要な技術の習得等を通して、親子双方の育ちを図るとともに、同じ子育て世代同士がコミュニケーションをとれる環境を構築する。	○	○		○		○			○	○					
	青少年対象																
	夏休みワクワク体験教室	児童が同年代の子どもたちと「体験活動」を通して仲間意識を育みながら、創意工夫する力を身に付けるとともに、規範意識や道徳心の醸成、勤労観の育成等の支援を図る。	○	○	○	○						○	○				
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																
	★◎まるごと横川	地元横川の魅力をそれぞれが再発見することなどを通して、地域ビジョン策定に伴う今後のまちづくりに対する意識の醸成を図る。	○		○								○				

平成30年度 瑞穂野生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)		
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他						
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																	
	◎地域学「みずほ」(Vスタッフ企画運営講座)	地域の歴史や文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。			○	○									○		地区内に居住する一般成人	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																	
	なかよし親子の広場	幼児期の成長に必要な遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親子双方の育ちを支援する。また、子育てに必要な知識の習得と子育ての不安を解消し、地域の子育て支援機能の充実を図る。													○	○	就学前の幼児と保護者	
	子育てはっぴー講座	乳児期の大切な時期に親子のスキンシップや学びを通して、家庭における子育て力の向上を図るとともに、親同士の子育てネットワーク作りの推進を図る。															○	乳児と保護者
	青少年対象																	
	少年ふるさと教室	体験活動等を通して、リーダーとしての資質向上と育成を図る。				○										○	○	地区内小学生
	親子チャレンジ教室	家庭で子どものしつけや教育を行うために必要な考え方や育て方について、専門家や地域のボランティアによる指導を受け学習の場とする。 親子でいろいろなことチャレンジしながら、受講生同士の交流を通して、気軽に話し合える場を設け子育ての一助とする。体験活動等を通して、リーダーとしての資質向上と育成を図る。			○	○	○								○	○	地区内小学生とその保護者	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																	
	【再掲】◎地域学「みずほ」(Vスタッフ企画運営講座)	地域の歴史や文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。			○	○									○		地区内に居住する一般成人	

平成30年度 城山生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)			
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他							
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																		
	ヒトマチづくり講座	地域におけるまちづくりの課題を抽出し、解決の糸口となるようなきっかけづくりを行い、地域で活躍できる人材の育成を図る。また、実践的な活動を通して、地域まちづくり意識の高揚を図ることを目指す。	○		○										○		地区内住民	12/16 日曜日 全1回	29人 (-) ※60代
	地域学講座	地域に目を向け、豊かな自然や文化財などの地域資源を知ることによって地域の持つ魅力や課題に気づき、きっかけづくりを行い、郷土愛の醸成と次世代に継承するための住民意識の高揚を図る。			○									○		市内に住んでいるか通勤、通学している人(小学生含む)	7/31~8/3 平日、夏季休業中 全6回	209人 (145人) ※小学生 ※20代※30代 ※40代※50代 ※60代	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																		
	◎ともそだち広場	乳幼児の保護者と乳幼児が季節の行事やレクリエーションを通して、親子のふれあいや人との関わりを学ぶ。また、子を持つ親同士が地域、行政と連携して、ネットワークを構築し、地域との絆や人と人との繋がりを持てるように、親子の育ちを支援していく。		○		○								○		0~3歳までの乳幼児とその保護者	4/25~2/21 平日 全10回	421人 (217人) ※30代 ※40代	
	生き生きセミナー(Vスタッフ企画運営講座)	多様化する住民のニーズに合わせて、今、住民が必要とする情報や学習機会を提供することで、生涯学習のきっかけとなり、心豊かな生活の一助となるよう支援する。		○										○		地区内一般成人	8/22, 8/29 平日 全2回	26人 (-) ※60代 ※70代	
	青少年対象																		
	親子でにこにこクッキング	命の源である食に対する興味や健康への関心を高め、親子で調理することにより、親子の絆を深める。また、地場産の食材を活用し、地域への関心を喚起する。季節の野菜を食材とすることで、季節を感じる豊かな心を育む。			○									○		地区内の小学生と保護者	7/28, 12/8 土曜日 全2回	56人 (31人) ※30代 ※40代	・城山地区食生活改善推進員協議会
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																		
	【再掲】地域学講座	地域に目を向け、豊かな自然や文化財などの地域資源を知ることによって地域の持つ魅力や課題に気づき、きっかけづくりを行い、郷土愛の醸成と次世代に継承するための住民意識の高揚を図る。			○									○		市内に住んでいるか通勤、通学している人(小学生含む)	7/31~8/3 平日、長期休業中 全6回	209人 (145人) ※小学生 ※20代※30代 ※40代※50代 ※60代	

平成30年度 国本生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		内容	講座内容の種別								対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)		
	事業名			社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり					交流仲間	他
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																
	びびっと！レディース教室		女性としてより生き生き(vivid)と輝き、心身ともに美しく、人間力ある健康で豊かな生活を営める自分を再発見する機会を提供しながら、女性同士の交流の輪を広げ、さらに女性にできる地域のまちづくり活動にも繋げる。		○									地区内在住の一般成人女性	9/27, 10/25 平日 全2回	22人 (-) ※50代	
	生き生き健康教室		「心身の健康」をテーマに、それぞれの年齢に応じた生きがいのある元気で生き生きとした生活を営むために必要な知識と体力を身につけるとともに、交流を通じて地域の絆を深め合う。				○							地区内在住の一般成人	5/30～7/11 平日 全4回	67人 (-) ※70代以上	・国本地区健康づくり推進委員会
	★◎荒井退造に学ぶ		郷土の偉人の生き方や考え方を通じ、平和の尊さ、責任感等を学ぶことにより、人間力の向上を目指す。		○	○								一般成人	7/29 日曜日 全1回	62人 (-) ※70代以上	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																
	親子ワクワク教室		親子で様々な体験等を通して絆を深めるとともに、同世代の親や子どもと繋がりをもち、子育ての悩みや知識を共有することで、家庭や地域内での子どもに対する教育力の向上や互いの人間形成に役立てる。				○							地区内在住の未就園児とその保護者	6/5～12/6 平日 全6回	90人 (45人) ※30代	
	青少年対象																
	くにもとyou・遊・club		国際化社会の進展や2020年の東京オリンピック開催に向けた外国人との交流機会の増加が見込まれる中、将来を担う小学生に対して外国の言葉や生活習慣、文化に触れてもらうことにより、国際感覚や多文化共生意識を身に付けてもらうとともに、併せて人権意識の醸成を図る。		○	○								地区内在住の小学生	11/5, 11/14 平日 全2回	23人 (-)	・国本中央小学校放課後子ども教室
	夏休みチャレンジ教室		地域内の大学と連携を図り、小学生の夏休みの宿題に役立つ絵画や工作などをグループで学ぶことにより、他学年、他校の児童と交流し、仲間作りの場とする。		○									地区内在住の小学生	8/20, 8/21 夏季休業中 全2回	50人 (-)	・文星芸術大学

③地域理解																
地域理解の促進																
地域理解を促進する講座と学んだ成果を活用した活動につなげる仕組みの充実	◎10倍楽しむ国本塾	国本地区の貴重な資源である宝木用水をテーマに、小学生の研究発表や地区で作成した宝木用水の冊子を活用した講座など、幅広い世代やより多くの方々に地域の歴史に興味を持ってもらうきっかけを作る。									○		地区内在住の一般成人	2/9, 2/16 土曜日 全2回	42人 (-) ※70代以上	・国本地区づくり振興会
	★地域の歴史・文化再発見講座	地域の人材を講師とした地域ならではの歴史・文化資源についての講座を開催することで、地域の方々に改めて地域の良さを見直してもらい、郷土愛を醸成するとともに、地域の歴史・文化の伝承に向けた人材の育成を図る。									○		地区内在住の一般成人	5/12～5/26 土曜日 全3回	84人 (-) ※60代 ※70代以上	・国本地区づくり振興会

平成30年度 富屋生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)		
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他						
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																	
	高齢者教室	高齢者相互の親睦とふれあいを広め、様々な課題に取り組むことによって教養を高める。	○	○								○		○	地区在住者	4/3～9/7 平日 全4回	79人 (-) ※70代以上	・富屋地区老人クラブ連絡協議会
	健康づくりハイキング	健康な体づくりや各世代間の交流による地域コミュニティの形成										○		○	地区在住者	5/20 日曜日 全1回	45人 (17人) ※40代	
	◎とみや女性学	富屋地区の女性への教養、学習の場の提供を通し、地域のネットワークを広げるとともに、女性の力で地域力アップを図る。	○	○								○	○	○	地区在住の成人女性	6/13～11/21 平日 全6回	58人 (-) ※60代	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																	
	親子ふれあい教室「富屋ママたち広場」	乳幼児とその保護者を対象に、遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親同士のネットワークを促進し、家庭・地域における子育て環境の支援を図る。												○	地区の乳幼児の保護者、家庭教育に関心のある人	6/8～11/16 平日 全6回	57人 (-) ※30代	
	家庭教育学級	家庭における子供の教育のために必要な考え方や育て方についての知識や技術を学習する。		○											富屋地区在住者	6/16, 9/29 土曜日 全2回	50人 (26人) ※30代	・富屋小学校研修部 ・富屋地区まちづくり連絡協議会青少年健全育成部会
	青少年対象																	
	少年ふるさと教室	子どもたちの自主活動を促進させるとともに、お互いの親睦を図り、団体活動を通して責任と協力の大切さを体得させ、併せて伝統文化や自然に対する学習機会を提供し、健全育成に資する。												○	富屋小学校児童等	7/22～2/20 平日、夏季休業中、 日曜日 全9回	365人 (-)	
	考える力アップ講座 (Vスタッフ企画運営講座)	新しい面白さを発見できる実験やものづくりを通して、子どもたちが自ら考え、身の回りにあふれる科学に対する好奇心を高める。		○										○	富屋小学校児童等	9/27, 11/14 平日 全2回	35人 (-)	・Vスタッフ
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																	
	地域学講座～富屋の自然・歴史・文化財ガイド養成講座～	「住民主体のまちづくり」をさらに推進するため、地域住民が専門家の講義やグループワークを通して、自分の住む地域の特徴を理解し、地域の魅力や課題に気づくとともに、中長期的な地域のあるべき姿を考える契機とする。また、これらを後世に伝え、地域の魅力を発信し、解説できる人材を育成する。		○	○									○	地区在住者	6/7～7/12 平日、一部土曜日 全5回	102人 (-) ※60代	・富屋地区まちづくり連絡協議会文化活動部会(共催)

平成30年度 豊郷生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)			
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他							
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																		
	とよさと元気塾	情報化、国際化、少子・超高齢化など、高齢者を取り巻く生活環境は常に変化している。そのような中で、心豊かに過ごせるよう、仲間づくり、生きがいづくりを支援する。	○	○		○	○	○								地区内在住の成人	5/22～11/20 平日 全6回	407人 (-) ※70代以上	・保健福祉総務課 ・消費生活センター ・野村証券(株)宇都宮支店
	頭と体の健康講座	楽しく簡単な運動やクイズを行う講座を開催することにより、寒い時期に億劫になりがちな高齢者等の外出を促し、頭と体をリフレッシュして元気で生き生きとした生活が送れる機会を提供する。						○	○						地区内在住の成人	1/17 平日 全1回	40人 (-) ※70代以上		
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																		
	子育て広場	子育ての学習やレクリエーションを通して、親子のふれあいを深め、生き生きとした親子関係を育むとともに、保護者同士の情報交換の場を提供し、子育て中の親の仲間づくりを図る。														就学前の幼児とその保護者	5/10～12/13 平日 全6回	218人 (111人) ※30代	
	◎親育ち講座 (Vスタッフ企画運営講座)	家庭を取り巻く社会環境が変化するなか、子育てへの自信喪失や不安感を解消することにより、家庭における親の教育力の向上を図る。	○	○		○	○								1～3歳の子を持つ保護者	9/13～10/18 平日 全3回	56人 ※不明	・Vスタッフ	
	イクメン応援講座	父親の育児参加を促し、父母共に子育ての知識や技術を身につけるとともに、母親がリフレッシュし心身の安定を図れる機会を提供する。													1～3歳の子とその保護者	5/27, 6/17 日曜日 全2回	46人 (16人) ※30代		
	青少年対象																		
	わくわく体験教室	子どもの頃の体験や多くの仲間との出会いが、生きる力を育み人間力の向上を培うことから、学校や学年を越えた交流や、生活体験・社会体験を通して自ら考え行動できる青少年の育成を図る。													地区内小学校3～5年生	5/19～11/24 土曜日 全6回	337人 (-)	・関東電気保安協会 ・宇都宮ヤクルト販売(株) ・帝京大学宇都宮キャンパス ・環境衛生試験所 ・国際交流プラザ	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																		
	◎まほろば探検塾	地域の歴史や文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。		○	○				○						地区内在住の成人	6/13～11/14 平日 全5回	113人 (-) ※60代 ※70代以上	・帝京大学宇都宮キャンパス ・宇都宮美術館	

平成30年度 篠井生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)		
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他						
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																	
	輝き人生教室	余暇の有効活用,健康の維持促進,世代間交流を通して,健康で生きがいのある生活ができる力を身につける。	○	○		○					○		○	○	高齢者	6/15~1/29 平日 全11回	334人 (-) ※70代以上	篠井地区松寿会連合会 (共催)
	◎地域力アップ教室	地域をより一層成長させるために地域を確認し,地区内にある資源・文化伝統等を新発見し,今後の地域ビジョンへと向けていく。		○	○								○	○	一般成人	6/25~2/16 平日,一部土曜日 全6回	100人 (-) ※70代以上	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																	
	ワクワク子育て仲間づくり	親子の絆や愛情を深め,心身の健康を育むとともに,受講生同士の交流を促進し,仲間づくりや子育てに必要な情報を提供する。												○	市内在住の0歳児~未就学児とその保護者	5/23~10/26 平日 全6回	95人 (51人) ※30代	
	親と子のいろいろ学び舎	家庭において,子どもの教育を行うために,考え方や育て方について必要な知識や技術を身に付ける。親または親子で参加できる体験学習を通して,受講生同士の仲間づくりの場の提供をする。		○			○							○	小中学校の保護者と小学校児童	7/27~10/9 平日 全3回	47人 (33人) ※40代 ※50代	篠井小子どもの家アップルハウス
	青少年対象																	
	少年大空教室	ふるさつを見直し,自然に関する学習活動や生活向上に関する実践を通して,青少年の健全育成を図る。また,地域の連帯感や郷土愛の精神を育む。	○	○	○								○	○	小学校児童	8/1~1/5 長期休業中, 土曜日,日曜日 全6回	406人 (288人)	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																	
	ボランティア館外研修	ふるさつを見直し,自然に関する学習活動や生活向上に関する実践を通して,青少年の健全育成を図る。また,地域の連帯感や郷土愛の精神を育む。	○										○	○	地域住民	10/11 平日 全1回	21人 (-) ※70代以上	

平成30年度 姿川生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別								対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)			
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり					交流仲間	他	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																
	シニア倶楽部	知識の習得、趣味、レクリエーション等を通して、高齢者がその年齢にふさわしい社会的能力を高めるとともに受講生同士のコミュニケーションを図ることを目的とする。また、地域内の社会資源や人材を活用し、まちづくりの意識醸成を図るための事業展開を図り、それを通し、まちづくり活動のきっかけづくりの場を提供する。		○		○								地区内在住一般成人(60歳以上の方)	9/26～1/17 平日 全10回	262人 (-) ※60代 ※70代以上	・姿川地区健康づくり推進委員会 ・スポーツ推進委員
	男の料理教室	セカンドライフを送る男性を対象に日常的な料理講習を実施し、男女共同参画の意識の醸成と家庭生活での充実を図る。				○			○	○			地区内一般成人男性	7/4～10/3 平日 全3回	77人 (-) ※60代 ※70代以上	・姿川地区食生活改善推進協議会	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																
	親子ふれあい広場	親と子のスキンシップを通して、いきいきとした親子関係を育むとともに、参加者同士のコミュニケーションを深め、子育てネットワークの促進を図る。												乳幼児とその保護者	6/18～2/20 平日 全8回	242人 (121人) ※20代 ※30代	
	青少年対象																
	◎姿川ふるさと教室	郷土の伝承・文化自然に関する学習活動や生活向上に関する実践的活動を通し、ふるさとを見直し、地域連帯感や郷土愛の精神を深め、子どもたちの健全育成を図る。また、学んだことを地域へ情報発信する役目も担えるよう地域ジュニアリーダーとしての養成を図る。		○	○	○	○			○	○			地区内の小学4年生	7/7～9/29 長期休業中、土曜日 全5回	154人 (154人)	・姿川地区青少年育成会 ・姿川地区まちづくり協議会 ・青少年指導員 ・姿川環境保全会 ・スポーツ推進委員 ・姿川地区体育協会 ・グリーントラスト
★国際理解講座	親子で外国文化について学習することにより、外国住民と日本人住民の相互理解を促進するとともに家庭教育の充実につなげる。			○						○	○		地区内の小学1～3年生とその保護者	7/25,7/30 長期休業中 全2回	56人 (28人) ※20代 ※30代	・国際交流プラザ	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																
	姿川歴史教室	「遺跡や文化財マップ」を盛り込んだ「姿川さんぽ」を活用し、当地区市民センターで「歴史教室」を開催することにより、地域の文化活動をPRするとともに、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。平成30年度は、姿川地区北部の寺社をめぐる。			○	○								地区内一般成人	9/9 日曜日 全1回	27人 (-) ※70代以上	・姿川地区まちづくり協議会 ・姿川地区歴史と文化の会

平成30年度 雀宮生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)				
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他								
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																			
	さわやか倶楽部 (Vスタッフ企画運営講座)	豊かな経験を引き続き社会に活かしながら、新しい知識や趣味をもつ契機となるよう学習の場を提供し、健康で生きがいのある豊かな人生を送るための支援を行う。															雀宮地区内の60歳以上の方	5/29～11/6 平日 全6回	309人 (-) ※70代以上	・Vスタッフ
	ライブアップセミナー	もっと学びたい、もっと知りたい現役世代(20歳～50歳代)の住民を対象に、現代的な課題などを興味や関心を持ちながら学習できるような場を提供し、新たなライフスタイルを送るきっかけづくりや、さらには学習を通じた新たな学びを促す機会とする。															雀宮地区内の一般成人	2/8 平日 全1回	17人 (-) ※50代	
	雀宮の歴史を学ぶ	地域に愛着を持ち、地域の魅力や特色を発掘し、新たな発見などまちづくり推進に向けた取組のきっかけとするため、雀宮地区の歴史、伝統文化を学習する。また、実施においては地域行事と連携し、充実を図る。															雀宮地区内の一般成人	11/18 日曜日 全1回	48人 (-) ※60代 ※70代以上	・雀宮郷土史研究会
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																			
	ちゅんちゅん親子ふれあい広場 (親子ふれあい編)	親子のスキンシップを通して、よりよい子育ての知識と技能を身につけ、家庭教育支援の充実を図るほか、育児の喜びや悩みを共有できる仲間との交流を図る。															未就学児とその保護者	6/14～12/13 平日 全5回	135人 (67人) ※30代	
	★ちゅんちゅん親子ふれあい広場 (リフレッシュ編)	フィットネス等の活動を通して親子のスキンシップを楽しみながら、家庭の教育力向上を図るほか、リフレッシュを図りながら育児の喜びや悩みを共有できる仲間づくりを進める。															未就学児とその保護者	9/9～9/28 平日、日曜日 全3回	68人 (31人) ※30代	

重点項目	事業区分		内容	講座内容の種別									対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)		
	事業名			社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間					他	
	青少年対象																	
	青少年セミナー		自然に親しむ活動やものづくり活動を通して、なかまとの連帯感や責任感を養い、次世代を担うリーダーシップ精神を育む。		○										雀宮地区内の小学4～6年生	7/28～9/29 土曜日、 長期休業中 全3回	51人 (-)	・青少年指導員
	★ちゅんちゅん親子チャレンジ		親子で協力して取り組む体験の機会を提供することにより、親子の絆を深めるとともに、親同士、子ども同士の交流を通して、仲間づくりを進める。				○		○				○		雀宮地区内の小学1～3年生及びその保護者	8/5 日曜日 全1回	43人 (22人)	
	地域わくわく子ども塾		雀宮地区の特性を活かし、宇都宮工業高等学校や陸上自衛隊宇都宮駐屯地との連携によるものづくり体験学習を通して、科学・知識・技術への関心を高め、自主性、創造性を身につけるとともに、郷土愛の精神を深め地域づくりの礎を築く人材の育成を図る。			○							○		雀宮地区内の小学4～6年生	7/26, 10/10 長期休業中 全2回	35人 (-)	・宇都宮工業高等学校 ・陸上自衛隊宇都宮駐屯地
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																	
	★◎I LOVE雀宮講座		「NCC形成」や「雀宮地域ビジョン」の実現に向け、自分の住む地域の課題に気づき、学ぶ機会を提供することで、雀宮地区内の一般成人や雀宮地区で学ぶ高校生に、地域に対する理解や愛着を深め、まちづくりに対する意識の醸成を図る。		○	○							○		雀宮地区内の成人、高校生	2/6 平日 全2回	62人 (-) ※60代 ※70代以上	・雀宮地区まちづくり推進協議会

平成30年度 上河内生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)			
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他							
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																		
	異国の家庭料理で多文化理解	市内に在住している外国人の家庭料理をいっしょに作り、食することにより相手文化に触れ、理解しあう機会をつくる。	○	○												市内在住・通勤の成人	5/23～6/6 平日 全4回	71人 (-) ※60代	・国際交流プラザ
	古典に学ぶ (Vスタッフ企画運営講座)	日本の歴史上の人物を取り上げ、その業績や時代背景を詳しく学ぶことにより、現代の課題解決につながるヒントを探る。		○												市内在住・通勤の成人	10/2～10/16 平日 全3回	41人 (-) ※60代 ※70代以上	・宇都宮市講座企画・運営ボランティア(Vスタッフ)
	◎ライフアップセミナー in かみかわち	時宜を得たテーマや生活上の課題について学習することにより、知識・教養を身に付け、実生活に役立てる。		○	○	○		○								市内在住・通勤の成人	7/11～10/24 平日 全8回	423人 (-) ※60代 ※70代以上	・宇都宮市講座企画・運営ボランティア(Vスタッフ) ・ライフアップセミナー運営委員会
	ライフアップセミナー in かみかわちスペシャル	ライフアップセミナーinかみかわちの特別企画として、ライフアップセミナーの受講生以外にも門戸を開き、ともに楽しみながら社会の要請に対応したテーマを学習する。						○						○		市内在住・通勤の成人	10/31 平日 全1回	150人 (-) ※60代	・ライフアップセミナー運営委員会
パソコン講座	パソコンの活用範囲を広げ、ボランティア活動及び就業の道へつなげる。	○			○		○								市内在住・通勤の成人	4/20～10/28 平日 全12回	306人 (-) ※60代	・ふれあいパソコンボランティア	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																		
	◎子育て親育ち講座	家庭や親の役割、子どものかかわり方などについて学び、また子育て中の多くの親同士の交流をおし、子育て世代が安心して過ごせるようサポートする。														市内在住の満1歳以上就学前の乳幼児とその保護者	5/30～7/4 平日 全6回	223人 (109人) ※30代	・子育てサロンゆずのこ(4回目)
	青少年対象																		
	子どもチャレンジ教室	工作等によりものを作り上げることで達成感を得、新たな発見や工夫する楽しさを知る機会を提供する。														市内在住の小学生とその保護者	7/26, 8/2 長期休業中 全2回	64人 (-)	・本田技研工業(株)社会活動推進センター環境わごん ・東京ガス(株)広報課出張授業チーム

平成30年度 河内生涯学習センター事業実施報告書

事業名に★が付いているものは平成30年度新規事業

事業名に◎が付いているものは平成30年度重点事業

事業名がゴシックで表記されているものは地域かがやきプロジェクト事業

※1 行政 … 行政の取組

重点項目	事業区分		講座内容の種別										対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)			
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間	他							
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																		
	かがやくセミナー	受講生がお互いの連帯感を深め、学び合い励まし合って健康で生きがいのある人生を送れるようになることを目的とする。		○		○									○	市内在住・在勤の20歳以上の方	7/26～1/31 平日 全5回	276人 (-) ※60代 ※70代以上	
	◎美と健康きらめき講座	自身の健康・生活・言葉・マナーなどさまざまな分野で、女性が素敵に輝ける知識・教養を実体験を交えながら習得し、女子力アップのきっかけづくりとする。		○		○			○							市内在住・在勤の20歳以上の女性	6/21～9/20 平日 全3回	79人 (-) ※30代 ※40代	
	男の料理講座	健康を維持していくための家庭料理を習得し、料理の本だけではわからないコツや技術も楽しみながらしっかり学習し、仲間づくりのきっかけづくりを応援する。				○			○	○					○	市内在住・在勤の65歳以上の男性	11/6～2/19 平日 全4回	60人 (-) ※70代以上	・保健福祉G
	市民運営講座(前期) (Vスタッフ企画運営講座)	生涯学習課に登録しているVスタッフからの企画提案を活用し、活動の場を提供するとともに、様々な角度から生涯学習を推進する。		○												市内在住・在勤の20歳以上の方	6/14～8/21 平日 全3回	63人 (-) ※60代 ※70代以上	・Vスタッフ
市民運営講座(後期) (Vスタッフ企画運営講座)	生涯学習課に登録しているVスタッフからの企画提案を活用し、活動の場を提供するとともに、様々な角度から生涯学習を推進する。		○		○									○	市内在住・在勤の20歳以上の方	10/11～12/13 平日 全3回	73人 (-) ※60代 ※70代以上	・Vスタッフ	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																		
	◎ワクワク子育て講座	子育てに役立つ基礎知識を学ぶとともに健康で心豊かに育てる家庭環境づくりの場を提供する。※託児あり		○		○									○	市内在住・在勤の就学前の子どもをもつ親	8/7～2/5 平日 全4回	70人 (-) ※30代	
	子育て広場1	季節の行事や親子のスキンシップを通して子どもとふれあい、子育てについての情報交換の場を提供する。													○	市内在住の8ヵ月以上の乳幼児とその保護者	6/5～9/4 平日 全3回	178人 (91人) ※30代	
子育て広場2	季節の行事や親子のスキンシップを通して子どもとふれあい、子育てについての情報交換の場を提供する。													○	市内在住の8ヵ月以上の乳幼児とその保護者	12/20～2/14 平日 全3回	168人 (84人) ※30代		

重点項目	事業区分		講座内容の種別									対象	実施日	のべ参加者数 (子ども) ※主な世代	連携団体 (企業・学校を含む)			
	事業名	内容	社会的課題	文化・教養	地域理解	生活課題	行政※1	趣味	人権	人づくり	交流仲間					他		
	青少年対象																	
	オモシロ夏休み	子どもたちが仲間づくりの楽しさを学ぶとともに、学習意欲の向上を図る。			○					○	○		○		市内在住の小学4～6年生	8/2～8/9 長期休業中 全4回	60人 (58人)	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進																	
	いきいき河内発見講座	河内の自然や文化等を学ぶことによって、地域の良さを再発見しながら地域活動に関心を持つ「きっかけ」づくりとする。			○	○							○		市内在住の方、小学生以下は保護者同伴	6/9～11/4 土曜日、日曜日 全3回	81人 (-) ※60代	・河内地区まちづくり協議会

平成 31 年度生涯学習センター事業運営の考え方

1 社会情勢の変化と基本的な考え方

近年、超高齢化やグローバル化の進行、ICTの劇的な進化など、社会環境がめまぐるしく変化中、人々の価値観やニーズも一層多様化し、求められる能力も変化していくことが見込まれる。また、地域においては、人々の付き合いが疎遠になり、家庭・地域の教育力や地域コミュニティの衰退がますます進行していくことが懸念される。

また、本市においては、第6次宇都宮市総合計画の重点課題の1つとして「次代を築く人づくり」を設定したところであり、社会情勢の変化等を踏まえ、これからのまちづくりを進めるにあたっては、生涯にわたる学習活動の推進などにより、本市を支える様々な分野の人材を育成・確保していくことが求められるとしている。そのため、今後さらに、それぞれの個性や能力を最大限に発揮しながら社会に貢献できる「人間力の高い人づくり」を推進し、学校と家庭・地域、企業との連携強化による「家庭や地域の教育力向上」や、地域資源の一層の活用等による「地域コミュニティの活性化」に取り組んでいく必要がある。

こうしたことから、社会性の向上や様々な課題への気づきを促すなど、人間力を高める多様な学習機会の提供や、学びを通して多様な主体と人々をつなぐなど、学んだ成果を活動へつなげていくとともに、地域全体で学び合い育ち合う、地域ぐるみの子どもを育む教育活動に取り組み、第3次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念の実現を図っていく。

2 第3次宇都宮市地域教育推進計画について

生涯学習センターの事業運営については、第3次宇都宮市地域教育推進計画の基本理念を踏まえ、各基本目標の達成にむけた着実な地域教育の推進に取り組んでいく。

【第3次宇都宮市地域教育推進計画】

《基本理念》

「学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により一人ひとりが活躍する社会を実現する」

〈基本目標Ⅰ〉

「一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習活動に取り組んでいます」

多様な学習機会や学習情報の提供の充実を図るなど、学習を通して社会性の向上や、様々な課題への気づきを促し、必要とされる知識や技術を積極的に身につけていくことができる学習環境を整えることが重要である。

〈基本目標Ⅱ〉

「地域・学校・家庭が相互に連携・協力し、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組んでいます」

家庭教育への支援はもとより、学校を中心とした地域全体で子どもの成長を支える教育活動や、子どもも大人も学び育つ環境づくりに取り組むなど、家庭をはじめ、地域で活動する各主体が連帯感を創出し、地域コミュニティの活性化を図ることが重要である。

〈基本目標Ⅲ〉

「多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています」

学んだ人と多様な主体がつながるきっかけ作りや、他者の学習活動を支える人材の育成、郷土愛や地域理解を促進する取組など、学んだ成果を生かして社会参画する「学習と活動の循環」が重要である。

3 生涯学習センターの役割

- ・ 地域特性や住民ニーズなどを踏まえるとともに、個人の要望と社会の要請のバランスに配慮し、大学、企業などと積極的に連携した多様な事業を推進
- ・ 講座等の開催日時の工夫や託児の充実など、幅広い年代の参加を促進する環境を整備
- ・ 学習者が学んだ成果を活かし、意欲的に様々な活動へと取り組めるよう、地域活動団体と協働・共催での事業を実施
- ・ 地域住民や多様な団体が交流・活動する場として、施設の活用を促す事業の推進

【参考】社会教育法第20条（公民館の目的）

公民館は、市町村その他一定区域の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

※ 別紙資料…各種生涯学習講座が担う領域のイメージについて

4 生涯学習センター事業運営における重点項目について

生涯学習センターにおいては、第3次宇都宮市地域教育推進計画の理念の実現に向けて、下記項目を重点として取り組んでいく。なお、各重点項目については、指標を基に評価していく。

（1） 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進（⇒基本目標Ⅰ）

- ・ 各種メディアを効果的に活用するなど、市民の学習意欲を高める「学習情報発信の強化」
- ・ 「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座や身近な「生活課題の解決に資する講座」の開催
- ・ 激しく変化する社会環境の中で複雑化する「社会的課題に対応した講座」の開催

【指標1】生涯学習センターの利用者数（講座参加者数及び貸館利用者数）

⇒平成29年度実績 804, 486人（H28年度 740, 862人）

【指標2】生涯学習センターにおける講座の開催数

⇒平成29年度実績 138講座（H28年度 141講座）

（2） 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進（⇒基本目標Ⅱ）

- ・ 子育て世代の「保護者の気づき」や「親子双方の育ち」を支援する講座の開催
- ・ 子育て世代の親の「仲間づくり」や「ネットワークづくり」を促す参加交流型講座の開催
- ・ 魅力ある学校づくり地域協議会の活動の支援や、地域・企業等と連携した子育て世代や青少年を対象とした講座の開催

【指標3】子育て世代を対象とした参加交流型講座の参加者数

⇒平成29年度実績 7, 373人（大人3, 707人、子ども3, 666人）

（平成28年度実績 7, 660人（大人3, 864人、子ども3, 796人））

【指標4】学校、地域、企業等と連携した講座の参加者数（子育て世代対象、青少年対象）

⇒平成29年度実績 3, 604人（平成28年度実績 3, 410人）

（3） 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実（⇒基本目標Ⅲ）

- ・ 「地域学講座」など地域に対する理解や愛着を育む講座や、「地域活動団体やボランティア団体等と連携」した学習者が各種団体とつながることができる講座の開催
- ・ 学習者や活動したい人を「様々な活動へ結びつける学習相談」の推進
- ・ 幅広い年代の地域住民等が「交流・活動する場」として、施設の環境整備や役割の周知

【指標5】(再)生涯学習センターの利用者数（講座参加者数及び貸館利用者数）

⇒平成29年度実績 804, 486人（平成28年度 740, 862人）

【指標6】生涯学習センターにおける学習相談件数（来館、電話）

⇒平成29年度実績 312件（平成28年度 390件）

提 言 書

「社会の要請」と

求められる学習について

平成26年10月

宇都宮市社会教育委員の会議

提言にあたり

我々を取り巻く社会環境は、長期にわたる人口減少局面を迎えており、今後、高齢化率の増加や生産年齢人口割合の減少など、少子・超高齢社会への著しい変容が見込まれている。経済環境については、政府は日本経済の持続的な成長を確固たるものにすべく、平成26年6月に『日本再興戦略』改訂2014』を閣議決定し、企業の収益水準・生産性の向上や女性のさらなる活躍促進などに断固たる決意で取り組んでいるところである。このような中、新興国における産業基盤の蓄積に伴う国内産業の競争力の低下、非正規雇用比率の増加に伴うワーキングプアといわれる若者の増加、消費税率の引き上げに伴う個人消費の反落など、持続的経済成長社会の実現を期待しているにもかかわらず、不安的要素も払拭できない状況である。

宇都宮市においても、総人口は平成29年にピークを迎えた後、人口減少に転ずるものと予測されており、平成42年には、65歳以上の高齢者の割合が29%に達する見通しとなっている。行政では、このような人口減少時代の到来を見据えた上で「第5次宇都宮市総合計画」を策定し、「みんなが幸せに暮らせるまち」「みんなに選ばれるまち」「持続的に発展できるまち」の実現をまちづくりの目標として掲げ、魅力あふれる宇都宮の構築に向けて取り組んでいる。

我々は、宇都宮市の社会教育委員として、こうした社会・経済環境の変化を踏まえながら、一人ひとりが豊かな人生を送れる社会を構築するためには、社会教育・生涯学習の振興を通じた「人づくり」が緊要であると考えている。

社会教育・生涯学習の振興を通じた「人づくり」とは、「社会の多様性を尊重しつつ、幅広い知識や柔軟な思考力、課題を解決する力（自立した個人としての力）」とともに「社会性や公共性、豊かな人間性など、個々人が社会の中で他者と連携・協働しながら様々な課題や問題を乗り越えていく力（社会を構成し、運営する力）」の養成である。

これらの「人づくり」を、迅速かつ的確・着実に推進するためには、多くの市民が解決していかなければならない社会的課題や、それらを解決する上で必要な学習について、教育行政に携わる社会教育委員として、それぞれの立場から議論・検討し、方向性を導くことに、大きな意義があると考えている。

このようなことから、社会教育委員の総意として、本市において可及的速やかに取り組むべき学習課題、いわゆる『「社会の要請」と求められる学習について』ここに提言する。

〔提 言〕

1 「社会の要請」の高まり

近年の社会・経済環境の変化を背景として、特に以下に述べるような課題において早急な対応が必要である。

(1) 「超高齢社会」への対応

急激な高齢化の進展の影響は、医療や介護、年金等の社会保障制度の対応が大きな課題であるだけでなく、高齢世帯の増加や高齢者の一人暮らしによる社会的孤立、活躍場所の不足など、地域社会における身近な課題としてあらわれている。

(2) 「子育て・子育て環境の変容」への対応

少子化や核家族化、また高度情報化などの社会状況が、地域社会などにおける子どもの育ちをめぐる環境や、家庭における子育て環境を変化させている。また、これにより、子ども同士が遊びに集中し、互いに影響しあって活動する機会の減少など、人間関係の希薄化や体験活動の不足により、自立意欲や社会適応力に欠ける青少年の増加が懸念される。

(3) 「格差社会」や「勤労観の変容」への対応

家庭の社会経済的背景が、その後の就労をはじめとした「格差」や「貧困」などにもつながるとの指摘がされており、子どもの将来や老後の生活に不安や孤立を感じ、悩みを抱える家庭が増えている。また、雇用情勢の変化の影響が、若者の勤労意欲や社会の活力低下につながることで問題となっている。

(4) 「規範意識・社会性の低下」への対応

家族形態の変容や都市化、情報化の急速な進展、価値観やライフスタイルの多様化を背景として、近所づきあいなどの住民同士の交流に対する意識が希薄になっている。また、これにより、地域における歴史・文化の継承の途絶や、地域社会における規範意識の低下が問題となっている。

(5) 「地域コミュニティの変容」への対応

地域における人のつながりや連帯感、支え合いの意識の希薄化は、地域コミュニティにおける互助・共助機能の低下を招くだけでなく、若い世代の地域活動への参加率低下や多様化する地域の課題に関心を持たない、積極的に関わろうとしない大人の増加など、地域コミュニティの自治機能を衰退させる原因となっている。

2 必要とされる学習

これらの課題に対して、必要とされる学習は以下のとおりである。

※（ ）は関係する課題

(1) 子ども・青少年に関わる課題に対する学習

多様な体験活動

(「子育て・子育て環境の変容」, 「規範意識・社会性の低下」)

子ども・青少年においては、様々な学習を積み重ね、多くの人との出会いを通して、成人としての自己を築く時期であり、学校、家庭、地域が相互に連携・協力し、ボランティア活動や体験活動、世代間交流の促進など、子どもたちが社会に関わる多様な体験活動の機会を創出していくことが必要である。

こうした課題に対する学習において最も大切なことは、人間同士の直接の触れ合いである。実社会においては、生活体験・社会体験・自然体験などのあらゆる場面における直接体験こそが重要であるとともに、体験活動を通して「思いやり」や「礼儀正しさ」など、日本人が古来大切にしてきた規範意識や道徳心の醸成も図っていく必要がある。

職業観・勤労観の醸成

(「格差社会」や「勤労観の変容」)

青少年が職業に就き、社会経済的に自立することは、社会を生き抜く上での基盤であるとともに、社会にとっても持続的な発展を続ける上で欠かせないものである。雇用情勢が不安定となる中、行政においては、学校や企業など多様な機関と連携を図りながら、青少年の職業観・勤労観の育成や職業に関する知識・技術等の習得を支援することが必要である。

(2) 成人に関わる課題に対する学習

子育て支援、家庭教育支援

(「子育て・子育て環境の変容」, 「格差社会」や「勤労観の変容」)

格差の進行や貧困など、家庭を巡る状況の変化は、個々の家庭の頑張りや努力だけでは対応が難しい社会的問題となっており、こうした課題にあたっては、行政においては、教育分野と福祉・労働・保健等の各分野が連携・協力し、親子の育ちを一層支援していくことが必要である。

大人の道徳観の醸成

(「規範意識・社会性の低下」, 「地域コミュニティの変容」)

周囲の人や地域とのつながりを持たない大人が増加しており、大人自身の気づきや意識の変容が必要である。地域社会を構成する一員としての責任や役割を自覚し、子どもや他の大人の模範となれるよう、モラルやマナーなど規範意識を高めるとともに、道徳観の醸成を図る取組を一層推進していくことが必要である。

(3) 高齢者に関わる課題に対する学習

豊かな人生に向けた多様な学習の提供

(「超高齢社会」)

高齢者がリタイア後の人生を明るく安心して生活するためには、健康で生きがいのある生活と地域社会との関わりが必要である。こうしたことから、高齢者に対する学習については、生涯学習センターなどの地域の様々な関連施設が、コミュニティビジネスを含めた高齢者の生きがいの創出につながる講座や、近年大きな問題となっている高齢者を狙った特殊詐欺に関する講座など、多様な学習プログラムを企画・提供することが必要である。

高齢者の学習については、身体的事由や意欲の低下など、学習活動の参加が困難な場合もあることから、積極的な学習機会の提供や学習者の興味・関心を呼び起こすための啓発活動など、きめ細かい配慮や工夫が必要である。

(4) 地域住民に関わる課題に対する学習

地域コミュニティの強化

(「超高齢社会」、「規範意識・社会性の低下」、「地域コミュニティの変容」)

生活環境の整備や防犯・防災など、個人の力では解決できない様々な地域の課題に対応していくためには、日頃から地域の住民同士がつながりを持ち支え合い、助け合う「互助」・「共助」の関係のある地域コミュニティの構築が必要である。特に、超高齢社会の到来により、地域コミュニティの役割や期待は益々高まってきており、地域における様々な課題の解決を目的としてコミュニティが結びつき、多様性のある地域コミュニティの形成が必要である。

行き過ぎた個人主義の風潮や社会全体のつながりの希薄化等が問題となっている近年においては、郷土愛の醸成や地域学講座など、今一度住民が地域に目を向け、地域と向かい合うことができる取組を通して、地域コミュニティの強化を図ることが必要である。

3 おわりに

この提言は、冒頭でも述べたように、社会教育・生涯学習の振興を通じたこれからの人づくりを推進していく上で解決していかなければならない社会的課題や、必要な学習について議論・検討し、とりまとめたものである。

人づくりにおいては、教育委員会に限らず、市役所の他部局や関係機関などにおいても様々な取組が展開されており、それらの連携・協働は相当に進んでいるものの、急速な社会・経済環境の変化における社会的課題の解決に向けた、多様な主体との連携・協働は、必ずしも十分に進んでいるとは言い難い状況であると考えている。

今後、社会教育行政が、社会教育・生涯学習の役割を各地域において目に見える形で示していくためには、地域住民の絆の構築、地域コミュニティの形成、地域課題の解決といった地域の総合的な課題に対応できるよう、地域の多様な主体との連携・協働によるネットワークの構築を一層推進していくことが必要であり、行政においては、本提言を踏まえ関係部局が連携し、効果的な取組が推進されることを期待し、提言するものである。

宇都宮市社会教育委員

上野 修一, 吉田 治, 宇賀神 貴, 勝田 健一, 刀川 啓一,
伊藤 三千代, 今井 政範, 小池 操子, 福田 治久, 廣瀬 隆人,
榎 澁江, 河田 隆, 坂本 宏夫, 佐々木 一隆, 荻野 久一,
山尾 貴則, 橋本 裕文, 高橋 美幸, 清島 康伸, 小平 美智雄

(順不同)

○ 生涯学習センター（平成31年度基本方針・重点事業・事業計画）

（1）中央生涯学習センター



所在地 宇都宮市中央1丁目1番13号

電話番号 028-632-6331

ファクス 028-639-7579

開設 昭和44年 4月 1日

対象区域 市域全体及び

中央・東・西・築瀬・西原・
昭和・錦・宮の原小学校の
各通学区域

ア 平成31年度 中央生涯学習センター基本方針

市中心部における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。

- （ア） 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、これからの社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。
- （イ） 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会で支える人とのつながりを深め、家庭・地域の教育力の向上を図る。
- （ウ） ボランティアスタッフの活用など、学習成果や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。
- （エ） 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。

イ 平成31年度 中央生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
	金曜まなび塾	行政等が実施する活動や内容についての学習に加え、話題になっている事柄や、社会情勢の変化に対応した情報などを幅広い分野で提供することにより、生涯学習の推進を図る。	市内在住・在勤の一般成人	7月～12月	10回	
	★「金曜まなび塾 公開講座」	多様化する市民の価値観やニーズに対応した講座として人気の高い「金曜まなび塾」について、普段は講座やセンターを利用する機会がない人たちのための参加枠として開催し、講座の魅力の周知を行うことで、受講者の増大や中央生涯学習センターの利用促進につなげる。	市内在住・在勤の一般成人	7月	1回	
	修道館アカデミー (Vスタッフ企画運営講座)	市民目線から現代の社会情勢を的確に捉え、必要とされる生涯学習講座の企画立案から広報、実施までの講座運営を担う機会と場を提供し、生涯学習を推進する。	市内在住・在勤の一般成人	6月	4回	
	いきいきシニアアップ講座	超高齢化社会に対応するため、健康寿命の延伸や心豊かに安全で安心して年齢を重ねていけるよう、学習機会を提供する。	市内在住の65歳以上の一般成人	1月～2月	5回	
学習情報の発信						
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域活動団体などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
	◎子育て広場	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深めるとともに、仲間づくりや情報交換の場として親子同士の交流を育む。また、子育て相談の機会を提供する。	乳幼児(0～6歳)とその保護者	5月～2月	10回	
	青少年対象					
	親子のワクワク体験教室	親子が子どもと一緒に体験や活動することを通して、子どもの成長を感じ、理解を深めるとともに、他の親子との交流を図りながら、仲間づくりや情報交換の機会を提供する。	市内在住の小学生とその保護者	7月～8月	5回	
	子ども映画鑑賞会	大きなスクリーンによる優れた映画作品の鑑賞をおとして、子どもたちの豊かな情操と高い映像理解能力を育むとともに、映画という偉大な文化芸術遺産の素晴らしさ、楽しさを知ってもらう。	市内在住の幼児・小学生とその保護者	未定	1回	
地域と学校が連携した教育活動の充実						
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
	地域応援講座	地域の実情に沿った講座を地域コミュニティセンターで開催することで、地域住民が地域活動に関心を持つきっかけづくりとする。	所管する8地域内の一般成人	未定	16回	
	西地域歴史講座【CKP】	地域内に魅力的な資源が多くあることから、地域資源を掘り起こすため、地域の歴史について学びながら、西地域の良さを知る。	西地域在住の成人	未定	4回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
	中央生涯学習センター文化祭	中央生涯学習センターを利用する文化団体の相互交流を図り、日ごろの学習成果を発表することにより、参加者のみでなく一般市民へ広く周知するとともに、生涯学習を推進する機会とする。また、担当の地域コミュニティセンターで活動する団体へも参加を促し、交流を図る。	中央生涯学習センター利用団体、地域コミュニティセンター利用団体及び一般市民	10月	1回	
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	

(2) 東生涯学習センター



所在地 宇都宮市中今泉3丁目5番1号

電話番号 028-638-5782

ファクス 028-638-1171

開設 昭和53年 4月 1日

移転 平成22年 4月 1日

対象区域 今泉・峰・泉が丘・石井・御幸・
城東・陽東・御幸が原小学校の各
通学区域

ア 平成31年度 東生涯学習センター基本方針

東部地区における生涯学習の拠点として地域住民の学習活動を支援するとともに、社会教育やまちづくりなどを通して、地域に学習成果を還元する。

(ア) 複雑かつ多様化する社会環境や市民ニーズに対応するため、地域住民が生活課題の解決や学ぶ楽しさを実感できるような魅力ある事業を展開する。

(イ) 子育て世代を支援するため、学校や地域と連携しながら、親同士の交流機会の充実や、仲間づくりのネットワークが構築できるような事業を推進する。

(ウ) 市民の学んだ成果を活動につなげるため、地域の各種団体やボランティア団体等と積極的に連携しながら、市民が地域で活動する機会や場の提供を行い、地域力の向上を目指す事業を推進する。

イ 平成31年度 東生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要					
	事業区分	事業名	内容	対象	時期	回数
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
		ふれあい塾 (Vスタッフ企画運営講座)	Vスタッフ「東泉会」企画・運営講座 様々な課題について講義や体験を提供する。また、受講生同士の話し合いの場を設け「聞く、見る学習の場」から「聴く、考える、話し合う学習の場」を推進する。	市内在住・在勤の20歳以上の方	5月～12月	8回
		東雲塾	65歳以上の高齢者の生きがいづくりを目的とし、健康で充実した生活を送れるよう、幅広い分野の知識を身につける機会を提供する。	市内在住・在勤の65歳以上の方	6月～12月	5回
		★仕事を好きになる働き方講座	働き方が多様化する昨今、実際に地域で働く方々から話を聞く機会を提供するとともに、ワークショップを通じて、参加者のキャリアデザイン形成の一助とする。	市内在住・在学・在勤の高校生以上の方	1月～2月	3回
		★忙しいアナタのための時間管理術	多忙な若い勤労世代に、生きがいづくりや目標達成のためのワークライフバランス等についての学習機会を提供し、参加者の自己実現の一助とする。	市内在住・在学・在勤の18歳以上の方	11月	2回
	学習情報の発信					
		情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、収集した生涯学習関連情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
		親子でDoing	ものづくりやダンス等の体験を通して親子の絆を深める。また、講師に地域の人材を活用して地域力の向上も図る。	小学3、4年生とその保護者	6月～8月	3回
		すくすく子育て講座	季節の行事や体操・音楽鑑賞などを通して親子のスキンシップを深め、良好な親子関係を育むとともに、毎回、交流タイムを設け、親同士の交流も図る。また、前期・後期各1回、託児付きの親向け子育て講座を開催する。	就学前の乳幼児と保護者	5月～2月	10回
	青少年対象					
		◎子ども国際理解サマースクール	市国際交流協会及び宇都宮大学との連携事業。 世界各国の伝統文化や遊び等の学習を通して、子どもたちが「国際理解・協力」の意識を養う一助とする。	小学4～6年生	8月	3回
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
		魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動を支援する。	地域団体	通年	随時
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
		宇都宮の歴史をたどる【CKP】陽東地区	住民主体のまちづくりを推進するため、地域学講座を開催し、郷土愛の醸成を図り、地域の課題解決について考えるきっかけとする。また、まちづくりに資する人材を育成する。	市内在住・在勤の20歳以上の方	9月	2回
		成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日
		学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実				
		東生涯学習センター文化祭	東生涯学習センター及び地域コミュニティセンター登録団体に学習成果発表の場を提供することにより、親睦を図り、仲間づくりを進め、さらに質の高い生涯学習活動を推進する。	東生涯学習センター登録団体及び一般(地域住民)	10月	1回
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	

(3) 西生涯学習センター



所在地 宇都宮市西一の沢町 17 番 32 号

電話番号 028-648-7480

ファクス 028-648-8241

開設 昭和 59 年 4 月 1 日

対象区域 富士見・桜小学校の各通学区域
及び明保小学校通学区域のうち
鶴田町の区域

ア 平成 31 年度 西生涯学習センター基本方針

「平成 31 年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、生涯学習及び市民活動の拠点として、多様な学習機会の提供やまちづくり活動を支援するとともに、ボランティアなど地域で活動する団体と連携も図りながら、学んだ成果を地域に還元できる機会の提供に努める。

(ア) 激しく変化する社会環境の中においても、市民が「学ぶ楽しさ」を感じられる趣味・教養的講座や、「仲間づくり」につながる講座、「生活課題の解決」に資する講座を実施する。

(イ) 地域と家庭の教育力の向上のため、地域の人々と子育て世代の親やその子どもたちが交流する機会、次世代を担う青少年と子育て世代の親子が交流する機会、また子育て世代の親同士が交流する機会を充実させた「親子双方の育ち」を支援するための講座を実施する。

(ウ) 地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進を図るため、館外学習の機会などを通して、地域の魅力を再認識し愛着を育む講座を実施する。また、地域と連携し、地域理解を促進する講座を実施する。

イ 平成31年度 西生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
	シニア快活！元気講座 (Vスタッフ企画運営講座)	体を動かしたり、脳を活性化していくさまざまな参加体験型学習をとおり、体と心をリフレッシュしていくとともに、受講者同士の交流・仲間づくりをとおり、シニア世代がいつまでも元気で快活にすごすことに繋げる。	50歳以上の成人	6月～12月 (月1回)	6回	
	西楽アカデミー	現代の生活に必要な知識の向上に関する学習を行うとともに、運動を伴ったレクリエーションや創作活動、館外学習を通して楽しく学び受講者同士の交流を深め、学習機会の充実を図る。	一般成人	6月～12月 (月1回)	8回	
	★◎宇都宮再発見！ (たまには理系講座)	自然環境や地質学をとりあげ、宇都宮市の自然環境の変化や県内の絶滅危惧種について学び、環境保全につながる意識醸成を図る。また生体多様性について理解を深める。	一般成人	6月～9月 (月1回)	4回	
	ふれあい映画会	心に残る傑作映画や、現代につながる社会の課題を扱った映画を視聴することにより、豊かな感性や社会性を醸成していくとともに、これまで生涯学習センターを利用したことが無い様な市民など、より多くの地域住民に生涯学習への	桜・富士見・明保地域内の方	8月予定	1回	
	学習情報の発信					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、収集した生涯学習関連情報を市民に提供していく。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
	すくすく子育て講座	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深め、仲間づくりや子育ての情報交換の場となるよう子育てを支援する。	1歳～3歳の乳幼児とその保護者	6月～12月 (月1回)	6回	
	親子トライ&ゴー	工作や館外学習など様々なアクティビティを通し親子の絆を深めながら、生活に役立つ知識や子どもの心を育む技術を学習・習得することにより家庭の総合的な教育力の向上を図る	小学校1年生～3年生とその保護者(市内在住・通学)	6月～12月 (月1回)	5回	
	青少年対象					
	わくわくサマースクール	夏休みを利用して普段なかなかできない様々な体験学習をし、好奇心や創造力・思考力を培う。また館外学習を行い社会性を育てるとともに他校の仲間との交流を深める。	市内小学校4～6年生	7月～8月	5回	
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
	地域コミュニティの促進【CKP】	地域のニーズに沿った課題の解決と地域住民のコミュニティの関りの強化。	富士見地域住民	2月	1回	
	持続可能なコミュニティ【CKP】	明保地域まちづくり活動での課題解決手法の研究	明保地域住民	2月	1回	
	わがまち桜から見る宇都宮の歴史【CKP】	宇都宮の歴史のなかで、自分たちの住むまちがどのような役割を果たし、どのように変容してきたかを知ることにより、地域への理解を一層深め、愛着心を高めることで、まちづくりのさらなる推進を図る。	桜地域住民	2月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
	西生涯学習センター文化祭	西生涯学習センター利用者などの各種団体や地域・学校・企業が一体となって事業を展開することにより、特色ある地域文化の向上ならびに生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	西生涯学習センター利用者及び一般市民	11月	1回	
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時		

(4) 南生涯学習センター



所在地 宇都宮市江曾島 2 丁目 4 番 23 号

電話番号 028-645-0006

ファクス 028-659-9953

開 設 昭和 4 6 年 4 月 1 日

対象区域 陽南・陽光・緑が丘小学校の各通
学区域五代・新田・姿川第一小学
校の各通学区域の一部

ア 平成 3 1 年度 南生涯学習センター基本方針

「平成 3 1 年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、地域住民の生涯学習ニーズや全市的な課題に応じた学習支援をするとともに、地域の学習情報拠点としての充実を図る。

- (ア) 住民主体のまちづくりが円滑に進むための支援事業に取り組む。
- (イ) 増加する高齢者の生きがい創出につながる講座や、子育て世代の不安を解消し、親子双方の成長を促す講座、豊かで実りある生活設計のための講座など、多様な学習の提供を図る。
- (ウ) 地域でのボランティア活動や、地域のまちづくり活動を支援し、学習の成果や経験を活かせる機会と場の提供などに努める。

イ 平成31年度 南生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業、◎:平成31年度重点事業、ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座、【CKP】:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要					
	事業区分	事業名	内容	対象	時期	回数
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
		男の料理講座	成人男性に料理の学習機会を提供し、食生活に興味関心をもってもらうとともに、料理を作る楽しさを知り、参加者どうしの交流をはかる。	市内在住、通勤の成人男性	5月～12月	5回
		◎シニアセミナー南悠塾	シニア世代の受講者が、交流を図りながら教養を深め、毎日を充実したものにする事ができるような学習を行う。	市内在住、通勤の60歳以上の方	10月～2月	6回
		★仲間と学ぶ防災備蓄収納講座	災害が頻発する昨今、防災を自分事として捉え、受講生同士の交流を図りながら、実際に活かせるプロ直伝のスキルを学習する。	市内在住、通勤の成人	10月、11月	2回
		情報収集・提供				
		情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
		すくすく子育て応援講座(前期)	親子とともに、遊びや運動をすることで親子のふれあいを深めるとともに、孤立しがちな子育て世代の仲間づくりのきっかけとする。	首がすわり～1歳前後の子どもとその保護者	5月～6月	3回
		すくすく子育て応援講座(後期)	親子とともに、遊びや運動をすることで親子のふれあいを深めるとともに、孤立しがちな子育て世代の仲間づくりのきっかけとする。	2～3歳の子どもとその保護者	10月～12月	3回
		◎ママのアンガーマネジメント入門講座(対象:未就学児ママ)	子育て中の母親が感じているイライラを上手に解消する方法を学び、よりよい親子関係を構築するきっかけづくりを目指す	市内在住の未就学児の保護者	5月	2回
	青少年対象					
		親子で楽しむ体験講座	実体験の機会が少なくなっている子ども達に、親子で料理や工作等をする機会を通して、親子の交流を図る。	小学校3～6年生の児童とその保護者	11月～12月	2回
		基礎から学ぶ作文の書き方講座	作文の書き方を親子で学び、「考え」を文章にまとめる力を養うことで親子のコミュニケーションを円滑にし、日々の暮らしを見直すきっかけとする。	小学校4～6年生の児童とその保護者	10月	1回
		プログラミング入門講座(小学校低学年向け)	2020年度より小学校で必修科目となるプログラミングの基礎を学び、創造力・問題解決能力・論理的思考力を身に付ける一助とする。	市内在住の小学1～3年生	12月	2回
		プログラミング入門講座(小学校高学年向け)	2020年度より小学校で必修科目となるプログラミングの基礎を学び、創造力・問題解決能力・論理的思考力を身に付ける一助とする。	市内在住の小学4～6年生	12月	2回
		地域と学校が連携した教育活動の充実				
		魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
		成人式	新成人が地域住民とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
		南生涯学習センター文化祭	地域住民やセンター利用者が一致協力して、関連事業を展開することにより、特色ある地域文化の発展並びに生涯学習の理解と推進、地域住民の連帯意識の向上を図る。	南生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	

(5) 北生涯学習センター



所在地 宇都宮市若草3丁目12番25号

電話番号 028-621-7745

ファクス 028-622-7093

開設 昭和57年 4月 1日

対象区域 戸祭・細谷・宝木・西が岡・
上戸祭小学校の各通学区

ア 平成31年度 北生涯学習センター基本方針

地域に居住する一人ひとりが生きがいを高められ、充実した日々を過ごすことができるよう継続的に学んでいくための機会の提供や、今後とも地域の活力が持続されるよう子育て、環境、まちづくりに関わる人材育成など地域が持つ課題に対応した事業の実施を図る。

- (ア) 現代社会に適応できる知識の習得と社会への参画や人との交流を促していく講座を開催するとともに、感受性や受容性など情緒を養うといった人間力を高められる講座を実施する。
- (イ) 人づくりの基本となる愛しみや思いやりなどを夫婦がともに高められる講座の実施や、子どもたちがコミュニケーション力や知的探究心、創造性などにより、問題解決を図っていけることを学ぶ体験活動等を行う。
- (ウ) 地域を構成する自然、歴史、まち並みなどの成り立ちを学習する講座を行い、地域への愛着を深めるとともに、住みやすい、より良い地域としていくための発展的課題を気づかせる講座を行う。

イ 平成31年度 北生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, **【CKP】**:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要						
	事業区分	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象						
		北洲塾	生きがいづくりを目的に幅広い分野の知識を身につけ、地域社会への参加の輪を広げる。	60歳以上の方	5月～11月	8回	
		聴いて読む名作	プロのアナウンサーに朗読してもらうことで文学作品をより深く味わう機会を創出する。	一般成人	9月	1回	
		和文化入門講座	国際化の流れの中で自国の文化を知り、和の心をもったコミュニケーション能力を養うとともに、楽しく日本文化の粋に触れる。	一般成人	11月・12月	5回	
		学習情報の発信					
		情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、そうした情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象						
		◎新・家族応援講座Ⅰ・Ⅱ	未就学児を持つ親への子育て支援を行う。幼児期に育てたいことや親としての心得等について、専門的知識を有する講師の指導を受けながら学ぶ。また、アンガーマネジメントとアサーションを学び実践することで保護者の自己肯定感を育み精神的なゆとりをもって家庭教育に取り組めるようにする。	Ⅰ. 未就学児を持つ保護者 Ⅱ. 小学生以下の子供を持つ保護者	8月～2月	5回	
		親子でチャレンジ	親子が一緒に様々な体験活動(伝統工芸品作り、ランチ作り)を行い、互いを認め尊重し合いながら親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を図り、社会性の拡大を図る。また、「ランチ作り」では、世界の国々の食に視点を当て、食文化を通じた国際理解機会とする。	5歳～小学3年生とその保護者	7月・8月	3回	
		親子自然探検隊	地域の未来を担う世代(子育て世代とその子ども)が、地域の里山保全グループと交流しながら自然に親しむことを通して、生物多様性の大切さを知り、自然を守ることの意義を知る機会とする。	小学生以下の子どもとその保護者	4月・6月・9月・11月・1月	5回	
		青少年対象					
		青少年リーダー養成講座	地域外の産業・歴史を学ぶことにより自分たちの生活や地域を見つめなおす機会とするとともに、異学年の児童がともに学ぶことを通して、社会性を育み次世代を担うリーダーとしての資質を養う。	宝木地区の青少年(小学5・6年生)	8月	1回	
		子ども映画鑑賞と昔あそび体験講座	映像からの学びとともに、ボランティアによる昔遊び体験を通じ、普段体験する機会の少ない遊びへの挑戦や子ども同士、ボランティア等とのふれあいを深める。	小学生までの子ども	7月・8月	2回	
		地域と学校が連携した教育活動の充実					
			魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
	③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
		◎地域を学ぶ	地域を構成する自然や歴史、人々の営み、企業活動等を題材に学ぶことを通して、地域活動に関わる意欲を高めていく。	一般成人	11月	2回	
		戸祭地区地域学講座【CKP】	戸祭地区地域ビジョンの策定に向けた意識の醸成を図るため、フィールドワーク等を通して地域理解の促進やビジョン策定等の地域まちづくり活動に資する人材を育成する。	戸祭地域に住む小学生以下の子どもとその保護者	7月	2回	
		成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	
		学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
			北生涯学習センター文化祭	北生涯学習センターを拠点に活動している団体等の学習成果の発表の場を提供する。	北生涯学習センター利用団体及び一般市民	9月	1回
		学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者が取り組む活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	

(6) 平石生涯学習センター



所在地 宇都宮市下平出町 158 番地 1

電話番号 028-660-1964

ファクス 028-689-2814

開 設 昭和 25 年 1 月 26 日

施設複合化 平成 14 年 6 月 24 日

対象区域 平石中央・平石北小学校
の各通学区域

ア 平成 31 年度 平石生涯学習センター基本方針

平石地区においては、地域の各種団体や小中学校等と共催した事業をおこなっているが、全般的に活動従事者の固定化、高齢化が顕著であり、新たな人材の発掘・育成が急務となっている。こうしたことから、子どもから高齢者に至るまで幅広い世代を対象に、地域の魅力や地域の課題、さらには現代的課題への関心の喚起を促し、地域活動への参加や地域リーダーとしての育成に結びつくような事業の充実を図る。特に女性を対象とした事業については、開催回数を増やすなど内容をより充実させ、学んだ成果が地域活動に結びつくきっかけになるように展開していく。

さらに、当地区は、保健福祉の拠点地区としての利点を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループとが連携の下、石井・陽東地区との融合を図った事業を展開していく。

イ 平成31年度 平石生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, **【CKP】**:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要					
	事業区分	事業名	内容	対象	時期	回数
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
		大人の教養講座	平石地区の歴史や伝統文化を学び、郷土をより深く探求するとともに、受講生同士の交流をとおして、仲間づくりのきっかけに繋げる。	地域内に居住する成人等	10月	3回
		高齢者友遊教室	高齢者にふさわしい講話、趣味や教養を身につけるための学習、異世代間交流などの機会を創出する。	地区内の高齢者	5月～2月	10回
		高齢者指導者研修	他地域の生活文化に触れ、他地域指導者と情報交換を行うことにより、地域リーダーとしての教養・見聞を深め、まちづくり活動の活性化を図る。	地区内の高齢者	6月	1回
		女性指導者研修	他地域の生活文化に触れ、他地域指導者と情報交換を行うことにより、地域リーダーとしての教養・見聞を深め、まちづくり活動の活性化を図る。	地区内の女性	6月～8月	2回
	学習情報の発信					
		情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
		親子ふれあい講座	連続した講座を開催することにより、母親相互の交流を図るとともに、親子が一緒に「遊び」や「リズム体操」を行う中で、必要な親子の関わり方を学ぶとともに、子育てのポイントを学ぶことで更なる知識の向上を図る。	地区内の2～3歳の幼児とその保護者	10月	3回
		◎親子の広場「はぐはぐ」	主に乳幼児を持つ親が気軽に集える「場」を設け、親同士の交流や、サポーターが話し相手になることにより、親に精神的な安心感をもたらす、問題解決の糸口となる機会を提供し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	地区内の主に乳幼児(0～3歳)とその保護者	4月～3月	40回
		家庭教育セミナー	成長著しい小学生の子を持つ親を対象として、子どもの「生きる力」を育むための知識や技術を身につける。	地区の親又は家庭教育に関心を持つ人及び児童、生徒	6月～11月	3回
		青少年対象				
			少年ふるさと教室	様々な体験活動を通して、仲間との関わりを深めながら、少年の生きる力を育むとともに、地域資源の発見や異世代との交流を通して、リーダーとしての資質向上を図る。	地域内小学生	8月～1月
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
		魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
		成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げるにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日
		学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実				
		平石地区文化祭	小学生の作品展示、及び平石生涯学習センター利用団体による学習成果の発表。また、参加することにより、地域住民との連帯意識高揚を図る。	平石生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	

(7) 清原生涯学習センター



所在地	宇都宮市清原工業団地 15 番地 4
電話番号	028-667-5696
ファクス	028-667-9062
開設	昭和 26 年 8 月 1 日
施設複合化	平成 3 年 4 月 1 日
対象区域	清原中央小・清原南小・清原北小・ 清原東小学校の各通学区域

ア 平成 31 年度 清原生涯学習センター基本方針

少子高齢化や核家族化の進行など社会環境の変化に伴い、住民のコミュニティ意識の希薄化、地域まちづくりへの理解・担い手の低迷など、まちづくり・人づくりに係る課題について、地域自らが主体的に解決を図れるよう、清原地区における以下のような特性を踏まえ、的確な学習機会の提供を図ることとする。

- 「ゆいの杜地域」の開発が進み、若年層（子育て世代）を中心に人口が急増している中、子育て世帯の不安解消や地域との絆づくりなどをおし、地域のコミュニティ形成の促進、家庭や地域の教育力の向上を図るために必要な事業を展開する。

- また、既存団地などにおいては住民の高齢化も進んでおり、さらには間近に迫った L R T 導入を見据えた地域内交通の充実など、新たなまちづくりに取り組んでいく必要がある。こうした地域の変化に伴う課題に適切に対応するために、地域の特性や各世代における住民の学習ニーズを的確に把握し、地域団体や地元大学、企業等との連携など地区内の社会資源を活用して、地域課題の解決、人材育成に資する事業の充実を図ることとする。

イ 平成31年度 清原生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
	青少年指導者・育成者研修会	地域で青少年の育成に携わっている住民を対象に、地域ぐるみで子どもを育てる意識を醸成し、指導者の資質を向上させるとともに、地域を構成する各団体とのより一層の連携・協力を図り、地域づくりを推進する。	地域内青少年育成関係者	2月	1回	
	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
	◎ふれあい子育て広場	家庭教育力向上を図るため、子育てについての知識を身につけ、生き生きとした親子関係を育むとともに、親と子のふれあいを通して、親子の絆や同世代の保護者同士の交流を深め、コミュニティ形成を促す。	0歳～未就学児とその保護者	6月, 9月, 10月, 11月, 12月	8回	
	青少年対象					
	チャレンジ遊び塾	子どもを対象に日常生活では体験できない「遊び」や学びを通じて、自然のすばらしさ、学ぶ楽しさを経験してもらうことで、豊かなチャレンジ精神を育む。	地域内小学生とその保護者	5月, 7月, 8月, 2月	5回	
	地域体験キャンプ	青少年育成協議会、地域学校園協議会、センター共催による実行委員会を組織し、地区内の青少年育成に関わる指導者の横断的な連携により事業を実施する。 参加者は、キャンプを体験することで、年齢・学区を越えた仲間との出会い、地域の大人との出会い、地域にある資源への気づきなどを通じて、我がまち「清原」を体感し、「郷土愛」、「仲間の大切さ」や「出来る自分」を認識することで、子どもたちのチャレンジ精神や郷土に対する誇りと愛着を育む。	地域内小学4～6年生	8月	1回	
	企業体験教室	子どもを対象に清原工業団地の企業と連携した工場見学会等を実施し、「日本のものづくり」の偉大さを感じてもらうとともに、日本を代表する企業が地域にあることの“誇り”を持ってもらうことで地域の将来を担う子どもの地域愛を育て、地域づくりの推進につなげる。	地域内小学生	7月	2回	
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに対し感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1回	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
	清原地区文化祭	清原生涯学習センターの利用団体が、日ごろの成果を発表することにより、文化活動の向上と生涯学習を推進する機会とする。	清原生涯学習センター利用団体	10月	1回	
	学習相談	相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどに取り組みながら、相談者のニーズに応じた学習活動を実施する。	全市民	通年	随時	

(8) 横川生涯学習センター



所在地	宇都宮市屋板町 576 番地 1
電話番号	028-656-6452
ファクス	028-656-7702
開設	昭和 29 年 9 月 25 日
施設複合化	平成 18 年 3 月 20 日
対象区域	横川中央・横川東・横川西小学校の各通学区域と瑞穂台小学校通学区域のうち、さるやま町及び下栗町の区域

ア 平成 31 年度 横川生涯学習センター基本方針

地区の中心部が農村地域，周辺部（東部・西部）が住宅地域となっている横川地区は，市中心部にも比較的近いことから，近年は人口及び世帯数の増加が見られ，特に若年層の割合が本市平均と比べると高くなっていることから，連帯感の醸成などが身近な課題となっている。

このような状況を踏まえ，平成 31 年度においては，以下の考え方に基づき，事業を展開していく。

- (ア) 地域ビジョンの実践を見据えた地域学を通して，地域に係る様々な課題等を地域住民が連帯して解決する機運を醸成する。
- (イ) 若年層が増加している状況を踏まえ，若年層で関心の高いテーマを選定した講座を開催し，生涯学習への意欲の醸成を図る。
- (ウ) 心身ともにたくましい子ども育むとともに，親が子育ての知識や技術を身につけるための講座を実施することにより，地域や家庭の教育力の向上を図る。
- (エ) 地域の高齢者向けの講座を開催し，健康で生きがいのある豊かな生活を送ることができるよう支援する。
- (オ) 生涯学習講座の企画，運営等を通して，まちづくり活動を担う人材を発掘し，その育成や活用に努める。

イ 平成31年度 横川生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, **【CKP】**:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
	ことぶき塾	いつまでも健康で生きがいのある生活を送るために大切な知識や情報等を学ぶとともに、受講生同士の交流を深めることなどで、地域参画や生涯学習のきっかけづくりを図り、人生後半を更に心豊かに生きていくための支援を行う。	市内の高齢者	6月～12月	6回	
	学習情報の発信					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
	親子のびのび講座	乳幼児期の大切な時期に、体操やレクリエーションなどを通じた親子のスキンシップや、必要な技術の習得等を通して、親子双方の育ちを図るとともに、同じ子育て世代同士がコミュニケーションをとれる環境を構築する。	市内の2～3歳児とその保護者	6～12月	6回	
	青少年対象					
	夏休みワクワク体験教室	横川地区内の児童が、同年代の子もたちと「ものづくり」や「体験」を通して、仲間意識を育みながら創意工夫する力を身につけるとともに、作品づくりにより得た自信により自己肯定感を高めることで、社会性を身につける一助とする。	横川地区内の小学生	夏休み	4回	
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時		
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
	◎まるごと横川【CKP】	地元横川の魅力をそれぞれが再発見することなどを通して、地域ビジョン推進に伴う今後のまちづくりに対する意識の醸成を図る。	横川地区の住民		3回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
	横川ふれあいまつり(文化祭・農業祭)	横川生涯学習センター利用団体や地区内の小中学校及び各種団体が一体となり、特色ある地域文化の向上、農業の振興、生涯学習の推進、主体的な地域づくりの推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内の小中学生、横川生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時		

(9) 瑞穂野生涯学習センター



所在地	宇都宮市下桑島町 1030 番地 1
電話番号	028-656-4250
ファクス	028-656-7704
開設	昭和 26 年 4 月 1 日
施設複合化	平成 4 年 4 月 13 日
対象区域	瑞穂野北・瑞穂野南小学校の各通学区域と瑞穂台小学校通学区域のうちさるやま町及び下栗町を除く通学区域

ア 平成 31 年度 瑞穂野生涯学習センター基本方針

瑞穂野地区においては、まちづくり協議会を組織する各種団体が中心となりさまざまな活動を展開している。

また、新たな住宅団地の形成により若い世代の人口が増加していることから、子育て支援や地域との絆づくりを迅速、着実に推進する必要がある。

一方で、少子高齢化や核家族化の進行により、地域コミュニティの希薄化なども目立ってきており、生活の核である家庭の重要性とともに、地域内の結びつきの必要性も一層高まってきている。

こうしたことから、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活ができるよう、また、学んだ成果が地域活動に結びつくきっかけとなるような事業の充実を図りながら、地域課題解決に向けた講座を展開する。

イ 平成31年度 瑞穂野生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, **【CKP】**:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
	◎地域学「みずほの」(Vスタッフ企画運営講座)	地域の特性や歴史、文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。	地区内に居住する一般成人	12月	2回	
	学習情報の発信					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
	なかよし親子の広場	幼児期の成長に必要な遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親子双方の育ちを支援する。また、子育てに必要な知識の習得を促すとともに子育ての不安を解消し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	幼児とその保護者	6月	4回	
	子育てはっぴー講座	乳児期の大切な時期に親子のスキンシップや学びを通して、家庭における子育て力の向上を図るとともに、親同士の子育てネットワーク作りの推進を図る。	乳児とその保護者	7月	2回	
	青少年対象					
	少年ふるさと教室	体験活動等を通して、リーダーとしての資質向上と育成を図る。	地区内に居住する青少年	5月・1月	2回	
	親子チャレンジ教室	専門家や地域のボランティアによる指導を受けながら、親子でいろいろなことにチャレンジすることにより絆を深めるとともに、受講生同士の交流を通して、気軽に話し合える場を設け子育ての一助とする。	地区内に居住する青少年の親子	7月・8月・10月・12月	4回	
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時		
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
	【再掲】地域学「みずほの」(Vスタッフ企画運営講座)	地域の特性や歴史、文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。	地区内に居住する一般成人	12月	2回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
	【みずほのフェスティバル】瑞穂野生涯学習センター文化祭(同時開催:農業祭・福祉まつり)	センター利用団体の学習成果の発表、小中学生の作品展示等の生涯学習の推進及び特色ある地域文化の向上発展、地域による主体的な地域づくりの推進、並びに地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般成人等・センター利用団体	11月	1回	
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時		

(10) 城山生涯学習センター



所在地 宇都宮市大谷町 1059 番地 5

電話番号 028-652-4794

ファクス 028-652-5570

開設 昭和24年10月17日

施設複合化 平成6年4月1日

対象区域 明保・城山中央・城山西・
城山東小学校の各通学区域

ア 平成31年度 城山生涯学習センター基本方針

第3次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念の実現のために、個人の興味や関心による多様な学習活動への支援を継続しつつ、変化する社会環境の中で早急に取り組むべき課題に対応するため、地域と連携した人づくりや地域づくりの講座を実施するとともに、家庭・地域の教育力の向上はもとより、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりに取り組む。また、城山地区においては、豊かな自然と歴史ある地域資源の持つ魅力に気付くきっかけとなる講座や、地域が抱える課題に対応するための講座などを実施し、学習した成果を地域活動などに活かすことにより、地域を支える人材育成につながる事業として取り組む。

イ 平成31年度 城山生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
	◎ヒトマチづくり講座	地域におけるまちづくりの課題を抽出し、解決の糸口となるようなきっかけづくりを行い、地域で活躍できる人材の育成を図る。また、実践的な活動を通し、地域まちづくり意識の高揚を図ることを目指す。	地域内住民	12月	1回	
	いきいきセミナー	多様化する住民のニーズに合わせて、今、住民が必要とする情報や学習機会を提供することで、生涯学習のきっかけとなり、心豊かな生活の一助となるよう支援する。	地域内住民	未定	2回	
	学習情報の発信					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
	◎ともそだち広場	乳幼児の保護者と乳幼児が季節の行事やレクリエーションを通して、親子のふれあいや人との関わりを学ぶ。また、子を持つ親同士がネットワークを構築し、人と人との繋がりを持てるように、親子の育ちを支援していく。	0～3歳までの乳幼児とその保護者	4月～3月	10回	
	青少年対象					
	親子でにこにこクッキング	命の源である食に対する興味や健康への関心を高め、親子で調理することにより、親子の絆を深める。また、地場産の食材を活用し、地域への関心を喚起する。季節の野菜を食材とすることで、季節を感じる豊かな心を育む。	地域内の小学生とその保護者	7月・12月	2回	
地域と学校が連携した教育活動の充実						
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
	◎しろやま地域学	地域に目を向け、豊かな自然や文化財などの地域資源を知ることによって地域の持つ魅力や課題に気づききっかけづくりを行い、郷土愛の醸成と次世代に継承するための住民意識の高揚を図る。	市内に住んでいるか通勤、通学している人(小学生含む)	7月～8月	3回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
	城山生涯学習センター文化祭	地域住民の自主性と創意によるコミュニティ活動を促進し、特色ある地域文化の向上発展と生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	城山生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	

(11) 国本生涯学習センター



所在地 宇都宮市宝木本町 1868 番地 1

電話番号 028-665-2942

ファクス 028-665-7225

開設 昭和 25 年 7 月 20 日

施設複合化 平成 12 年 10 月 1 日

対象区域 国本中央・国本西・
晃宝小学校の各通学区域

ア 平成 31 年度 国本生涯学習センター基本方針

「平成 31 年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、地域の生涯学習活動の拠点として地域住民のニーズに応じた多様な学習の場を提供することで、「地域で活躍できる人づくり」・「家庭や地域の教育力向上」・「絆づくり」を目的とした事業に取り組む。

- (ア) 地域人材や地域資源を活かし、地域を学ぶ講座を開催することで、地域の良さや課題を知り、学習成果をまちづくりの課題解決などに還元できる人材を育成する。
- (イ) 地域と家庭・地区内小中学校および近隣の大学等と連携した事業を実施し、家庭と地域が一体となって子どもを育てていく知識や意識を醸成し、地域全体の教育力向上へと繋げる。
- (ウ) サークル活動の支援および趣味・教養・社会の要請等に応じた主催講座の開催や地区文化祭などを通じ、地域の方々の絆を深める交流の機会を創出し、地域コミュニティづくりの強化を図る。

イ 平成31年度 国本生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, **【CKP】**:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
	★くにもと生き生き講座	地域の人が、日々元気で生き生きとした生活が送れるよう、趣味や健康、教養などについて学び、これからの生きがいがいつくりへと繋げるとともに、受講生同士の交流を通じて地域の絆を深めていく。	市内在住の一般成人	6月～10月	4回	
	学習情報の発信					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
	親子ワクワク教室	親子での様々な体験等を通して、子育ての悩み解決や知識を習得し、同世代の親子との絆を深め、家庭や地域内での子どもに対する教育力の向上や互いの人間力の向上に役立てる。また、保健師の講話等を聴くことで、子育て環境をより充実できるよう、子どもと保護者それぞれの健康管理について学ぶ。	市内在住の未就園児とその保護者	6月～12月	6回	
	青少年対象					
	くにもとyou・遊・club	国際化社会の進展や2020年の東京オリンピック開催に向け、外国人との交流機会の増加が見込まれる中、将来を担う小学生に対して外国の言葉や生活習慣、文化に触れてもらうことにより、国際感覚や多文化共生意識を身につけてもらうとともに、人権意識の醸成を図る。	地区内の小学生	10月	2回	
	夏休みチャレンジ教室【CKP】	地域内の大学と連携を図り、小学生の夏休みの宿題に役立つ絵画などをグループで学ぶことにより、絵を描くことの楽しさやポイントなどを学びながら、他学年、他校の児童との交流を深めるなど、仲間作りの場を提供する。	地区内の小学生	8月	2回	
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
	◎10倍楽しむ国本塾～ふるさと再発見講座～	地域人材が講師となって、地域ならではの歴史・文化と地域行事、特産品などを組み合わせた地域学講座を開催することで、地域魅力の再発見を通じた郷土愛を醸成するとともに、地域主体のまちづくり推進に向けた人材の育成を図る。	地区内在住の一般成人	6月～11月	6回	
	成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
	国本生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表の場を提供することで、文化活動の向上と生涯学習を推進する。	国本生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	

(12) 富屋生涯学習センター



所在地 宇都宮市徳次郎町 80 番地 2

電話番号 028-665-1663

ファクス 028-665-7226

開設 昭和 24 年 12 月 1 日

施設複合化 平成 9 年 4 月 1 日

対象区域 富屋小学校通学区域

ア 平成 31 年度 富屋生涯学習センター基本方針

富屋地区においては、まちづくり連絡協議会を核とした地域主体の事業展開がなされており、これを継続するため、今後も「住民主体のまちづくり」を推進していくための人材育成が、一層求められている。

こうしたことから、平成 31 年度においても、住民自らが地域に目を向け、地域の持つ魅力や課題に気づき地域資源の活用や課題解決に向けた取り組みの契機とするための地域学講座への参画を通して、地域社会を支える「人づくり」を推進するため生涯学習事業の充実に努める。

また、当センターが保健福祉の拠点であるという特徴を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携を図り、育児講座など特色ある事業を展開していく。

イ 平成31年度 富屋生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, **【CKP】**:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要					
	事業区分	事業名	内容	対象	時期	回数
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
		高齢者教室	高齢者相互の親睦とふれあいを広め、様々な課題に取り組むことにより教養を高める。	地区在住者	5月・6月・7月・9月	4回
		健康づくりハイキング	健康な体づくりと各世代間の交流による地域コミュニティの形成。	地区在住者	5月	1回
		◎とみや女性学	富屋地区の女性への教養、学習の場の提供を通して、地域のネットワークを広げるとともに、女性の力で地域力アップを図る。	地区在住の成人女性	6月～10月	5回
	学習情報の発信					
		情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
		親子ふれあい教室「富屋ママたっち広場」	乳幼児とその保護者を対象に、遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親同士のネットワークを促進し、家庭・地域における子育て環境の支援を図る。	富屋地区等の乳幼児とその保護者	6月～8月	3回
		家庭教育学級	家庭における子どもの教育のために必要な考え方や育て方についての知識や技術を学習する。	富屋小学校の児童とその保護者	6月	1回
	青少年対象					
		少年ふるさと教室	子どもたちの自主活動を促進するとともに、団体活動を通して責任と協力の大切さを体得させ、併せて伝統文化や自然に対する学習機会を提供し、健全育成に資する。	富屋小学校児童	11月～2月	4回
		考える力アップ講座 (Vスタッフ企画運営講座) 【CKP】	ものづくりや学習を通して、子どもたちの好奇心を高め自ら考え行動できる青少年の育成を図る	富屋小学校児童	7月・9月	2回
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
		魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
		◎地域学講座～富屋の自然・歴史・文化財ガイド養成講座～ 【CKP】	地域住民が専門家の講義などを通して、自分の住む「富屋」の豊かな自然や多くの歴史遺産について理解し、地域の課題に気づくとともに、その解決方法について考える契機とする。また、地域の自然と歴史遺産を後世に伝え、地域の魅力を発信するために、これらの内容について精通したガイドを養成する。	地区在住者等	6月(3回)・7月(2回)	5回
		成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになることとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
		とみやふるさとまつり(センター文化祭)	地域文化の発展向上と地域住民の連帯意識の高揚を図る。	富屋生涯学習センター利用団体及び地域住民	11月	1回
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	

(13) 豊郷生涯学習センター



所在地	宇都宮市岩曾町 825 番地 1
電話番号	028-660-2340
ファクス	028-660-2270
開設	昭和 25 年 3 月 20 日
施設複合化	平成 8 年 4 月 1 日
対象区域	豊郷中央・豊郷南・豊郷北・ 海道小学校の各通学区域

ア 平成 31 年度 豊郷生涯学習センター基本方針

豊郷地区においては、地域まちづくり協議会の組織である各種団体が主体となり地域活動が活発に展開されている。

しかし、地域住民のコミュニティ意識や連帯感の希薄化、少子・超高齢化や都市化・核家族化の進行による家庭・地域の教育力の低下など、さまざまな課題も生じている。

このようなことから、地域の住民が郷土愛を持ち地域コミュニティの構築に結びつくような講座や、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、学ぶことの喜びや仲間づくり・生きがいをにつなげる講座を実施し、学んだ成果を地域づくりに活かせるように、また、人間力や家庭の教育力の向上に結びつくような事業を展開する。

イ 平成31年度 豊郷生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要					
	事業区分	事業名	内容	対象	時期	回数
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
		とよさと元気塾【CKP】	情報化, 国際化, 少子・超高齢化など, 高齢者を取り巻く生活環境が常に変化している中で, 心豊かに過ごせるよう, 仲間づくりや生きがいづくりを支援する。	地区内在住の成人	5月～11月	6回
		★防災講座【CKP】	「自分たちの地域は自分たちで守る」をテーマとし, 地域の自律性と連携感を育み, 地域協働による防災・減災のまちづくりを促進する。	地区内在住の成人	9月・10月	2回
		学習情報の発信				
		情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し, 生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため, 学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに, その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
		子育て広場	子育ての学習やレクリエーションを通して, 親子のふれあいを深め, 生き生きとした親子関係を育むとともに, 保護者同士の情報交換の場を提供し, 子育て中の親の仲間づくりを図る。また, 日曜日に講座を開催することで, 父親の育児参加を促し, 父母共に子育ての知識などを身につけるとともに, 母親がリフレッシュし心身の安定を図れる機会を提供する。	1～3歳の子とその保護者	6月～12月	6回
		◎親育ち講座	家庭を取り巻く社会環境が変化する中で, 子育てへの不安感を解消することにより, 家庭における教育力の向上を図る。	1～3歳の子を持つ保護者	9月・10月	3回
		青少年対象				
		わくわく体験教室	子どもの頃の多彩な経験や多くの仲間との出会いが, 生きる力を育み人間力の向上に繋がることから, 学校や学年を越えた交流や, いろいろな体験を通して, 自ら考え行動できる青少年を育成する。	地区内小学校4・5年生	5月～11月	6回
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
		魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など, 地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
		◎まほろば探検塾	地域の歴史や文化などを学ぶことにより, 郷土への関心や愛着心を高め, 地域の持つ魅力や課題に気づききっかけをつくるとともに, まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。	地区内在住の成人	6月～11月	5回
		成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることで, 地域社会の一員としての自覚や, 地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに, 成人教育の第一歩として, 新成人が地域の人から学べる場, 地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日
		学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実				
		豊郷まつり(センター文化祭)	センター利用団体の学習成果の発表	豊郷生涯学習センター利用団体	11月	1回
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上, 学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	

(14) 篠井生涯学習センター



所在地 宇都宮市下小池町 466 番地 1

電話番号 028-669-2515

ファクス 028-669-2972

開設 昭和 26 年 1 月 26 日

施設複合化 平成 3 年 4 月 1 日

対象区域 篠井小学校通学区域

ア 平成 31 年度 篠井生涯学習センター基本方針

篠井地区は、古くから豊かな自然に恵まれ、世代間の交流を大切にし、歴史と伝統が大切に守られてきた地域であり、まちづくり協議会とその構成団体である各種団体が主体となり地域活動を活発に行ってきた。

しかしながら、少子超高齢化、コミュニティ意識の希薄化、団体役員の固定化や担い手不足など、さまざまな課題も生じている。

このようなことから、学びを通して豊かな人間性を育み、地域コミュニティや地域教育の向上を図るため、「篠井地域ビジョン（まちづくり計画）」との整合性を図りながら、地域教育の向上を図る講座、子育ての仲間づくりや家庭教育を学ぶ体験的な講座、魅力や課題を捉える地域学講座などに取り組み、地域の人材育成とともに「自然と共に伸び伸びと生きるまち 篠井」を目指す。

イ 平成31年度 篠井生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
	輝き人生教室	余暇の有効活用,健康の維持促進,世代間交流を通して,健康で生きがいのある生活ができる力を身につける。	高齢者	6月～1月	9回	
	学習情報の発信					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し,生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため,学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに,その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
	わくわく子育て仲間づくり	親子の絆や愛情を深め,心身の健康を育むとともに,受講生同士の交流を促進し,仲間づくりや子育てに必要な情報を提供する。	0歳児～未就学児とその保護者	6月～10月	6回	
	親と子のいろいろ学び舎	家庭において,子どもの教育を行うために,考え方や育て方について必要な知識や技術を身に付ける。親または親子で参加できる体験学習を通して,受講生同士の仲間づくりの場の提供をする。	小学生とその保護者	8月～12月	3回	
	青少年対象					
	少年大空教室	ふるさつを見直し,自然に関する学習活動や生活向上に関する実践を通して,青少年の健全育成を図る。また,地域の連帯感や郷土愛の精神を育む。	篠井小学校児童	8月～1月	5回	
	★親子映画会	家族団らんの機会の減少やゲームやインターネットの普及で親子の会話や友達関係の希薄化が問題視される昨今,親子で映画を鑑賞することにより,話題を共有し,親子・異世代の絆を深めることを目的とする。	篠井小学校児童および未就学児	8月～12月	2回	
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など,地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
	◎地域力アップ教室	地域をより一層成長させるために地域を確認し,地区内にある資源・文化伝統等を新発見し,地域ビジョンへと繋げる。	地域住民	6月～2月	5回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより,地域社会の一員としての自覚や,地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに,成人教育の第一歩として,新成人が地域の人から学べる場,地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
	篠井生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表と団体間の相互交流を図る。	篠井生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上,学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	

(15) 姿川生涯学習センター



所在地	宇都宮市西川田町 805 番地 1
電話番号	028-658-1594
ファクス	028-659-9425
開設	昭和 26 年 12 月 1 日
施設複合化	平成 15 年 12 月 22 日
対象区域	姿川中央・姿川第一・姿川第二小学校の各通学区域と新田小学校の通学区域のうちみどり野町，針ヶ谷町，針ヶ谷 1 丁目及び若松原 3 丁目を除く区域

ア 平成 31 年度 姿川生涯学習センター基本方針

当地区の、「姿川地区将来ビジョン」に掲げた将来像を実現するため、地域が抱えるさまざまな課題への取組みを地域と行政が協働して実現する必要がある。

このため、身近にまちづくりを感じてもらう内容の講座や地域の人材を多く活用する講座を開講し、地域まちづくりへの関心や参加意識を高めることにより、地域力の向上を図っていく。

平成 31 年度においては、以下の考え方にに基づき事業を展開していく。

- (ア) 近年多発している自然災害等に対する地域住民の防災意識の醸成を目的として、防災や消防に関する知識の習得や体験活動を幅広い世代を対象に実施していく。
- (イ) 地域内に居住する外国人が増える中、国際理解を深めながら多文化共生の地域づくりに対応するため、引き続き外国文化に触れる機会を提供していく。
- (ウ) 保健福祉の拠点としての特性を活かしながら、多くの子育て世代の親子を対象に、より充実した子育てにつながる学習やふれあいの場を提供していく。

イ 平成31年度 姿川生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
	シニア倶楽部	知識の習得、趣味、レクリエーション等を通して、高齢者がその年齢にふさわしい社会的能力を高めるとともに受講生同士のコミュニケーションを図ることを目的とする。また、地域内の社会資源や人材を活用し、まちづくりの意識醸成を図るための事業展開を図り、それを通し、まちづくり活動のきっかけづくりの場を提供する。	一般成人	7月～12月	7回	
	男の料理教室	セカンドライフを送る男性を対象に日常的な料理講習を実施し、男女共同参画の意識の醸成と家庭生活での充実を図る。	地区内の一般成人	7月～9月	3回	
	学習情報の発信					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
	親子ふれあい広場	親と子のスキンシップを通して、いきいきとした親子関係を育むとともに、参加者同士のコミュニケーションを深め、子育てネットワークの促進を図る。	乳幼児とその保護者	6月～2月	8回	
	青少年対象					
	◎姿川ふるさと教室	郷土の伝承・文化・自然に関する学習活動や生活向上に関する実践的活動を通し、ふるさとを見直し、地域連帯感や郷土愛の精神を深め、子どもたちの健全育成を図る。また、学んだことを地域へ情報発信する役目も担えるよう地域ジュニアリーダーとしての養成を図る。	地区内の小学4年生	7月～10月	5回	
	国際理解講座	親子で外国文化について学習することにより、外国住民と日本人住民の相互理解を促進するとともに家庭教育の充実につなげる。	小学1～3年生とその保護者	7月～8月	2回	
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
	姿川歴史教室	「遺跡や文化財マップ」を盛り込んだ「姿川さんぽ」を活用し、当地区市民センターで「歴史教室」を開催することにより、地域の文化活動をPRするとともに、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。	地区内一般成人	11月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになることとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
	姿川地区文化祭	特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域による主体的な地域づくりの推進、及び地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般市民及び姿川生涯学習センター利用団体	11月	1回	
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	

(16) 雀宮生涯学習センター



所在地	宇都宮市新富町9番4号
電話番号	028-654-1013
ファクス	028-653-5646
開設	昭和28年12月1日
施設複合化	平成元年10月16日
対象区域	雀宮中央・雀宮東・雀宮南小学校の各通学区域, 新田小学校通学区域のうち針ヶ谷町, 針ヶ谷1丁目, 及び兵庫塚3丁目の一部, 五代小学校通学区域のうち北若松原1丁目, 北若松原2丁目, 五代2丁目の一部, 五代3丁目の一部, みどり野町, 若松原1丁目, 若松原2丁目及び若松原3丁目を除く区域

ア 平成31年度 雀宮生涯学習センター基本方針

雀宮地区においては、すばらしい自然、長い歴史の中で培われてきた豊かな人情と深い絆を糧に“健康で楽しく、生きがいを実感できる地域”を目指して策定された「雀宮地域ビジョン」の実現に向け、まちづくりに取り組んでいる。

このようなことから、地域資源や地域の魅力を再認識し、地域のまちづくりに対する意識が高まるような地域理解を促進する講座などを通して、地域社会を支える「人づくり」、「地域づくり」を進める。

また、引き続き「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる趣味・教養的な講座や身近な生活課題の解決に資する講座を実施するとともに、子育て世代の「保護者の気づき」や「親子双方の育ち」を支援する講座を充実させることにより、「家庭教育支援」に取り組む。

イ 平成31年度 雀宮生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, **【CKP】**:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
	さわやか倶楽部 (Vスタッフ企画運営講座)	豊かな経験を引き続き社会に活かしながら、新しい知識や趣味をもつ契機となるよう学習の場を提供し、健康で生きがいのある豊かな人生を送るための支援を行う。 【うち1回をVスタッフ企画講座として実施予定】	雀宮地区内の60歳以上の方	5月～10月	6回	
	ライブアップセミナー	もっと学びたい、もっと知りたい現役世代(20歳～50歳代)の住民を対象に、現代的な課題など興味や関心を持ちながら学習できるような場を提供し、新たなライフスタイルを送るきっかけづくりや、さらには学習を通し新たな学びを促す機会とする。	雀宮地区内の一般成人	1月	1回	
	雀宮の歴史を学ぶ	地域に愛着を持ち、地域の魅力や特色を発掘し、新たな発見などまちづくり推進に向けた取組のきっかけとするため、雀宮地区の歴史、伝統文化を学習する。また、実施においては地域行事と連携し、充実を図る。	雀宮地区内の一般成人	11月	1回	
	学習情報の発信					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
	ちゅんちゅん親子ふれあい広場 (親子ふれあい編)	親子のスキンシップを通して、よりよい子育ての知識と技能を身につけ、家庭教育支援の充実を図るほか、育児の喜びや悩みを共有できる仲間との交流を図る。	未就学児とその保護者	6月～12月	5回	
	ちゅんちゅん親子ふれあい広場 (リフレッシュ編)	親子のスキンシップを楽しみながら家庭の教育力向上を図るほか、リフレッシュを図りながら育児の喜びや悩みを共有できる仲間づくりを進める。	未就学児とその保護者	8月・9月	2回	
	青少年対象					
	青少年セミナー	自然に親しむ活動やものづくり活動を通して、なかまとの連帯感や責任感を養い、次世代を担うリーダーシップ精神を育む。	雀宮地区内の小学4～6年生	7月・8月	4回	
	ちゅんちゅん親子チャレンジ	親子で協力して取り組む体験の機会を提供することにより、親子の絆を深めるとともに、親同士、子ども同士の交流を通して、仲間づくりを進める。	雀宮地区内の小学1～3年生とその保護者	7月	1回	
	地域わくわく子ども塾	雀宮地区の特性を活かし、宇都宮工業高等学校や陸上自衛隊宇都宮駐屯地との連携によるものづくり体験学習を通して、科学・知識・技術への関心を高め、自主性、創造性を身につけるとともに、郷土愛の精神を深め地域づくりの礎を築く人材の育成を図る。	雀宮地区内の小学4～6年生	7月・8月	2回	
地域と学校が連携した教育活動の充実						
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
	◎I LOVE雀宮講座【CKP】	「NCC形成」や「雀宮地域ビジョン」の実現に向け、自分の住む地域の課題に気づき、学ぶ機会を提供することで、雀宮地区内の一般成人や雀宮地区で学ぶ高校生に、地域に対する理解や愛着を深め、まちづくりに対する意識の醸成を図る。	雀宮地区内の成人および高校生	7月	2回	
	成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
	雀宮地域文化祭・収穫祭	「ふるさと雀宮」の特色ある地域文化の向上発展と豊かな農産物の収穫を祝い、地域の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	雀宮地区内一般市民と雀宮生涯学習センター利用団体	11月	1回	
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時		

(17) 上河内生涯学習センター



所在地 宇都宮市中里町 181 番地 3

電話番号 028-674-3131

ファクス 028-674-3139

開 設 昭和 49 年 4 月 1 日

対象区域 上河内東・上河内西・上河内
中央小学校の各通学区域

ア 平成 31 年度 上河内生涯学習センター基本方針

上河内地域における資源や特性、住民ニーズなどを踏まえ、個人の要望に応える事業と社会の要請に応える事業のバランスを配慮しながら、多様な事業を推進する。事業の実施にあたっては、関係部局や関係機関団体と連携を図り、とりわけ地域の課題解決や活性化につながる事業については地域まちづくり推進団体とともに取り組んでいく。

- (ア) 住民一人ひとりが心豊かに生活できるよう、学ぶことの喜びや社会参加のきっかけとなる趣味・教養的な講座を地域課題や生活課題を十分に盛り込みながら継続していく。
- (イ) 「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため、家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や親子双方の育ちを支援するための講座を実施する。
- (ウ) 地域資源や地域の魅力を再認識し、地域のまちづくりに対する意識が高まるような地域学講座などを通して、地域社会を支える人材の発掘や育成に取り組んでいく。

イ 平成31年度 上河内生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
	異国の家庭料理で多文化理解	日本在住外国人と母国の家庭料理を一緒に作り、食することにより相手文化に触れ、文化交流や国際理解する機会をつくる。	市内在住・在勤の成人	10月	3回	
	◎ライフアップセミナー in かみかわち	時宜を得たテーマや生活上の課題について学習することにより、知識・教養を身に付け、実生活に役立てる。	市内在住・在勤の成人	7月～10月	8回	
	◎ライフアップセミナー in かみかわちスペシャル	ライフアップセミナーinかみかわちの特別企画として、ライフアップセミナーの受講生以外にも門戸を開き、社会の関心のあるテーマを提供し、ともに考える時間を作り出す。	市内在住・在勤の成人	10月	1回	
	パソコン講座	パソコンの活用範囲を広げ、地域活動やボランティア活動など様々な活動へとつなげる。	市内在住・在勤の成人	7月, 9月, 11月	12回	
	学習情報の発信					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を積極的に収集、提供する。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
	◎子育て親育ち講座	家庭や親の役割、子どもとのかかわり方などについて学び、また子育て中の多くの親同士の交流をおし、子育て世代が安心して過ごせるようサポートする。	市内在住の満1歳以上の幼児とその保護者	5月, 6月	6回	
	青少年対象					
	子どもチャレンジ教室	自動と保護者が一緒にものづくりを体験することにより、協働や創造することの喜びを分かちあう。	市内在住の小学生とその保護者	8月	1回	
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。	地域団体	通年	随時	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業とする。	新成人	1月	1日	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
	上河内地域文化祭	地域の幼稚園、保育園、小中学校の児童生徒及び生涯学習センター利用団体の作品を一堂に展示し、またセンター利用団体をはじめ地域の方々が日ごろの学習成果をステージ発表することにより、地域文化の向上と生涯学習推進の機会とする。	上河内生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
	学習相談	相談者の様々なニーズに応じて情報提供や助言をするなど、学習活動を具体的に支援する。	全市民	通年	随時	

(18) 河内生涯学習センター



所在地 宇都宮市中岡本町 3221 番地 4

電話番号 028-671-3201

ファクス 028-671-3220

開設 昭和53年 4月 1日

複合施設化 平成28年 3月 22日

対象区域 岡本・白沢・田原・岡本西・岡本北・
田原西小学校の各通学区域

ア 平成31年度 河内生涯学習センター基本方針

身近な生涯学習の拠点として様々な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに社会環境が急激に変化する中において、社会の要請に対応する事業や人間力の向上、家庭・地域の教育力の向上に資する事業に取り組んでいく。

(ア) 地域の魅力を発見できる事業の充実を図る。

(イ) 地域の人材等を活用した講座を実施するとともに地域で活躍できる人材の育成に努める。

(ウ) 仲間づくりや交流の場を提供し、人と人との絆づくりを推進する。

(エ) 人間力の向上や家庭教育力の向上に資する事業を積極的に展開する。

イ 平成31年度 河内生涯学習センター事業計画

★:平成31年度新規事業, ◎:平成31年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象					
	かがやくセミナー	受講生がお互いの連帯感を深め、学び合い生きがいのある豊かな人生を過ごす力を身につける「仲間づくり」と地域活動等に関心を持つきっかけづくりを推進する。	市内在住・在勤の20歳以上の方	7月～1月	5回	
	◎美と健康きらめき講座	女性が健康・生活・言葉・マナーなど様々な分野で、素敵に輝くための知識・教養を体験を交えて習得すると共に、幅広い世代の交流を深めるきっかけ作りを推進する。	市内在住・在勤の20歳以上の女性	6月～11月	3回	
	男の料理講座	栄養バランスの整った料理を習得し、参加者同士がコミュニケーションを図りながら「健康づくり」や「仲間づくり」を推進する。	市内在住・在勤の65歳以上の男性	8月～12月	3回	
	市民運営講座 (Vスタッフ企画運営講座)	生涯学習課に登録しているVスタッフからの企画提案を活用し、活動の場を提供するとともに、様々な角度から生涯学習を推進する。	市内在住・在勤の20歳以上の方	6月～10月	4回	
	学習情報の発信					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象					
	◎ワクワク子育て講座	子育て世代の親の「仲間づくり」や「ネットワークづくり」を推進する。	市内在住・在勤の就学前の子どもを持つ親	9月～1月	3回	
	子育て広場	子育ての学習を通して親子のふれあいを深め、情報交換の場を提供し、「仲間づくり」や「ネットワークづくり」を推進する。	市内在住・在勤の乳幼児とその保護者	6月～12月	5回	
	青少年対象					
	オモシロ夏休み	子どもたちが「学ぶ楽しさ」を感じ、子どもたちの「自ら考える力」をはぐくむとともに、「仲間づくり」を推進する。	市内在住の小学4年生～6年生	8月	3回	
	地域と学校が連携した教育活動の充実					
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進					
	いきいき河内発見講座	河内の地域資源を学ぶことによって地域の良さを再発見し、地域活動に関心を持つきっかけづくりを推進する。	未定	5月～9月	3回	
	成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実					
	河内地域文化祭	河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施する。	団体及び一般市民	未定	1回	
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	

今後の宇都宮市成人式に関するアンケート調査等について

○ 趣旨

第1回ワーキング会議で整理した高校生等へのアンケート結果およびヒアリング結果について報告するもの

1 アンケート調査等の概要

(1)目的

本市成人式について、成年年齢引き下げ後においても、多くの若者が参加できる充実した事業とするため、18歳を迎える高校3年生やその保護者、これまで成人式を支えてきた関係者へ、対象とする年齢や実施時期についての意向を調査する。

(2)実施時期

令和元年5月下旬～6月下旬

(3)調査内容および回収状況

【全体】

- ・アンケート発送数 3,004 通 回答数 1,799 通（回答率：59.9%）
- ・ヒアリング調査数 11 事業者

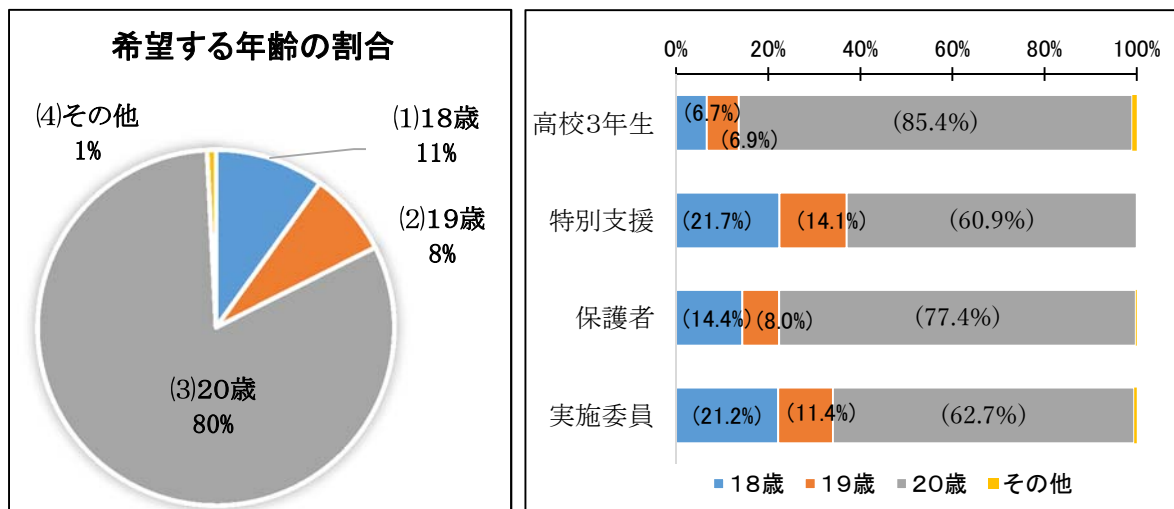
【詳細】

方法	対象	実施数	回収方法	回収数	回収率
アンケート	高校3年生 (市内15校のうち14校で実施)	・2クラス/1校 ⇒ 1,033 名	記入後その場で回収	1,027	99.4%
	特別支援高等部 (市内6校のうち4校で実施)	・18歳になる生徒 ⇒ 95 名	①記入後その場で回収 ②返信用封筒で返信	92	96.8%
	市内在住で18歳の子をもつ親	・無作為抽出 ⇒ 1,500 名	返信用封筒で返信	487	32.5%
	平成31年成人式実施委員	・新成人を除く実施委員 ⇒ 376 名	返信用封筒で返信	193	51.3%
ヒアリング	成人式会場 (ホテル等)	・H31年成人式で使用した9施設			
	栃木県美容業生活衛生同業組合	・1団体			
	撮影業者	・1業者(サトーカメラ)			

2 アンケート調査の結果について

(1) 対象とする年齢について

成人式開催を希望する年齢については、全てのアンケートで20歳での開催希望が最も多い。



【20歳と回答】

全回答数 1,799 名中 1,431 名 (79.5%) が回答。

回答率にばらつきはあるが、全てのアンケートにおいて回答率は最も高い。

(20歳を選んだ主な理由)

- ・「今まで通りが分かりやすい」約 70%
- ・「受験や就職などある年齢は避けたい」約 54%

【19歳での回答】

全回答数 1,799 名中 145 名 (8.1%) が回答。

「その他」を除いて回答率は最も低い。

(19歳を選んだ主な理由)

- ・「受験や就職などある年は避けたい」約 64%
- ・「卒業してからがよい」約 55%
- ・「全員が成人(18歳)になっているから」約 59%

【18歳と回答】

全回答数 1,799 名中 200 名 (11.1%)

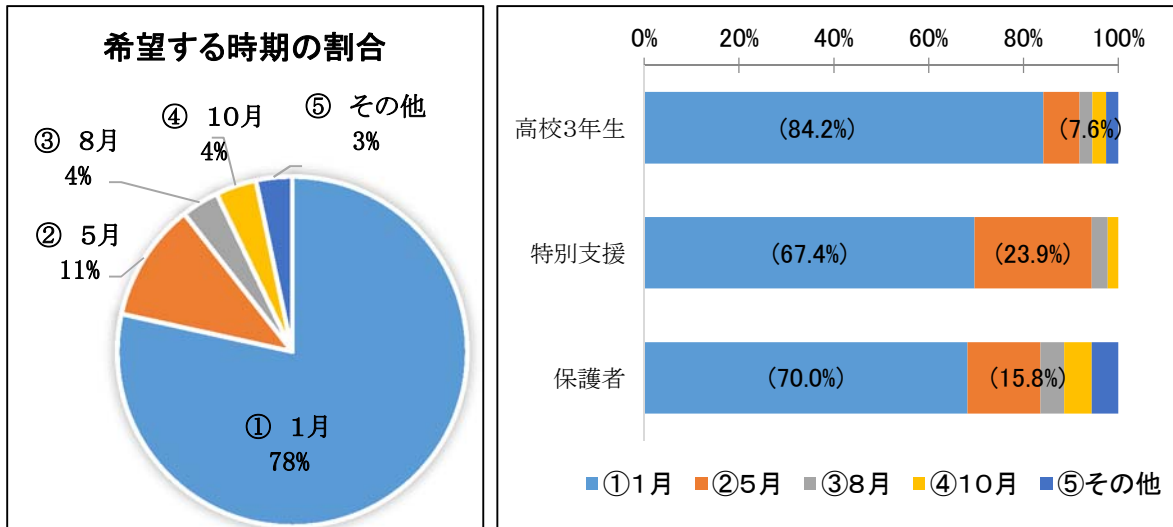
「実施委員」や「特別支援」の生徒は約2割の回答はあるが、全体では約1割の回答率。

(18歳を選んだ主な理由)

- ・「成人になる年にやるべき」約 60%
- ・「成人として自覚をもたせたい」約 51%

(2) 成人式の実施時期について

実施時期については、対象とする年齢が何歳だとしても、1月での開催希望が最も多く、次いで5月と回答した者が多い。



【1月と回答】

全体の78%が1月と回答しているが、対象年齢を「18歳」と答えた者のうちでは約47%、「19歳」と答えた者のうちでは約55%、「20歳」と答えた者のうちでは約86%。

(理由) 1月を選んだ理由としては、いずれも9割以上が「成人を祝うのだから成人の日の頃」を選んでいる。

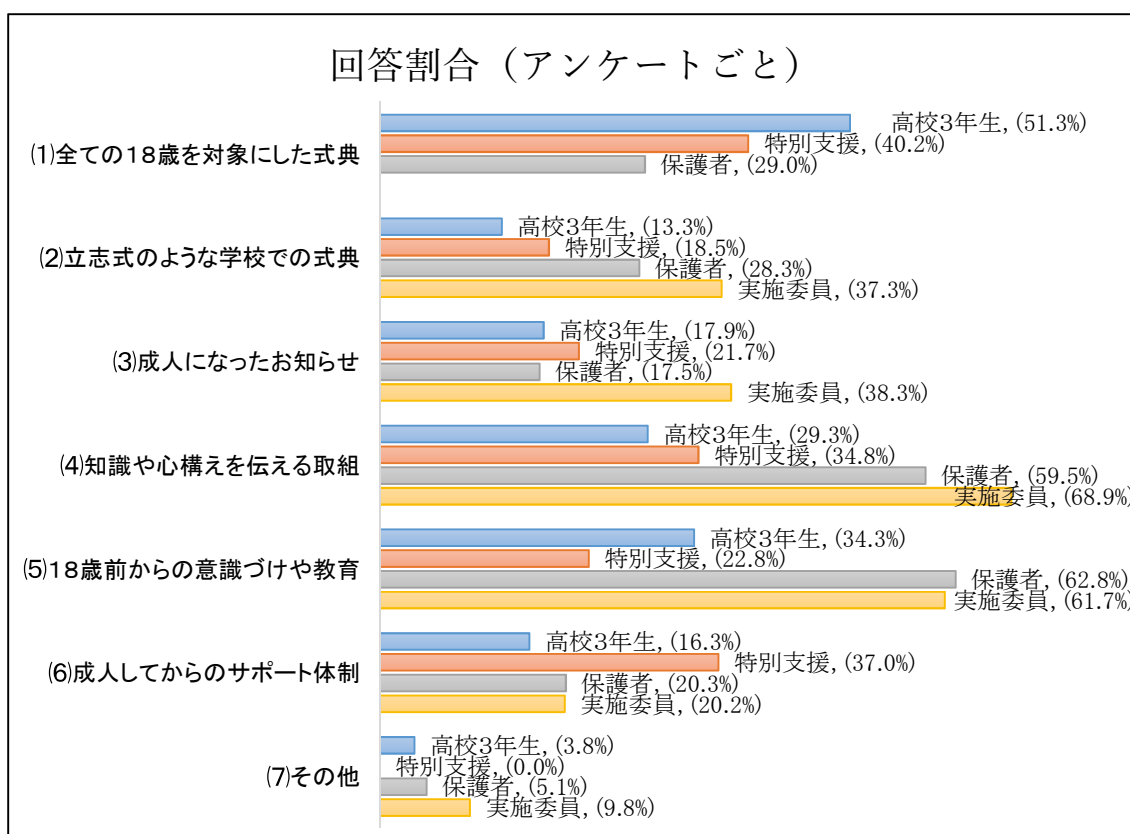
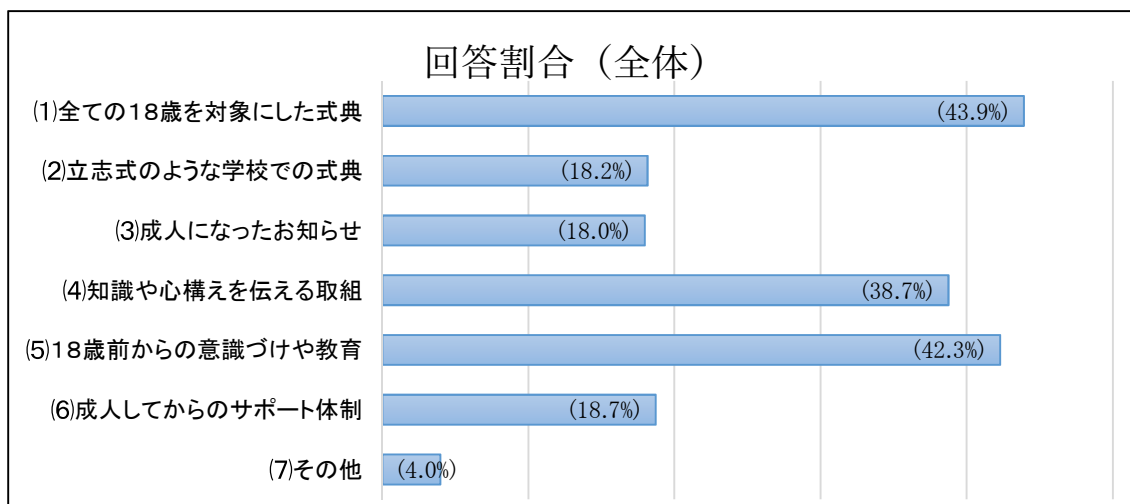
【5月と回答】

成人式の対象年齢を「18歳」と答えた者のうち約33%、「19歳」と答えた者のうち約29%、「20歳」と答えた者では約7%。

(理由) 5月を選んだ理由としては、「受験等を避けたい」、「帰省などしやすい」が多い。

(3) 18歳成人に対する成人としての自覚を持たせるための取組

新成人に対して自覚を持たせるための取組としては、「(1)全ての18歳を対象とした式典」(43.9%)や「(5)18歳前からの意識づけや教育」(42.3%),「(4)成人として知っておくべき知識や心構えを伝える取組」(38.7%)が多く、(1)は特に高校3年生、(4)、(5)は保護者と実施委員の回答率が高かった。



※ アンケート詳細⇒参考1～参考5を参照

3 ヒアリング調査の結果について

(1)ホテル等

成人式の実施会場として協力をいただいているホテル等については、18歳で成人式を行うメリットとして「社会のシステムにより早くなじむことができる」と回答したところはあるものの、そのほとんどが最初の年に3学年分が対象になってしまうとこれまでのようには対応できないため実施日の検討を要することなどをデメリットとしてあげている。

そのため、会場確保の観点や、新成人の受験のこと、協力している地域の人たちのことなども踏まえて20歳を希望する回答が多い。

(2)美容業生活衛生同業組合

18歳で開催する場合は、対象者の多くが高校生であり、着物の準備等、全て親の負担になるため経済状況など懸念されるが、20歳なら自分で働いて準備できる可能性もある。

そのため、成人式は20歳でやるべきとの回答。

(3)撮影業者

18歳を対象として行う場合、もしも1日で3学年分を実施するとすれば人手が足りずに対応出来なくなることが懸念されるとしている。

開催を複数日にするなどすれば対応することは可能であるが、新成人も期待する成人式の意味を考えるとやはり20歳が望ましいのではないかとの回答。

※ ヒアリング詳細⇒参考6を参照

4 調査結果の総括

- ・ 関係者を対象としたアンケート調査では、「今まで通りが分かりやすい」、「受験や就職などある年齢は避けたい」との理由、ヒアリング調査においては「対応する人手や会場の確保」が懸念されることなどから、**20歳での開催希望が非常に多かった**。特に「受験や就職などある年齢は避けたい」という理由は、20歳、19歳を希望する半数以上が選んでいるだけでなく、18歳を選んだ者でも、「受験等を避けたい」という理由から実施時期を1月以外で希望する回答が多数あるなど、全体として受験や就職への影響が最も懸念されていることがうかがえる。
- ・ 実施時期については、**開催する年齢を問わず1月という回答が多く**、理由としては「成人を祝うのだから成人の日の頃」という回答が9割以上を占めており、多くの人が「成人の日」と成人式の関係性を高く意識していることがうかがえる。ヒアリング調査においては希望する時期の聞き取りは行っていないが、もしも18歳で3学年分を対象とする場合には、人手や会場確保の観点から複数日での開催を望む声が多かった。
- ・ 「18歳成人に対する成人としての自覚を持たせるための取組」については、多くの高校3年生が回答した「全ての18歳を対象にした式典」の回答率が最も高い。しかし、保護者や実施委員など大人のアンケートでは、「18歳前からの意識づけや教育」、「成人として知っておくべき知識や心構えを伝える取組」の回答が多くなっている。

今後の宇都宮市成人式のあり方検討の方向性について

○ 趣旨

高校生等へのアンケート結果や関係機関へのヒアリング結果を踏まえ、今後の宇都宮市成人式の在り方検討の方向性について協議するもの

1 アンケート調査等による各関係者の意識について

(1) 高校3年生の意識

(対象年齢と実施時期)

20歳での開催希望がとても多い。実施時期も1月での開催希望がとても多く、1月を選んだ理由としては「成人の日」を意識してという回答が9割を超えている。今までどおり20歳で1月の「成人の日」付近で開催することを望んでいる子がとて多い特徴がある。

(18歳で成人を自覚する取組)

「現在の成人式のような全ての18歳を対象にした式典」という回答が最も多い。しかし、「立志式のような学校での式典」は回答率が極端に低く、問1での対象年齢は多くの子が20歳を希望していることから、「18歳を対象にした式典」ではなく、「現在の成人式のような」取組で自覚が芽生えたと考えていると推測できる。

(2) 特別支援学校の生徒の意識

(対象年齢と実施時期)

20歳での開催希望は最も多いが、回答率は6割ほどと他アンケートに比べると低い。また、「受験や就職などある年齢は避けたい」という回答率も他アンケートと比べて低い。実施時期については、やはり「成人の日の頃」を意識して1月の回答が最も多いが、「成人の日の頃」という理由で5月につける子も多かった。20歳の1月を希望する子は最も多いが、他アンケートと比べ受験や就職を意識する者が少ない特徴がある。

(18歳で成人を自覚する取組)

「現在の成人式のような全ての18歳を対象にした式典」の回答が最も多いが、「立志式のような学校での式典」は回答率が低いなど、高校3年生と同様の傾向がある。また、「成人してから困ったことを相談できるサポート体制」の回答率が高い特徴がある。

(3) 18歳の子をもつ保護者の意識

(対象年齢と実施時期)

20歳での開催希望が多く、特に「受験や就職などある年齢は避けたい」を理由とする回答が多いため、受験等への影響を特に懸念している。また、18歳を避ける理由に経済的負担を記述する人もみられた。実施時期については、やはり「成人の日」を意識した1月の回答が多いが、「帰省などしやすい」、「暖かい時期が良い」など、成人式自体より成人式をとりまく外的要因を懸念している特徴がある。

(18歳で成人を自覚する取組)

「知識や心構えを伝える取組」や「18歳前からの意識づけや教育」の回答率が高く、「式典」についての回答率は低いことから、成人としての自覚を行事ではなく、知識や意識といった部分から持ってほしいと考えていると推測できる。

(4) 実施委員の意識

(対象年齢と実施時期)

20歳での開催希望は最も多いが、他アンケートと比べると回答率は低い。「成人になる年(18歳)にやる方がよい」という理由から18歳、「全員が成人を迎えてからがよい」との理由から19歳と回答する傾向があるなど、18歳成人を強く意識して回答している特徴がある。

(18歳で成人を自覚する取組)

「知識や心構えを伝える取組」や「18歳前からの意識づけや教育」の回答率が高いなど、保護者の回答と似た傾向にあるため、知識や意識を育むことが重要であると考えていると推測できる。また、「学校での式典」や「成人になったお知らせ」など取組の全項目について回答率が高めであるため、18歳に自覚を持たせるためには複数項目取り組む必要があると考えている人が多いと推測できる。

(5) 関係業界の意識

(対象年齢と実施時期)

関係業界としては、18歳で実施する場合、人手や会場の確保をデメリットにあげ、18歳で実施する場合には、複数日での開催(会場については閑散期にするなどの考慮も必要)にすれば対応可能としているところが多い。そのため、そういった人手や会場確保の懸念がなく、新成人の受験等への影響や保護者の経済的負担なども考慮すると20歳での開催を望む声が多い。

2 アンケート調査等から考える成人式の方向性について

(1) 対象年齢

多くの関係者が「受験や就職等」についての影響を懸念していること、「今まで通り」が分かりやすいこと、などの理由から20歳対象を希望する回答がアンケートの大半を占めており、実施会場などの関係業界からも20歳での開催を望む声が多いなど、全ての調査において**20歳対象が最も望ましい**という結果だった。

(2) 実施時期

「帰省のしやすさ」や「暖かい時期での開催」を理由に1月以外の実施時期を選ぶ人はいるものの、関係者の大半が「成人の日の頃」を意識しているため、調査においては**1月での実施が最も望ましい**という結果だった。

(3) 新成人(18歳)への対応

多くの高校3年生が回答している「現在の成人式のような全ての18歳を対象にした式典」の回答率が最も高いものの、高校3年生の意識としては「18歳を対象にした式典」ではなく、「現在の成人式のような」取組を望んでいるものと推測される。しかし、「現在の成人式のような」取組は上記(1)、(2)の理由から20歳対象が最も望ましいとされているため、次いで回答した割合が特にかかった**「18歳前からの意識づけや教育」、「知識や心構えを伝える取組」**が求められていると言える。

3 アンケート調査等から考える今後の課題について

(1)事業の名称と教育的意義の検討

20歳を対象とした場合、新成人を祝い励ます「成人式」ではなくなる。成人式に準ずる事業であると捉えるとしても、どのような事業の名称でどのような教育的意義をもって実施していくか検討する必要がある。

(2)新たな「成人に対する取組」としての整理

事業の検討にあたっては、これまで実施してきた成人式の成果や課題だけでなく、宇都宮市が抱える様々な課題なども踏まえ、本市のこれからのまちづくりに効果的な「成人に対する取組」の一つとしても、新たにその目的や内容を整理していく必要がある。

(3)18歳に大人としての自覚を促す新たな取組の検討

新成人(18歳)に対しては、「18歳以前からの意識づけや教育」が挙げられていることから、学校教育との十分な連携・調整が必要になってくる。また、全ての18歳を迎える新成人に対し、新たに「知識や心構えを伝える取組」をどのように行っていくかを検討する必要がある。

4 今後のあり方検討の基本的な考え方について

- ・ 今回の調査による市民ニーズを尊重しながら、事業の教育的意義や、これまでの成人式の成果を踏まえ、対象とする年齢や実施時期についての検討を進める。
- ・ 多くの若者が参加し、成人として様々な意識を醸成する貴重な機会として、人口減少や地域コミュニティの希薄化、外国人人口の増加など、本市が抱える多様なまちづくりの課題にも応じた事業の目的や内容等の検討を進める。
- ・ 18歳で成人としての自覚を醸成するため、学校や家庭において18歳成人に向けてどのように意識づけや教育をしていくか、また、全ての18歳に対して新たにどのような取組をしていくか検討を進める。

※ 18歳への取組例:(選挙管理委員会)18歳の誕生日に有権者になった自覚を促すハガキの送付

- ・ 成人式は、生涯学習センター事業として位置づけていることから、生涯学習センターに設置している「宇都宮市生涯学習センター運営審議会」から意見をもらうとともに、本市の社会教育に関する助言を行う「社会教育員の会議」で協議を重ね決定していく。

5 今後のスケジュール

令和元年 7月 4日 生涯学習センター運営審議会(意見聴取)

30日 社会教育委員の会議(協議)

8月 第3回 関係課ワーキング

9月 第1回 関係課長等会議

10月 生涯学習センター運営審議会(意見聴取)

社会教育委員の会議(協議)

11月 第4回 関係課ワーキング

第2回 関係課長等会議

教育委員会委員協議会

12月 社会教育委員の会議(答申)

教育委員会(決定)

○今後の宇都宮市成人式に関するアンケート調査総計表

参考 1

対象者	発送数	回答
1 高校3年生	1033	1027 (99.4%)
2 特別支援の3年生	95	92 (96.8%)
3 保護者	1500	487 (32.5%)
4 実施委員会	376	193 (51.3%)
計	3004	1799 (59.9%)

希望する年齢	回答
(1) 18歳	200 (11.1%)
(2) 19歳	145 (8.1%)
(3) 20歳	1431 (79.5%)
(4) その他	12 (0.7%)
無回答	11 (0.6%)
計	1799 (100.0%)

希望する年齢	回答(実施委員会)
(1) 18歳	41 (21.2%)
(2) 19歳	22 (11.4%)
(3) 20歳	121 (62.7%)
(4) その他	1 (0.5%)
無回答	8 (4.1%)
計	193 (100.0%)

実施委員は「希望する年齢」以外は設問が異なるため除外

実施委員以外の回答

希望する年齢	回答	回答(高3)	回答(特支)	回答(保護者)
(1) 18歳	159 (9.9%)	69 (6.7%)	20 (2.7%)	70 (14.4%)
(2) 19歳	123 (7.7%)	71 (6.9%)	13 (1.4%)	39 (8.0%)
(3) 20歳	1310 (81.6%)	877 (85.4%)	56 (6.0%)	377 (77.4%)
(4) その他	11 (0.7%)	10 (1.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
無回答	3 (0.2%)	0 (0.0%)	3 (3.3%)	0 (0.0%)
計	1606 (100.0%)	1027 (100.0%)	92 (100.0%)	487 (100.0%)

希望する時期(全体)	回答(高3)	回答(特支)	回答(保護者)
① 1月	1267 (78.5%)	864 (84.2%)	62 (6.4%)
② 5月	177 (11.0%)	78 (7.6%)	22 (2.3%)
③ 8月	56 (3.5%)	28 (2.7%)	3 (3.3%)
④ 10月	61 (3.8%)	30 (2.9%)	2 (2.2%)
⑤ その他	54 (3.3%)	26 (2.5%)	0 (0.0%)
計	1615 (100.0%)	1026 (99.9%)	89 (96.7%)

【18歳と回答】 159名

理由(複数回答)	回答	回答(高3)	回答(特支)	回答(保護者)
① 成人として自覚をもたせたい	81 (50.9%)	23 (33.3%)	8 (40.0%)	50 (71.4%)
② 成人になる年にやるべき	96 (60.4%)	39 (56.5%)	8 (40.0%)	49 (70.0%)
③ 地元にいるうちがいい	42 (26.4%)	22 (31.9%)	8 (40.0%)	12 (17.1%)
④ 着物等の準備がしやすい	8 (5.0%)	4 (5.8%)	3 (15.0%)	1 (1.4%)
⑤ その他	6 (3.8%)	5 (7.2%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)

希望する時期	回答(高3)	回答(特支)	回答(保護者)	理由(複数回答)				
				①成人の日の頃	②受験等避けたい	③暖かい時期が良い	④他の時期は忙しい	⑤その他
① 1月	74 (46.5%)	38 (55.1%)	11 (55.0%)	25 (35.7%)	69 (93.2%)	9 (12.2%)	1 (1.4%)	7 (9.5%)
② 5月	53 (33.3%)	18 (26.1%)	6 (30.0%)	29 (41.4%)	6 (11.3%)	39 (73.6%)	10 (18.9%)	11 (20.8%)
③ 8月	4 (2.5%)	1 (1.4%)	2 (10.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)
④ 10月	15 (9.4%)	6 (8.7%)	1 (5.0%)	8 (11.4%)	2 (13.3%)	7 (46.7%)	1 (6.7%)	6 (40.0%)
⑤ その他	15 (9.4%)	7 (10.1%)	0 (0.0%)	8 (11.4%)	0 (0.0%)	8 (53.3%)	2 (13.3%)	3 (20.0%)

【19歳と回答】 123名

理由(複数回答)	回答	回答(高3)	回答(特支)	回答(保護者)
① 受験や就職などある年齢は避けたい	79 (64.2%)	45 (63.4%)	3 (23.1%)	31 (79.5%)
② 学校を卒業してからが良い	68 (55.3%)	38 (53.5%)	7 (53.8%)	23 (59.0%)
③ 全員が成人(18歳)になっているから	72 (58.5%)	41 (57.7%)	4 (30.8%)	27 (69.2%)
④ その他	3 (2.4%)	2 (2.8%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)

希望する時期	回答(高3)	回答(特支)	回答(保護者)	理由(複数回答)				
				①成人の日の頃	②暖かい時期が良い	③他の時期は忙しい	④帰省などしやすい	⑤その他
① 1月	68 (55.3%)	43 (60.6%)	8 (61.5%)	17 (43.6%)	64 (94.1%)	1 (1.5%)	6 (8.8%)	12 (17.6%)
② 5月	35 (28.5%)	19 (26.8%)	4 (30.8%)	12 (30.8%)	3 (8.6%)	12 (34.3%)	11 (31.4%)	20 (57.1%)
③ 8月	9 (7.3%)	3 (4.2%)	1 (7.7%)	5 (12.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	9 (100.0%)
④ 10月	8 (6.5%)	5 (7.0%)	0 (0.0%)	3 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)
⑤ その他	5 (4.1%)	3 (4.2%)	0 (0.0%)	2 (5.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)

【20歳と回答】 1310名

理由(複数回答)	回答	回答(高3)	回答(特支)	回答(保護者)
① 今まで通りが分かりやすい	916 (69.9%)	647 (73.8%)	40 (71.4%)	229 (60.7%)
② 受験や就職などある年齢は避けたい	710 (54.2%)	444 (50.6%)	11 (19.6%)	255 (67.6%)
③ 同窓会のようなイメージがあるから	385 (29.4%)	259 (29.5%)	12 (21.4%)	114 (30.2%)
④ 卒業後の新生活が落ち着くと思う	389 (29.7%)	247 (28.2%)	14 (25.0%)	128 (34.0%)
⑤ その他	73 (5.6%)	52 (5.9%)	3 (5.4%)	18 (4.8%)

希望する時期	回答(高3)	回答(特支)	回答(保護者)	理由(複数回答)				
				①成人の日の頃	②暖かい時期が良い	③他の時期は忙しい	④帰省などしやすい	⑤その他
① 1月	1125 (85.9%)	783 (89.3%)	43 (76.8%)	299 (79.3%)	1039 (92.4%)	21 (1.9%)	83 (7.4%)	196 (17.4%)
② 5月	89 (6.8%)	41 (4.7%)	12 (21.4%)	36 (9.5%)	7 (7.9%)	45 (50.6%)	13 (14.6%)	43 (48.3%)
③ 8月	43 (3.3%)	24 (2.7%)	0 (0.0%)	19 (5.0%)	0 (0.0%)	9 (20.9%)	10 (23.3%)	36 (83.7%)
④ 10月	38 (2.9%)	19 (2.2%)	1 (1.8%)	18 (4.8%)	5 (13.2%)	13 (34.2%)	8 (21.1%)	8 (21.1%)
⑤ その他	34 (2.6%)	16 (1.8%)	0 (0.0%)	18 (4.8%)	8 (23.5%)	4 (11.8%)	9 (26.5%)	10 (29.4%)

問2 18歳への対応

項目(複数回答)	回答	回答(高3)	回答(特支)	回答(保護者)
(1)全ての18歳を対象にした式典	706 (44.0%)	528 (51.4%)	37 (40.2%)	141 (29.0%)
(2)立志式のような学校での式典	292 (18.2%)	137 (13.3%)	17 (18.5%)	138 (28.3%)
(3)成人になったお知らせ	289 (18.0%)	184 (17.9%)	20 (21.7%)	85 (17.5%)
(4)知識や心構えを伝える取組	623 (38.8%)	301 (29.3%)	32 (34.8%)	290 (59.5%)
(5)18歳前からの意識づけや教育	680 (42.3%)	353 (34.4%)	21 (22.8%)	306 (62.8%)
(6)成人してからのサポート体制	301 (18.7%)	168 (16.4%)	34 (37.0%)	99 (20.3%)
(7)その他	64 (4.0%)	39 (3.8%)	0 (0.0%)	25 (5.1%)

「20歳対象」で成人式を継続する場合の新成人(18歳)への対応

項目(複数回答)	回答(実施委員)
(1)立志式のような学校での式典	72 (37.3%)
(2)成人になったお知らせ	74 (38.3%)
(3)知識や心構えを伝える取組	133 (68.9%)
(4)18歳前からの意識づけや教育	119 (61.7%)
(5)成人してからのサポート体制	39 (20.2%)
(6)その他	19 (9.8%)

1 市内高校に通う3年生へのアンケート

参考 2

発送数	1,033	回答数	1027	回答率	99.4%
-----	-------	-----	------	-----	-------

属性

	市内	市外	計
男子	233 (22.7%)	86 (8.4%)	319
女子	287 (27.9%)	139 (13.5%)	426
計	520 (50.6%)	225 (21.9%)	745

問1 成人式の対象とする年齢や時期とそれらの理由

希望する年齢	回答	回答(男子)	回答(女子)
(1) 18歳	69 (6.7%)	36 (10.9%)	18 (4.2%)
(2) 19歳	71 (6.9%)	22 (6.7%)	37 (8.6%)
(3) 20歳	877 (85.4%)	267 (81.2%)	373 (86.7%)
(4) その他	10 (1.0%)	4 (1.2%)	2 (0.5%)
計	1027 (100.0%)	329 (100.0%)	430 (100.0%)

希望する時期(全体)	理由(複数回答)					
	①成人の日の頃	②受験等避けたい	③暖かい時期がよい	④他の時期は忙しい	④帰省などしやすい	⑤その他
① 1月	864 (84.1%)	791 (91.6%)	2 (0.2%)	13 (1.5%)	56 (6.5%)	146 (16.9%)
② 5月	78 (7.6%)	6 (7.7%)	12 (15.4%)	27 (34.6%)	12 (15.4%)	30 (38.5%)
③ 8月	28 (2.7%)	0 (0.0%)	1 (3.6%)	2 (7.1%)	6 (21.4%)	23 (82.1%)
④ 10月	30 (2.9%)	3 (10.0%)	1 (3.3%)	4 (13.3%)	8 (26.7%)	5 (16.7%)
⑤ その他	26 (2.5%)	2 (7.7%)	4 (15.4%)	3 (11.5%)	2 (7.7%)	3 (11.5%)

【18歳と回答】 69名

理由(複数回答)	回答	回答(男子)	回答(女子)
① 成人として自覚をもちたい	23 (33.3%)	11 (30.6%)	7 (38.9%)
② 成人になる年にやるべき	39 (56.5%)	16 (44.4%)	11 (61.1%)
③ 地元にいるうちがいい	22 (31.9%)	12 (33.3%)	6 (33.3%)
④ 着物等の準備がしやすい	4 (5.8%)	1 (2.8%)	2 (11.1%)
⑤ その他	5 (7.2%)	4 (11.1%)	1 (5.6%)

希望する時期	理由(複数回答)				
	①成人の日の頃	②受験等避けたい	③暖かい時期がよい	④他の時期は忙しい	⑤その他
① 1月	38 (55.1%)	35 (92.1%)	2 (5.3%)	0 (0.0%)	4 (10.5%)
② 5月	18 (26.1%)	2 (11.1%)	12 (66.7%)	2 (11.1%)	3 (16.7%)
③ 8月	1 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
④ 10月	6 (8.7%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)
⑤ その他	7 (10.1%)	0 (0.0%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)

【19歳と回答】 71名

理由(複数回答)	回答	回答(男子)	回答(女子)
① 受験や就職などある年齢は避けたい	45 (63.4%)	12 (54.5%)	26 (70.3%)
② 学校を卒業してからがよい	38 (53.5%)	15 (68.2%)	16 (43.2%)
③ 全員が成人(18歳)になっているから	41 (57.7%)	13 (59.1%)	19 (51.4%)
④ その他	2 (2.8%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)

希望する時期	理由(複数回答)				
	①成人の日の頃	②暖かい時期が良い	③他の時期は忙しい	④帰省などしやすい	⑤その他
① 1月	43 (60.6%)	40 (93.0%)	1 (2.3%)	5 (11.6%)	10 (23.3%)
② 5月	19 (26.8%)	0 (0.0%)	5 (26.3%)	5 (26.3%)	10 (52.6%)
③ 8月	3 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
④ 10月	5 (7.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)
⑤ その他	3 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)

【20歳と回答】 877名

理由(複数回答)	回答	回答(男子)	回答(女子)
① 今まで通りが分かりやすい	647 (73.8%)	206 (77.2%)	284 (76.1%)
② 受験や就職などある年齢は避けたい	444 (50.6%)	97 (36.3%)	181 (48.5%)
③ 同窓会のようなイメージがあるから	259 (29.5%)	62 (23.2%)	118 (31.6%)
④ 卒業後の新生活が落ち着くと思う	247 (28.2%)	71 (26.6%)	104 (27.9%)
⑤ その他	52 (5.9%)	6 (2.2%)	30 (8.0%)

希望する時期	理由(複数回答)				
	①成人の日の頃	②暖かい時期が良い	③他の時期は忙しい	④帰省などしやすい	⑤その他
① 1月	783 (89.3%)	716 (91.4%)	12 (1.5%)	47 (6.0%)	136 (17.4%)
② 5月	41 (4.7%)	4 (9.8%)	20 (48.8%)	4 (9.8%)	20 (48.8%)
③ 8月	24 (2.7%)	0 (0.0%)	2 (8.3%)	6 (25.0%)	20 (83.3%)
④ 10月	19 (2.2%)	1 (5.3%)	4 (21.1%)	4 (21.1%)	3 (15.8%)
⑤ その他	16 (1.8%)	2 (12.5%)	2 (12.5%)	2 (12.5%)	12 (75.0%)

問2 18歳への対応

項目(複数回答)	回答	18歳と答えた人	19歳と答えた人	20歳と答えた人
(1)全ての18歳を対象にした式典	528 (51.4%)	43 (62.3%)	46 (64.8%)	435 (49.6%)
(2)立志式のような学校での式典	137 (13.3%)	5 (7.2%)	10 (14.1%)	120 (13.7%)
(3)成人になったお知らせ	184 (17.9%)	10 (14.5%)	16 (22.5%)	154 (17.6%)
(4)知識や心構えを伝える取組	301 (29.3%)	18 (26.1%)	24 (33.8%)	254 (29.0%)
(5)18歳前からの意識づけや教育	353 (34.4%)	24 (34.8%)	24 (33.8%)	297 (33.9%)
(6)成人してからのサポート体制	168 (16.4%)	11 (15.9%)	18 (25.4%)	133 (15.2%)
(7)その他	39 (3.8%)	5 (7.2%)	1 (1.4%)	32 (3.6%)

2 特別支援学校に通う生徒へのアンケート

発送数	95	回答数	92	回答率	96.8%
-----	----	-----	----	-----	-------

参考3

属性

	市内	市外	計
男子	22 (23.9%)	30 (32.6%)	52
女子	18 (19.6%)	21 (22.8%)	39
計	40 (43.5%)	51 (55.4%)	91

問1 成人式の対象とする年齢やその理由

希望する年齢	回答	回答(男子)	回答(女子)
(1) 18歳	20 (21.7%)	16 (30.8%)	4 (10.3%)
(2) 19歳	13 (14.1%)	4 (7.7%)	9 (23.1%)
(3) 20歳	56 (60.9%)	30 (57.7%)	25 (64.1%)
(4) その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	3 (3.3%)	2 (3.8%)	1 (2.6%)
計	92 (100.0%)	50 (96.2%)	38 (97.4%)

希望する時期(全体)		理由(複数回答)					
		①成人の日の頃	②受験等避けたい	③暖かい時期がよい	④他の時期は忙しい	⑤帰省などしやすい	⑥その他
① 1月	62 (67.4%)	55 (88.7%)	4 (6.5%)	6 (9.7%)	6 (9.7%)	2 (3.2%)	1 (1.6%)
② 5月	22 (23.9%)	8 (36.4%)	2 (9.1%)	8 (36.4%)	5 (22.7%)	3 (13.6%)	2 (9.1%)
③ 8月	3 (3.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
④ 10月	2 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
⑤ その他	0 (0.0%)	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!

【18歳と回答】 20名

理由(複数回答)	回答	回答(男子)	回答(女子)
① 成人として自覚をもたせたい	8 (40.0%)	7 (43.8%)	1 (25.0%)
② 成人になる年にやるべき	8 (40.0%)	7 (43.8%)	1 (20.0%)
③ 地元にいるうちがいい	8 (40.0%)	8 (50.0%)	0 (0.0%)
④ 着物等の準備がしやすい	3 (15.0%)	0 (0.0%)	3 (60.0%)
⑤ その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

希望する時期		理由(複数回答)				
		①成人の日の頃	②受験等避けたい	③暖かい時期がよい	④他の時期は忙しい	⑤その他
① 1月	11 (55.0%)	9 (81.8%)	4 (36.4%)	1 (9.1%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)
② 5月	6 (30.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)
③ 8月	2 (10.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
④ 10月	1 (5.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
⑤ その他	0 (0.0%)	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!

【19歳と回答】 13名

理由(複数回答)	回答	回答(男子)	回答(女子)
① 受験や就職などある年齢は避けたい	3 (23.1%)	0 (0.0%)	3 (33.3%)
② 学校を卒業してからがよい	7 (53.8%)	2 (50.0%)	5 (55.6%)
③ 全員が成人(18歳)になっているから	4 (30.8%)	2 (50.0%)	2 (22.2%)
④ その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

希望する時期		理由(複数回答)				
		①成人の日の頃	②暖かい時期が良い	③他の時期は忙しい	④帰省などしやすい	⑤その他
① 1月	8 (61.5%)	7 (87.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)
② 5月	4 (30.8%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
③ 8月	1 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
④ 10月	0 (0.0%)	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!
⑤ その他	0 (0.0%)	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!

【20歳と回答】 56名

理由(複数回答)	回答	回答(男子)	回答(女子)
① 今まで通りが分かりやすい	40 (71.4%)	23 (76.7%)	17 (68.0%)
② 受験や就職などある年齢は避けたい	11 (19.6%)	3 (10.0%)	8 (32.0%)
③ 同窓会のようなイメージがあるから	12 (21.4%)	5 (16.7%)	7 (28.0%)
④ 卒業後の新生活が落ち着くと思う	14 (25.0%)	8 (26.7%)	6 (24.0%)
⑤ その他	3 (5.4%)	0 (0.0%)	2 (8.0%)

希望する時期		理由(複数回答)				
		①成人の日の頃	②暖かい時期が良い	③他の時期は忙しい	④帰省などしやすい	⑤その他
① 1月	43 (76.8%)	39 (90.7%)	5 (11.6%)	3 (7.0%)	1 (2.3%)	1 (2.3%)
② 5月	12 (21.4%)	1 (8.3%)	5 (41.7%)	3 (25.0%)	3 (25.0%)	2 (16.7%)
③ 8月	0 (0.0%)	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!
④ 10月	1 (1.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
⑤ その他	0 (0.0%)	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!

問2 18歳への対応

項目(複数回答)	回答	18歳と答えた人	19歳と答えた人	20歳と答えた人
(1)全ての18歳を対象にした式典	37 (40.2%)	11 (55.0%)	7 (53.8%)	19 (33.9%)
(2)立憲式のような学校での式典	17 (18.5%)	4 (20.0%)	2 (15.4%)	11 (19.6%)
(3)成人になったお知らせ	20 (21.7%)	5 (25.0%)	4 (30.8%)	11 (19.6%)
(4)知識や心構えを伝える取組	32 (34.8%)	6 (30.0%)	4 (30.8%)	22 (39.3%)
(5)18歳前からの意識づけや教育	21 (22.8%)	4 (20.0%)	1 (7.7%)	16 (28.6%)
(6)成人してからのサポート体制	34 (37.0%)	8 (40.0%)	7 (53.8%)	19 (33.9%)
(7)その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

問3 成人式に参加しやすくなる取組

項目(複数回答)	回答
(1)成人式の内容や参加について気軽に相談できる窓口	49 (53.3%)
(2)成人式への参加を積極的に促すような広報	24 (26.1%)
(3)不安なく参加できる会場の環境や運営の体制	42 (45.7%)
(4)多くの旧友や恩師と再会し交流できる催し	40 (43.5%)
(5)その他	0 (0.0%)

3 18歳の子どもをもつ保護者用アンケート

参考 4

発送数	1500	回答数	487	回答率	32.5%
-----	------	-----	-----	-----	-------

属性

子どもの性別	回答
男の子	228 (46.8%)
女の子	259 (53.2%)
計	487 (100.0%)

問1 成人式の対象とする年齢やその理由

希望する年齢	回答	回答(男子の保護者)	回答(女子の保護者)
(1) 18歳	70 (14.4%)	40 (17.5%)	30 (11.6%)
(2) 19歳	39 (8.0%)	18 (7.9%)	21 (8.1%)
(3) 20歳	377 (77.4%)	170 (74.6%)	207 (79.9%)
(4) その他	1 (0.2%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
計	487 (100.0%)	228 (100.0%)	259 (100.0%)

希望する時期(全体)		理由(複数回答)					
		①成人の日の頃	②受験等避けたい	③暖かい時期がよい	④他の時期は忙しい	④帰省などしやすい	⑤その他
① 1月	341 (70.0%)	326 (95.6%)	3 (0.9%)	4 (1.2%)	34 (10.0%)	60 (17.6%)	20 (5.9%)
② 5月	77 (15.8%)	2 (2.6%)	25 (32.5%)	32 (41.6%)	18 (23.4%)	30 (39.0%)	10 (13.0%)
③ 8月	25 (5.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (28.0%)	6 (24.0%)	21 (84.0%)	5 (20.0%)
④ 10月	29 (6.0%)	4 (13.8%)	5 (17.2%)	10 (34.5%)	10 (34.5%)	4 (13.8%)	9 (31.0%)
⑤ その他	28 (5.7%)	6 (21.4%)	4 (14.3%)	3 (10.7%)	11 (39.3%)	9 (32.1%)	16 (57.1%)

【18歳と回答】 70名

理由(複数回答)	回答	回答(男子の保護者)	回答(女子の保護者)
① 成人として自覚をもたせたい	50 (71.4%)	27 (67.5%)	23 (76.7%)
② 成人になる年にやるべき	49 (70.0%)	28 (70.0%)	21 (39.6%)
③ 地元にいるうちがいい	12 (17.1%)	5 (12.5%)	7 (13.2%)
④ 着物等の準備がしやすい	1 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)
⑤ その他	1 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)

希望する時期

希望する時期	回答	理由(複数回答)				
		①成人の日の頃	②受験等避けたい	③暖かい時期がよい	④他の時期は忙しい	⑤その他
① 1月	25 (35.7%)	25 (100.0%)	3 (12.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
② 5月	29 (41.4%)	0 (0.0%)	25 (86.2%)	6 (20.7%)	7 (24.1%)	4 (13.8%)
③ 8月	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
④ 10月	8 (11.4%)	0 (0.0%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)
⑤ その他	8 (11.4%)	0 (0.0%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)

【19歳と回答】 39名

理由(複数回答)	回答	回答(男子の保護者)	回答(女子の保護者)
① 受験や就職などある年齢は避けたい	31 (79.5%)	13 (72.2%)	18 (85.7%)
② 学校を卒業してからがよい	23 (59.0%)	10 (55.6%)	13 (61.9%)
③ 全員が成人(18歳)になっているから	27 (69.2%)	11 (61.1%)	16 (76.2%)
④ その他	1 (2.6%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)

希望する時期

希望する時期	回答	理由(複数回答)				
		①成人の日の頃	②暖かい時期が良い	③他の時期は忙しい	④帰省などしやすい	⑤その他
① 1月	17 (43.6%)	17 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)
② 5月	12 (30.8%)	0 (0.0%)	6 (50.0%)	5 (41.7%)	10 (83.3%)	0 (0.0%)
③ 8月	5 (12.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)
④ 10月	3 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
⑤ その他	2 (5.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)

【20歳と回答】 377名

理由(複数回答)	回答	回答(男子の保護者)	回答(女子の保護者)
① 今まで通りが分かりやすい	229 (60.7%)	98 (57.6%)	131 (63.3%)
② 受験や就職などある年齢は避けたい	255 (67.6%)	104 (61.2%)	151 (72.9%)
③ 同窓会のようなイメージがあるから	114 (30.2%)	53 (31.2%)	61 (29.5%)
④ 卒業後の新生活が落ち着くと思う	128 (34.0%)	59 (34.7%)	69 (33.3%)
⑤ その他	18 (4.8%)	5 (2.9%)	13 (6.3%)

希望する時期

希望する時期	回答	理由(複数回答)				
		①成人の日の頃	②暖かい時期が良い	③他の時期は忙しい	④帰省などしやすい	⑤その他
① 1月	299 (79.3%)	284 (95.0%)	4 (1.3%)	33 (11.0%)	59 (19.7%)	19 (6.4%)
② 5月	36 (9.5%)	2 (5.6%)	20 (55.6%)	6 (16.7%)	20 (55.6%)	6 (16.7%)
③ 8月	19 (5.0%)	0 (0.0%)	7 (36.8%)	4 (21.1%)	16 (84.2%)	5 (26.3%)
④ 10月	18 (4.8%)	4 (22.2%)	9 (50.0%)	4 (22.2%)	4 (22.2%)	8 (44.4%)
⑤ その他	18 (4.8%)	6 (33.3%)	2 (11.1%)	7 (38.9%)	8 (44.4%)	10 (55.6%)

問2 18歳への対応

項目(複数回答)	回答	18歳と答えた人	19歳と答えた人	20歳と答えた人
(1)全ての18歳を対象にした式典	141 (29.0%)	42 (60.0%)	20 (51.3%)	79 (21.0%)
(2)立志式のような学校での式典	138 (28.3%)	21 (30.0%)	6 (15.4%)	111 (29.4%)
(3)成人になったお知らせ	85 (17.5%)	15 (21.4%)	7 (17.9%)	63 (16.7%)
(4)知識や心構えを伝える取組	290 (59.5%)	39 (55.7%)	26 (66.7%)	224 (59.4%)
(5)18歳前からの意識づけや教育	306 (62.8%)	49 (70.0%)	30 (76.9%)	226 (59.9%)
(6)成人してからのサポート体制	99 (20.3%)	17 (24.3%)	10 (25.6%)	72 (19.1%)
(7)その他	25 (5.1%)	2 (2.9%)	2 (5.1%)	21 (5.6%)

4 実施委員用アンケート

参考5

発送数	376	回答数	193	回答率	51.3%
-----	-----	-----	-----	-----	-------

問2 18歳成人への対応

項目(複数回答)	回答	18歳と答えた人	19歳と答えた人	20歳と答えた人
(1)立志式のような学校での式典	72 (37.3%)	19 (46.3%)	4 (18.2%)	47 (38.8%)
(2)成人になったお知らせ	74 (38.3%)	13 (31.7%)	12 (54.5%)	45 (37.2%)
(3)知識や心構えを伝える取組	133 (68.9%)	28 (68.3%)	16 (72.7%)	81 (66.9%)
(4)18歳前からの意識づけや教育	119 (61.7%)	26 (63.4%)	17 (77.3%)	69 (57.0%)
(6)(5)人してからのサポート体制	39 (20.2%)	13 (31.7%)	4 (18.2%)	18 (14.9%)
(7)その他	19 (9.8%)	2 (4.9%)	4 (18.2%)	11 (9.1%)

問3 参加協力できる期間

項目(複数回答)	回答	18歳と答えた人	19歳と答えた人	20歳と答えた人
(1) 半日	30 (15.5%)	7 (17.1%)	2 (9.1%)	19 (15.7%)
(2) 1日	85 (44.0%)	13 (31.7%)	15 (68.2%)	53 (43.8%)
(3) 2日間	28 (14.5%)	8 (19.5%)	3 (13.6%)	15 (12.4%)
(4) 3日間	19 (9.8%)	6 (14.6%)	0 (0.0%)	11 (9.1%)
(5) その他	31 (16.1%)	6 (14.6%)	2 (9.1%)	21 (17.4%)

問4 成人式が対象とする年齢

希望する年齢	回答	理由		
		①成人になる年にやる方が	②地元にいるからきやすい	③その他
(1) 18歳	41 (21.2%)	37 (90.2%)	19 (46.3%)	1 (2.4%)
希望する年齢	回答	①受験や就活を避けた方が	②全員が成人を迎えてから	③その他
(2) 19歳	22 (11.4%)	14 (63.6%)	19 (86.4%)	0 (0.0%)
希望する年齢	回答	①受験や就活を避けた方が	②実施方法などを変えない方が	③その他
(3) 20歳	121 (62.7%)	77 (63.6%)	71 (58.7%)	8 (6.6%)
希望する年齢	回答			
(4) その他	1 (0.5%)			
計	185 (95.9%)			

ヒアリング調査票

○成人式を行うことの意義についてどのように考えますか。

- ・自分の言動に責任を持つことを自覚する大切な機会だと思う(美容組合)
- ・大人になったことへの自覚、恩師や友人と再会できる貴重な機会であると捉えている(サトーカメラ、ホテル等)

○成年年齢が18歳に引き下げられた後、もしも18歳で今のように成人式を開催する場合最初の年は18歳～20歳まで3学年分が対象者となります。18歳を対象として成人式を実施するにはどのようなメリット・デメリットがあると考えますか。

(メリット)

- ・社会のシステムにより早くなじむことができる(ホテル等)

(デメリット)

- ・18歳は多くが高校生であり、着物の準備等、親の負担、経済状況によっては着物を着られないことなど懸念される。20歳なら自分で働いて準備できる可能性もある(美容組合)
- ・日にちを分けて開催するなら対応可能だが、1日で3学年分をやるとしたら人手(会場)が足りず今以上には対応できない(サトーカメラ、ホテル等)
- ・3学年分の同時開催は、弊社の会場ではこれまでのように対応できない(ホテル等)
- ・精神的にも若いということで荒れたりしないか、警備員の導入などを検討(ホテル等)
- ・実施日についてはよく検討する部分がある(ホテル等)
- ・複数日開催だとしても対応可能(なるべく協力したい)が、他の予約状況にもよる(ホテル等)

○上記のメリット・デメリットを踏まえた上で、成年年齢引き下げ後の成人式の対象年齢や実施時期等はどのようにあるべきと考えるか。

- ・成人式は20歳でやるべきと考える(美容組合)、20歳でお願いしたい(ホテル等)
- ・開催を複数日にするなどしてもらえれば対応は可能であるが、旧友や恩師との再会など成人式の意味を考えれば高校卒業して2年経つ20歳の時期がよいのでは(サトーカメラ)
- ・3学年分の開催を1月以外に8月などの閑散期にも分けて実施することは問題ないが、式典を支える自治会等地域の方のご理解が得られるかは心配である(ホテル等)
- ・開催日を2日に分けて午前・午後で対応するのは可能(ホテル等)
- ・高校在学中より、社会生活を経験してから成人式を迎えた方が成人としての自覚がより一層生まれるのではと思うし、受験生などは参加するのか疑問がある(ホテル等)
- ・何歳でという希望は特にないが、3学年分が対象となる場合は、実施日や会場確保をどうしていくかはあるので早期に教えてほしい(ホテル等)